

学力検査の概要

令和8年度岡山県公立高等学校入学者選抜のための
学力検査の結果等について

岡山県教育委員会

学 力 検 査 の 概 要 に つ い て

令和８年度岡山県公立高等学校入学者選抜のための学力検査の結果等について、取りまとめました。

この冊子には、特別入学者選抜等も含めて、公立高等学校入学者選抜の実施状況等の統計資料と、学力検査結果の概要及び学力検査の応答状況について分析した統計資料を収録しています。

県下中学校卒業者の進学実態及び学習修得程度の実態を反映した内容になっていますので、今後の学習指導及び進路指導上の参考資料として十分活用くださるよう期待します。

岡山県教育庁高校教育課
高 校 魅 力 化 推 進 室

本冊子の活用について

本冊子を指導計画や指導方法等の改善に活用していただくために、「第2 各教科の出題のねらい、結果の概要と授業改善の視点等、応答率及び問題」については、次のとおり構成しています。

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

各教科における指導を通して求める力の概要を示しています。

イ 問いごとのねらい

大問ごとに求める力を明示しています。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

正答率が比較的高かった設問及び低かった設問並びに、正答率に特徴が見られた設問について概要を明示しています。

イ 授業改善の視点等

「ア 結果の概要」において、各教科1、2問ずつ取り上げて、指導のポイントを明示しています。

〈分析〉

各問いについて、多く見られた部分点や誤答のパターンから思考過程を分析しています。

〈視点〉

分析を基に、身に付けさせたい力や具体的なアドバイスなど授業改善の視点を明示しています。

(3) 応答率

小問ごとに出题形式（選択・短答・記述）及び応答率（正答率・部分点率・誤答率・無答率）をグラフ化しています。応答率の高低が視覚的に把握しやすくなるように工夫しています。指導計画や指導方法等の改善に活用してください。

(4) 問題

解答用紙と学力検査問題です。

目 次

I	学力検査等の実施の概要	1
II	特別入学者選抜のための学力検査の概要	17
第1	学力検査の結果の概要	19
第2	各教科の出題のねらい、結果の概要と授業改善の視点等、 応答率及び問題	22
1	国 語	22
2	数 学	32
3	英 語	41
III	一般入学者選抜のための学力検査の概要	51
第1	学力検査の結果の概要	53
第2	各教科の出題のねらい、結果の概要と授業改善の視点等、 応答率及び問題	56
1	国 語	56
2	社 会	66
3	数 学	76
4	理 科	85
5	英 語	95

I 学力検査等の実施の概要

I 学力検査等の実施の概要

1 学力検査の目的

令和8年度岡山県公立高等学校入学志願者の学力を検査し、入学者選抜の資料とする。

2 学力検査の構成と期日・時間

特別入学者選抜	2月4日（水）
8:50 ～ 9:15	集合点呼。受検のための注意を受け、検査室に入る。
9:15 ～ 9:20	受検上の注意 黙読。
9:20 ～10:05	国語（45分）
10:05 ～10:20	退室、休憩。
10:20 ～10:25	検査室に入る。
10:25 ～11:10	数学（45分）
11:10 ～11:25	退室、休憩。
11:25 ～11:30	検査室に入る。
11:30 ～12:15	英語（45分）
12:20 ～12:30	面接・選択実施する検査についての注意を受ける。

一般入学者選抜	3月10日（火）
8:50 ～ 9:15	集合点呼。受検のための注意を受け、検査室に入る。
9:15 ～ 9:20	受検上の注意 黙読。
9:20 ～10:05	社会（45分）
10:05 ～10:20	退室、休憩。
10:20 ～10:25	検査室に入る。
10:25 ～11:10	数学（45分）
11:10 ～11:25	退室、休憩。
11:25 ～11:30	検査室に入る。
11:30 ～12:15	国語（45分）
12:15 ～13:00	退室、休憩、昼食。
13:00 ～13:05	検査室に入る。
13:05 ～13:50	英語（45分）
13:50 ～14:05	退室、休憩。
14:05 ～14:10	検査室に入る。
14:10 ～14:55	理科（45分）
15:00 ～15:10	面接・実技についての注意を受ける。

3 入学者選抜の実施方法

(1) 出願手続及び期日

特別入学者選抜	
1月6日～ 1月16日	特別出願関係書類の提出 全国募集出願関係書類の提出
1月20日～ 1月22日	特別入学者選抜出願関係書類の提出 〔 特別入学願書、自己申告書 （学区外出願許可通知書） 特別入学志願者一覧表、調査書 〕
2月4日	学力検査
2月4日、 2月5日	面接、各高等学校において選択実施する検査 ※ 両日のうちいずれか1日で実施する場合がある。
2月13日	特別入学者選抜結果の通知
2月24日～ 3月12日	学年についての報告書、同百分率表の提出

一般入学者選抜

1月 6日～ 1月 30日	特別出願関係書類の提出 全国募集出願関係書類の提出
2月 24日～ 2月 26日	入学出願関係書類の提出 〔入学願書、自己申告書、実技申告書〕 〔学区外出願許可通知書〕 〔入学志願者一覧表、調査書〕
2月 24日～ 3月 12日	学年についての報告書、同百分率表の提出
3月 10日	学力検査 (鳥城高等学校では、数学、国語、英語の3教科を受検)
3月 11日	面接
3月 18日	合格者の発表

追検査

～ 3月 11日	追検査出願関係書類の提出
3月 18日	学力検査、面接
3月 18日以降	合格者の発表

第2次募集（県立全日制）

3月 19日～ 3月 23日	第2次募集出願関係書類の提出
3月 24日	面接
3月 24日以降	合格者の発表

第2次募集（県立定時制）

3月 19日～ 3月 24日	入学出願関係書類の提出
3月 25日	面接
3月 25日以降	合格者の発表

(2) 学力検査問題の作成

岡山県教育委員会において作成した。
ただし、一般入学者選抜において高等学校長は、県教育委員会と協議の上、全ての教科又は一部の教科について問題を作成することができることとした。
高等学校長が問題を作成した高等学校及び教科は、次のとおりである。
岡山朝日高等学校 国語、数学、英語（聞き取り検査を含む。）

(3) 学力検査の実施

学力検査は、志願先高等学校において実施した。
学力検査の実施管理に当たっては、高等学校ごとに委員長及び委員からなる実施委員会を設置した。

(4) 学力検査結果の処理

- ア 特別入学者選抜
志願先高等学校ごとに、採点后、各教科の得点(各教科 70 点満点)を合計し、その結果を選抜のための資料とした。
また、所定の統計表等を作成し、県教育委員会に提出した。
- イ 一般入学者選抜
志願先高等学校ごとに、採点后、各教科の得点(各教科 70 点満点)を合計し、その合計得点を基に高等学校長が定める 10 段階又は 5 段階の評定段階による評価を行い、その結果を「学力検査の評定段階」とし、選抜のための資料とした。
また、所定の統計表及び学力判定原簿を作成し、県教育委員会に提出した。

4 学力検査受検者数（全国募集を除く）

第1表のとおりである。

5 公立高等学校入学志願者数及び合格者数（全国募集を除く）

第2表、第3表のとおりである。

6 公立高等学校特別入学者選抜等志願者数及び合格内定者数（全国募集を除く）

第4表～第8表、第10表～第14表のとおりである。

7 公立高等学校一般入学者選抜志願者数及び合格者数等（全国募集を除く）

第9表、第15表のとおりである。

8 県立高等学校の全国募集志願者数及び合格者数等

第16表、第17表のとおりである。

第1表 学力検査受検者数

特別入学者選抜（公立全日制及び公立定時制）

年 度	卒業(見込)者数 (a)	入学志願者数 (b)	受検完了者数 (c)	欠 席 者 数 (b-c)	受 検 率 (c/a)×100
令和8年度	16,741	7,330	6,931	399	41.4
令和7年度	16,650	7,316	6,948	368	41.7
増減	91	14	△17	31	△0.3

一般入学者選抜（公立全日制及び公立定時制）

年 度	卒業(見込)者数 (a)	入学志願者数 (b)	受検完了者数 (c)	欠 席 者 数 (b-c)	受 検 率 (c/a)×100
令和8年度	16,741	5,917	5,825	92	34.8
令和7年度	16,650	6,224	6,135	89	36.8
増減	91	△307	△310	3	△2.1

(注) 卒業(見込)者数は、特別支援学校中学部の卒業者数を含まない。

第2表 令和8年3月中学校卒業見込者数と募集定員及び志願者数等

令和8年3月 中学校卒業見込者数 (a)	公立	私立	令8.3中卒 見込者で進学 希望者数 (8.1.10現在) (b)	(b/a) ×100	募集定員 (c)	(c/a) ×100	入 学 志願者数 (d)	(d/a) ×100	合格者数 (e)	(e/a) ×100
16,741	公立	全	10,942	65.4	10,905	65.1	5,704	34.1	10,047	60.0
		定	416	2.5	870	5.2	244	1.5	440	2.6
		計	11,358	67.8	11,775	70.3	5,948	35.5	10,487	62.6
	私立全日制		3,466	20.7	5,560	33.2				
	合 計		14,824	88.5	17,335	103.5				

(注) 私立の募集定員には朝日塾中等教育学校を含まない。

募集定員、入学志願者数及び合格者数は一般入学者選抜及び県立高校に準じない入学者選抜のものである。
合格者数は、公立(全日制及び定時制)の第2次募集における合格者数を含む。

第3表 学科別定員及び合格者数

学 科 名	公 立 全 日 制		公 立 定 時 制	
	定 員	合格者数	定 員	合格者数
普通科 ※1	4,600	4,147	600	319
理数科 ※2	40	40		
普通科 ※3	640	753		
理数科	160			
普通科 ※4	160	200		
国際系	40			
その他普通系※5	120	111		
体 育 科	80	80		
農 業 科	470	435		
工 業 科	1,715	1,608	120	26
商 業 科	1,560	1,477	30	24
家 庭 科	400	397		
看 護 科	120	92		
情 報 科	40	40		
福 祉 科	40	40		
その他 ※6	80	77		
総 合 学 科	640	550	120	71
計	10,905	10,047	870	440

(注) ※1は、岡山一宮高校、西大寺高校、玉島高校及び津山高校の普通科を除く。

※2は、倉敷天城高校の理数科。

※3は、岡山一宮高校、玉島高校及び津山高校の普通科と理数科のくくり募集。

※4は、西大寺高校の普通科と国際情報科のくくり募集。

※5は、邑久高校の生活ビジネス科及び和気閑谷高校のキャリア探求科。

※6は、井原高校の地域生活科及び高梁城南高校の環境科学科。

合格者数は、第2次募集における合格者数を含む。

第4表 公立高等学校特別入学者選抜の学科別志願者数
及び合格内定者数等

県立全日制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	677	1,045	672
理 数 科	98	224	91
国 際 系 学 科	20	70	20
そ の 他 普 通 系	96	138	88
体 育 科	80	93	80
農 業 科	367	495	353
工 業 科	1,305	1,701	1,281
商 業 科	1,184	1,751	1,155
家 庭 科	312	550	312
看 護 科	92	103	71
情 報 科	30	53	30
福 祉 科	30	43	30
そ の 他	72	95	69
総 合 学 科	348	397	330
計	4,711	6,758	4,582

(注)「その他普通系」は、邑久高校の生活ビジネス科及び和気閑谷高校の
キャリア探求科。
「その他」は、井原高校の地域生活科及び高梁城南高校の環境科学科。

市立全日制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
工 業 科	32	37	31
商 業 科	64	53	50
総 合 学 科	40	122	74
計	136	212	155

公立全日制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	677	1,045	672
理 数 科	98	224	91
国 際 系 学 科	20	70	20
そ の 他 普 通 系	96	138	88
体 育 科	80	93	80
農 業 科	367	495	353
工 業 科	1,337	1,738	1,312
商 業 科	1,248	1,804	1,205
家 庭 科	312	550	312
看 護 科	92	103	71
情 報 科	30	53	30
福 祉 科	30	43	30
そ の 他	72	95	69
総 合 学 科	388	519	404
計	4,847	6,970	4,737

県立定時制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	62	130	62

市立定時制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	140	133	79
商 業 科	15	24	15
総 合 学 科	59	73	59
計	214	230	153

公立定時制

学 科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	202	263	141
商 業 科	15	24	15
総 合 学 科	59	73	59
計	276	360	215

第5表 県立高等学校海外帰国生徒のための入学者選抜の
志願者数及び合格内定者数等

学 科 名	募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	各校とも 若干名	2	2
国 際 系 学 科		1	0
計		3	2

第6表 県立高等学校連携型中高一貫教育に係る
入学者選抜の志願者数及び合格内定者数等

学 科 名	募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	40 以内	10	10

第7表 県立高等学校フレックス制に係る入学者選抜の
志願者数及び合格内定者数等

学 科 名	募集人員	志願者数	合格内定者数
総 合 学 科	24	28	24

第8表 公立高等学校定時制課程の特別な入学者選抜の
志願者数及び合格内定者数等

学 科 名	募集人員	志願者数	合格内定者数
普 通 科	各校とも 若干名	1	1
工 業 科		0	0
総 合 学 科		0	0
計		1	1

第9表 公立高等学校の学科別の一般入学者選抜志願者数及び合格者数等

県立全日制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和7年度 (b)/(a)	合 格 者 数	第 2 次 募 集			不足数
								募集人員	志願者数	合格者数	
普 通 科※1	4,600	889	3,708	3,556	0.96	1.04	3,235	473	23	23	450
理 数 科※2	40	40	0	—	—	—	—				0
普 通 科※3	640	59	648	642	0.99	1.09	597	51	4	4	47
理 数 科	160	93									
普 通 科※4	160	—	180	243	1.35	1.40	180				0
国 際 系	40	20									
その他普通系※5	120	88	32	36	1.13	1.29	20	12	3	3	9
体 育 科	80	80	0	—	—	—	—				0
農 業 科	470	353	117	94	0.80	0.68	80	37	2	2	35
工 業 科	1,675	1,280	395	357	0.90	1.03	292	103	1	1	102
商 業 科	1,480	1,154	326	455	1.40	1.42	264	55	0	0	55
家 庭 科	400	312	88	161	1.83	0.83	85	3	0	0	3
看 護 科	120	71	49	27	0.55	0.30	21	28	0	0	28
情 報 科	40	30	10	14	1.40	0.70	10				0
福 祉 科	40	30	10	14	1.40	1.13	10				0
その他 ※6	80	69	11	14	1.27	0.21	8	3	0	0	3
総 合 学 科	480	354	126	37	0.29	0.37	30	96	8	6	90
計	10,625	4,922	5,700	5,650	0.99	1.04	4,832	861	41	39	822

(注) ※1は、岡山一宮高校、西大寺高校及び玉島高校の普通科を除く。
 ※2は、倉敷天城高校の理数科。
 ※3は、岡山一宮高校、玉島高校及び津山高校の普通科と理数科のくくり募集。
 ※4は、西大寺高校の普通科と国際情報科のくくり募集。
 ※5は、邑久高校の生活ビジネス科及び和気閑谷高校のキャリア探求科。
 ※6は、井原高校の地域生活科及び高梁城南高校の環境科学科。

市立全日制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和7年度 (b)/(a)	合 格 者 数	第 2 次 募 集			不足数
								募集人員	志願者数	合格者数	
工 業 科	40	31	9	4	0.44	0.56	4	5	0	0	5
商 業 科	80	50	30	10	0.33	0.20	8	22	1	1	21
総 合 学 科	160	136	24	40	1.67	1.21	24				0
計	280	217	63	54	0.86	0.58	36	27	1	1	26

公立全日制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和7年度 (b)/(a)	合 格 者 数	第 2 次 募 集			不足数
								募集人員	志願者数	合格者数	
普 通 科※1	4,600	889	3,708	3,556	0.96	1.04	3,235	473	23	23	450
理 数 科※2	40	40	0	—	—	—	—				0
普 通 科※3	640	59	648	642	0.99	1.09	597	51	4	4	47
理 数 科	160	93									
普 通 科※4	160	—	180	243	1.35	1.40	180				0
国 際 系	40	20									
その他普通系※5	120	88	32	36	1.13	1.29	20	12	3	3	9
体 育 科	80	80	0	—	—	—	—				0
農 業 科	470	353	117	94	0.80	0.68	80	37	2	2	35
工 業 科	1,715	1,311	404	361	0.89	1.01	296	108	1	1	107
商 業 科	1,560	1,204	356	465	1.31	1.29	272	77	1	1	76
家 庭 科	400	312	88	161	1.83	0.83	85	3	0	0	3
看 護 科	120	71	49	27	0.55	0.30	21	28	0	0	28
情 報 科	40	30	10	14	1.40	0.70	10				0
福 祉 科	40	30	10	14	1.40	1.13	10				0
その他 ※6	80	69	11	14	1.27	0.21	8	3	0	0	3
総 合 学 科	640	490	150	77	0.51	0.48	54	96	8	6	90
計	10,905	5,139	5,763	5,704	0.99	1.04	4,868	888	42	40	848

県立定時制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和7年度 (b)/(a)	合格者数	第2次募集		不足数
								志願者数	合格者数	
普 通 科	140	62	78	75	0.96	0.95	67	2	1	10

(注) 特別入学等合格者数には定時制課程の特別な入学者選抜の合格者を含む。

市立定時制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和7年度 (b)/(a)	合格者数	第2次募集		不足数
								志願者数	合格者数	
普 通 科 ※	460	80	319	118	0.37	0.29	106	3	3	271
工 業 科	120	-	120	29	0.24	0.17	25	1	1	94
商 業 科	30	15	15	9	0.60	0.73	9	2	0	6
総合学科	120	59	61	13	0.21	0.28	10	4	2	49
計	730	154	515	169	0.33	0.28	150	10	6	420

(注) ※は、県立高校に準じない入学者選抜実施校（松山高校、宇治高校及び片上高校）を含む。
特別入学等合格者数には定時制課程の特別な入学者選抜の合格者を含む。

公立定時制

学 科 名	募集定員	特 別 入 学 等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和7年度 (b)/(a)	合格者数	第2次募集		不足数
								志願者数	合格者数	
普 通 科 ※	600	142	397	193	0.49	0.41	173	5	4	281
工 業 科	120	-	120	29	0.24	0.17	25	1	1	94
商 業 科	30	15	15	9	0.60	0.73	9	2	0	6
総合学科	120	59	61	13	0.21	0.28	10	4	2	49
計	870	216	593	244	0.41	0.36	217	12	7	430

第10表 公立高等学校特別入学者選抜の学校・科別の
志願者数及び合格内定者数等

県立全日制 (注) 各欄の()は5～30%出願に係る数値である。
(人数については内書再掲)

学 校 名	科 名 く コ ー ス [分 野]	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
	系 列 名			
岡 山 一 宮	理 数	40	131	40
岡 山 城 東	普 通			
	[国 際 教 養]	30	77	30
	[音 楽]	25	31	25
西 大 寺	国 際 情 報	20	70	20
	商 業	64	119	64
瀬 戸		(16)	(16)	(6)
高 松 農 業	普 通	80	140	80
	農 業 科 学	32	47	32
	園 芸 科 学	32	36	30
	畜 産 科 学	32	46	32
	農 業 土 木	32	31	28
興 陽	食 品 科 学	32	55	32
	農 業 機 械	32	54	32
	造 園 デ ザ イ ン	32	49	32
	ライフデザイン	64	115	64
瀬 戸 南	生 物 生 産	32	42	32
	園 芸 科 学	32	38	32
	生 活 デ ザ イ ン	32	63	32
岡 山 工 業	機 械	64	90	64
	電 気	32	53	32
	情 報 技 術	32	61	32
	化 学 工 学	32	46	32
	土 木	32	48	32
	建 築	32	52	32
	デ ザ イ ン	32	51	32
東 岡 山 工 業	機 械	64	73	64
	電 子 機 械	64	89	64
	電 気	32	54	32
	設 備 シ ス テ ム	32	46	32
岡 山 東 商 業	工 業 化 学	32	33	32
	ビ ジ ネ ス 創 造	192	342	192
	情 報 ビ ジ ネ ス	64	96	64
岡 山 南	商 業	64	99	64
	国 際 経 済	32	45	32
	情 報 処 理	64	90	64
	生 活 創 造	64	134	64
	服 飾 デ ザ イ ン	32	39	32
岡 山 御 津	キ ャ リ ア デ ザ イ ン	96	113	96
	特 別 進 学 系 列			
	教 養 ・ 自 然 ・ ス ポ ー ツ 系 列			
	ビ ジ ネ ス ・ 情 報 系 列			
	美 術 ・ デ ザ イ ン 系 列			
倉 敷 天 城	保 育 ・ 福 祉 系 列			
	理 数	15	39	15
倉 敷 中 央	普 通 く 子 ど も >	20	57	20
	普 通 く 健 康 ス ポ ー ツ >	20	46	20
	家 政	30	57	30
	看 護	30	51	30
	福 祉	30	43	30
玉 島	理 数	20	38	20
倉 敷 鷺 羽	普 通	60	83	60
	ビ ジ ネ ス	32	26	24
倉 敷 工 業	機 械	64	102	64
	電 子 機 械	64	72	64
	電 気	64	65	63
	工 業 化 学	32	34	32
	テ キ ス タ イ ル 工 学	32	49	32
水 島 工 業	機 械	64	87	64
	電 気	64	77	64
	情 報 技 術	32	43	32
	工 業 化 学	32	41	32
	建 築	32	39	32

学 校 名	科 名 く コ ー ス [分 野]	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
	系 列 名			
倉 敷 商 業	商 業	160	291	160
	国 際 経 済	32	52	32
	情 報 処 理	64	85	64
玉 島 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	128	180	128
津 山	理 数	23	16	16
津 山 東	食 物 調 理	30	51	30
	看 護	30	41	30
津 山 工 業	機 械	28	32	28
	ロ ボ ッ ト 電 気	28	24	24
	工 業 化 学	28	39	28
	土 木	28	35	28
	建 築	28	37	28
	デ ザ イ ン	28	43	28
津 山 商 業	地 域 ビ ジ ネ ス	64	86	64
	情 報 ビ ジ ネ ス	64	60	59
玉 野 光 南	情 報	30	53	30
	体 育	80	93	80
笠 岡 工 業	電 子 機 械	32	42	32
	電 気 情 報	32	27	24
	環 境 土 木	32	27	23
笠 岡 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	96	126	96
井 原		(3)	(0)	(0)
	普 通	60	73	60
	地 域 生 活 < グ リ ー ン ラ イ フ >	20	25	20
	地 域 生 活 < ヒ ュ ー マ ン ラ イ フ >	20	21	17
総 社	家 政	28	56	28
総 社 南	普 通			
	[国 際]	25	53	25
高 梁	[美 術 工 芸]	25	35	25
	普 通	60	106	60
高 梁 城 南	家 政	32	35	32
	電 気	32	37	32
新 見	デ ザ イ ン	32	37	32
	環 境 科 学	32	49	32
	普 通	40	40	40
備 前 緑 陽	生 物 生 産	15	8	7
	工 業 技 術	17	16	15
	総 合 学 科	96	102	92
邑 久	普 通 進 学 系 列			
	健 康 福 祉 系 列			
	情 報 ・ ビ ジ ネ ス 系 列			
	工 業 技 術 系 列			
勝 山	普 通	20	40	20
	生 活 ビ ジ ネ ス	64	112	64
真 庭	普 通	60	104	60
	普 通 (蒜 山 校 地)	12	14	12
林 野	食 農 生 産	32	35	32
	経 営 ビ ジ ネ ス	32	25	24
	看 護	32	11	11
鴨 方	普 通	60	64	60
和 気 閑 谷	総 合 学 科	96	111	82
	普 通 総 合 系 列			
	デ ザ イ ン ・ イ ラ ス ト 系 列			
	介 護 ・ 食 物 ・ 保 育 系 列			
矢 掛	ビ ジ ネ ス 系 列			
	普 通	40	39	35
勝 間 田	キ ャ リ ア 探 求	32	26	24
	普 通	40	43	40
計	地 域 ビ ジ ネ ス	32	29	24
	総 合 学 科	60	71	60
	森 林 系 列			
	園 芸 系 列			
	食 品 系 列			
	自 動 車 系 列			
	ビ ジ ネ ス 系 列			
計		(19) 4,711	(16) 6,758	(6) 4,582

市立全日制

学 校 名	科 名	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
岡 山 後 楽 館	総 合 学 科	40	122	* 136
玉 野 商 工	ビ ジ ネ ス 情 報	64	53	50
	機 械	32	37	31
計		136	212	217

(注) *岡山後楽館高校の特別入学募集人員は40名であるが、校長が特に必要と認めた場合には特別入学者選抜の募集人員に対して一定の範囲内であらかじめ示した人員を超えて合格内定とすることができ、また岡山後楽館中学校からの進学者に欠員がある場合補充を行うことができるため、合格内定者数は136名となっている。

県立定時制

学 校 名	科 名 (部 名)	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
鳥 城	普 通 (昼 間)	50	103	50
	普 通 (夜 間)	12	27	12
計		62	130	62

市立定時制

学 校 名	科 名 (部 名 等)	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
精 思 霞 丘 校	普 通 (昼 間)	30	61	30
	商 業 (昼 間)	15	24	15
倉 敷 翔 南	総合学科(昼間)	47	58	47
	総合学科(夜間)	12	15	12
真 備 陵 南	普通(昼間)(3修コース)	20	38	20
	普通(昼間)(4修コース)	20	10	10
井 原 市 立	普 通 (昼 間)	35	19	15
	普 通 (夜 間)	35	5	4
計		214	230	153

第11表 県立高等学校海外帰国生徒のための入学者選抜の学校・科別の志願者数及び合格内定者数等

学 校 名	科 名	募集人員	志願者数	合 格 内定者数
岡 山 城 東	普 通	若干名	2	2
西 大 寺	国 際 情 報	若干名	1	0
総 社 南	普 通	若干名	0	0
計			3	2

第12表 県立高等学校連携型中高一貫教育に係る入学者選抜の学校・科別の志願者数及び合格内定者数等

学 校 名	科 名	募集人員	志願者数	合 格 内定者数
勝 山	普通(蒜山校地)	40以内	10	10

第13表 県立高等学校フレックス制に係る入学者選抜の学校・科別の志願者数及び合格内定者数等

学 校 名	科 名	募集人員	志願者数	合 格 内定者数
岡 山 御 津	キャリアデザイン	24	28	24

第14表 公立高等学校定時制課程の特別な入学者選抜の学校・科別の志願者数及び合格内定者数等

県立定時制

学 校 名	科 名 (部 名)	募集人員	志願者数	合 格 内定者数
鳥 城	普 通 (昼 間)	若干名	0	0
	普 通 (夜 間)	若干名	0	0
計			0	0

市立定時制

学 校 名	科 名 (部 名)	募集人員	志願者数	合 格 内定者数
精 思	普 通 (夜 間)	若干名	1	1
倉 敷 市 立 工 業	機 械 (夜 間)	若干名	0	0
	電 気 (夜 間)	若干名	0	0
倉 敷 翔 南	総合学科(夜間)	若干名	0	0
松 山	普 通 (夜 間)	若干名	0	0
計			0	0

(参考) 岡山県立中学校から併設高等学校への入学者数

学 校 名	科 名	入学者数
岡 山 操 山	普 通	114
倉 敷 天 城	普 通	91
	理 数	25
津 山	普 通	59
	理 数	17

第15表 公立高等学校の学校・科別の一般入学者選抜志願者数及び合格者数等

県立全日制

(注) 各欄の()は5～20%出願に係る数値である。(人数については内書再掲)

学 校 名	科 く　こ　ー　ス	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和7年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
	系 列 名								募集人員	志願者数	合格者数	
岡 山 朝 日	普 通	(16) 320	(-) -	(16) 320	(12) 299	0.93	0.98	(12) 297	23	1	1	22
岡 山 操 山	普 通	(8) 280	(-) * 114	(8) 166	(10) 188	1.13	1.23	(8) 166				0
岡 山 芳 泉	普 通	(16) 320	(-) -	(16) 320	(5) 376	1.18	1.16	(4) 320				0
岡 山 一 宮	普 通	(12) 240	(-) -	(12) 280	(10) 320	1.14	1.14	(8) 240				0
	理 数	80	40					40				0
岡 山 城 東	普 通	320	* 57	263	352	1.34	1.19	263				0
西 大 寺	普 通	(8) 160	(-) -	(8) 180	(11) 243	1.35	1.40	(8) 160				0
	国 際 情 報	40	20					20				0
	商 業	80	63	17	31	1.82	2.69	17				0
瀬 戸	普 通	(32) 160	(6) 80	(26) 80	(14) 66	0.83	1.03	(13) 60	20	2	2	18
高 松 農 業	農 業 科 学	40	32	8	10	1.25	0.09	8				0
	園 芸 科 学	40	30	10	3	0.30	0.33	6	4	0	0	4
	畜 産 科 学	40	32	8	10	1.25	0.63	8				0
	農 業 土 木	40	28	12	4	0.33	0.22	4	8	2	2	6
	食 品 科 学	40	32	8	12	1.50	1.38	8				0
興 陽	農 業	40	32	8	17	2.13	2.38	8				0
	農 業 機 械	40	32	8	11	1.38	1.38	8				0
	造園デザイン	40	32	8	13	1.63	0.75	8				0
	ライフデザイン	80	64	16	35	2.19	-	16				0
瀬 戸 南	生 物 生 産	40	32	8	7	0.88	2.00	8				0
	園 芸 科 学	40	32	8	1	0.13	0.88	8				0
	生活デザイン	40	32	8	24	3.00	0.75	8				0
岡 山 工 業	機 械	80	64	16	21	1.31	0.88	16				0
	電 気	40	32	8	15	1.88	0.56	8				0
	情 報 技 術	40	32	8	23	2.88	3.00	8				0
	化 学 工 学	40	32	8	14	1.75	1.25	8				0
	土 木	40	32	8	11	1.38	1.38	8				0
	建 築	40	32	8	16	2.00	3.13	8				0
	デ ザ イ ン	40	32	8	13	1.63	3.88	8				0
東岡山工業	機 械		64									
	電 子 機 械	200	64	40	51	1.28	0.95	40				0
	電 気		32									
	設備システム	40	32	8	6	0.75	0.63	8				0
岡山東商業	工 業 化 学	40	32	8	3	0.38	1.13	8				0
	ビジネス創造		192									
	情報ビジネス	320	64	64	143	2.23	2.25	64				0

(注) *岡山操山高校の特別入学等合格者数は、岡山操山中学校からの入学者114名である。
*岡山城東高校の特別入学等合格者数には、海外帰国生徒のための入学者選抜の合格者2名を含む。

学 校 名	科 く ー す	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和7年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
	系 列 名								募集人員	志願者数	合格者数	
岡 山 南	商 業	80	64	16	23	1.44	1.25	16				0
	国 際 経 済	40	32	8	9	1.13	1.38	8				0
	情 報 処 理	80	64	16	27	1.69	0.94	16				0
	生 活 創 造	80	64	16	41	2.56	0.31	16				0
	服飾デザイン	40	32	8	9	1.13	0.22	8				0
岡 山 御 津	キャリアデザイン	120	* 120	0	0	-	0.60	-				0
	特別進学系列											
	教養・自然・スポーツ系列											
	ビジネス・情報系列 美術・デザイン系列 保育・福祉系列											
倉 敷 青 陵		(16)	(-)	(16)	(26)			(16)				
	普 通	320	-	320	363	1.13	1.04	320				0
倉 敷 天 城		(5)	(-)	(5)	(7)			(5)				
	普 通	200	* 91	109	121	1.11	1.21	109				0
	理 数	40	* 40	0	-	-	-	-				0
倉 敷 南		(16)	(-)	(16)	(14)			(14)				
	普 通	320	-	320	322	1.01	1.08	320				0
倉 敷 古 城 池		(14)	(-)	(14)	(2)			(1)				
	普 通	280	-	280	322	1.15	1.22	280				0
倉 敷 中 央	普 通	80	-					80				0
	く 子 ど も	40	20	120	127	1.06	0.98	20				0
	普 通	40	20					20				0
	く 健 康 ス ポ ー ツ											
	家 政	40	30	10	13	1.30	2.13	10				0
	看 護	40	30	10	16	1.60	1.25	10				0
	福 祉	40	30	10	14	1.40	1.13	10				0
玉 島		(10)	(-)	(10)	(9)			(8)				
	普 通	200	-	220	191	0.87	1.02	175	25	3	3	22
倉 敷 鷺 羽	理 数	40	20					15	5	0	0	5
	普 通	120	60	60	22	0.37	0.18	20	40	9	9	31
倉 敷 鷺 羽	ビ ジ ネ ス	40	24	16	4	0.25	0.19	3	13	0	0	13
倉 敷 工 業	機 械	80	64	16	22	1.38	1.25	16				0
	電 子 機 械	80	64	16	16	1.00	1.31	16				0
	電 気	80	63	17	8	0.47	0.88	13	4	0	0	4
	工 業 化 学	40	32	8	5	0.63	1.75	7	1	0	0	1
	テキスタイル工学	40	32	8	15	1.88	1.00	8				0
水 島 工 業	機 械	80	64	16	12	0.75	0.22	13	3	0	0	3
	電 気	80	64	16	11	0.69	0.69	12	4	1	1	3
	情 報 技 術	40	32	8	11	1.38	2.50	8				0
	工 業 化 学	40	32	8	9	1.13	0.75	8				0
	建 築	40	32	8	7	0.88	1.50	7	1	0	0	1
倉 敷 商 業	商 業		160									
	国 際 経 済	320	32	64	122	1.91	0.99	64				0
	情 報 処 理		64									
玉 島 商 業	ビジネス情報	160	128	32	48	1.50	1.69	32				0

(注) *岡山御津高校キャリアデザイン科の特別入学等合格者数には、フレックス制に係る入学者選抜の合格者24名を含む。
*倉敷天城高校の特別入学等合格者数には、倉敷天城中学校からの入学者116名を含む。

学 校 名	科 く こ ー す	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和7年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
	系 列 名								募集人員	志願者数	合格者数	
津 山		(7)	(-)	(7)	(2)			(2)				
	普 通	200	* 59	141	131	0.89	0.98	126	15	1	1	14
	理 数	40	* 33	7			-	1	6	0	0	6
津 山 東	普 通	120	-	120	118	0.98	1.06	111	9	0	0	9
	食 物 調 理	40	30	10	14	1.40	0.70	10				0
	看 護	40	30	10	10	1.00	0.30	10				0
津 山 工 業	機 械	40	28	12	5	0.42	1.08	4	8	0	0	8
	ロ ボ ッ ト 電 気	40	24	16	6	0.38	0.67	6	10	0	0	10
	工 業 化 学	40	28	12	14	1.17	0.67	12				0
	土 木	40	28	12	10	0.83	0.38	7	5	0	0	5
	建 築	40	28	12	10	0.83	0.33	11	1	0	0	1
	デ ザ イ ン	40	28	12	13	1.08	1.08	12				0
津 山 商 業	地域ビジネス		64									
	情報ビジネス	160	59	37	29	0.78	2.13	26	11	0	0	11
玉 野		(24)	(-)	(24)	(14)			(14)				
	普 通	160	-	160	112	0.70	0.98	110	50	4	4	46
玉 野 光 南	普 通	120	-	120	111	0.93	1.18	111	9	0	0	9
	情 報	40	30	10	14	1.40	0.70	10				0
	体 育	80	80	0	-	-	-	-				0
笠 岡		(16)	(-)	(16)	(3)			(3)				
	普 通	160	-	160	115	0.72	0.91	115	45	0	0	45
笠 岡 工 業	電 子 機 械	40	32	8	0	0.00	1.50	0	8	0	0	8
	電 気 情 報	40	24	16	1	0.06	0.06	0	16	0	0	16
	環 境 土 木	40	23	17	2	0.12	1.50	2	15	0	0	15
笠 岡 商 業	ビジネス情報	120	96	24	17	0.71	1.63	17				0
井 原		(6)	(0)	(6)	(0)			(0)				
	普 通	120	60	60	11	0.18	0.48	11	49	0	0	49
	地 域 生 活 ＜グリーンライフ＞	20	20	0	0	-	0.20	0				0
総 社	地 域 生 活 ＜ヒューマンライフ＞	20	17	3	0	0.00	1.00	0	3	0	0	3
		(10)	(-)	(10)	(13)			(13)				
	普 通	200	-	200	178	0.89	1.15	179	21	2	2	19
総 社 南	家 政	40	28	12	18	1.50	1.17	12				0
	普 通	240	50	190	218	1.15	1.42	190				0
高 梁	普 通	120	60	60	48	0.80	1.22	48	12	1	1	11
	家 政	40	32	8	7	0.88	0.20	5	3	0	0	3
高 梁 城 南	電 気	40	31	9	4	0.44	0.63	5	4	0	0	4
	デ ザ イ ン	40	32	8	2	0.25	0.88	5	3	0	0	3
	環 境 科 学	40	32	8	14	1.75	0.13	8				0
新 見	普 通	80	40	40	0	0.00	0.02	0	40	0	0	40
	生 物 生 産	30	7	23	2	0.09	0.13	2	21	0	0	21
	工 業 技 術	35	15	20	1	0.05	0.50	0	20	0	0	20

(注) *津山高校の特別入学等合格者数には、津山中学校からの入学者76名を含む。

学 校 名	科 く　　ー　　ス　　>	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和7年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
	系 列 名								募集人員	志願者数	合格者数	
備 前 緑 陽	総 合 学 科	120	92	28	19	0.68	0.69	14	14	3	2	12
	普 通 進 学 系 列											
	健 康 福 祉 系 列											
	情 報 ・ ビジネス系 列											
	工 業 技 術 系 列	120	92	28	19	0.68	0.69	14	14	3	2	12
邑 久	普 通	40	20	20	17	0.85	1.40	20				0
	生 活 ビジネス	80	64	16	32	2.00	1.69	16				0
勝 山	普 通	120	60	60	44	0.73	0.47	43	17	0	0	17
	普通(蒜山校地)	40	* 22	18	2	0.11	0.12	2	16	0	0	16
真 庭	食 農 生 産	40	32	8	4	0.50	0.06	4	4	0	0	4
	経 営 ビジネス	40	24	16	2	0.13	0.05	1	15	0	0	15
	看 護	40	11	29	1	0.03	0.03	* 1	28	0	0	28
林 野	普 通	120	60	60	6	0.10	0.63	5	55	1	1	54
鴨 方	総 合 学 科	120	82	38	8	0.21	0.25	6	32	1	1	31
	普 通 総 合 系 列											
	デザイン・イラスト系 列											
	介 護 ・ 食 物 ・ 保 育 系 列											
	ビ ジ ネ ス 系 列	120	82	38	8	0.21	0.25	6	32	1	1	31
和 気 閑 谷	普 通	80	35	* 42	15	0.36	0.40	12	30	2	2	28
	キ ャ リ ア 探 求	40	24	16	4	0.25	0.50	4	12	3	3	9
矢 掛	普 通	80	40	40	3	0.08	0.70	3	37	1	1	36
	地 域 ビジネス	40	24	16	0	0.00	0.31	0	16	0	0	16
勝 間 田	総 合 学 科	120	60	60	10	0.17	0.25	10	50	4	3	47
	森 林 系 列											
	園 芸 系 列											
	食 品 系 列											
	自 動 車 系 列											
	ビ ジ ネ ス 系 列											
計		(216) 10,625	(6) 4,922	(210) 5,700	(152) 5,650	0.99	1.04	(129) 4,832	861	41	39	822

(注) *勝山高校普通科(蒜山校地)の特別入学等合格者数には、連携型中高一貫教育に係る入学者選抜の合格者10名を含む。
*真庭高校看護科の合格者数には、複数校志願による合格者1名を含む。
*和気閑谷高校普通科の一般入学募集人員は、全国募集において募集定員の10%を超えた特別入学等合格者3名を差し引いている。

※追検査について、志願者は2名、合格者は2名であった(表には計上していない)。

市立全日制

学 校 名	科 名	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	令和8年度 (b)/(a)	令和7年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
									募集人員	志願者数	合格者数	
岡山後楽館	総 合 学 科	160	* 136	24	40	1.67	1.21	24				0
玉 野 商 工	ビジネス情報	80	50	30	10	0.33	0.20	8	22	1	1	21
	機 械	40	31	9	4	0.44	0.56	4	5	0	0	5
計		280	217	63	54	0.86	0.58	36	27	1	1	26

(注) *岡山後楽館高校の特別入学等合格者数には、岡山後楽館中学校からの入学者62名を含む。

県立定時制

学 校 名	科 名（部 名）	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	令和 8 年度 (b)/(a)	令和 7 年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
									募集人員	志願者数	合格者数	
烏 城	普 通（昼 間）	100	50	50	57	1.14	1.40	50				0
	普 通（夜 間）	40	12	28	18	0.64	0.20	17	11	2	1	10
計		140	62	78	75	0.96	0.95	67	11	2	1	10

（注）特別入学等合格者数には定時制課程の特別な入学者選抜の合格者を含む。

市立定時制

学 校 名	科 名（部 名 等）	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	一般入学 募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和 7 年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
									募集人員	志願者数	合格者数	
精 思	普 通（夜 間）	80	1	79	8	0.10	0.19	8	71	2	2	69
精思霞丘校	普 通（昼 間）	60	30	30	34	1.13	0.67	27	3	0	0	3
	商 業（昼 間）	30	15	15	9	0.60	0.73	9	6	2	0	6
倉敷市立 工 業	機 械（夜 間）	80	-	80	17	0.21	0.18	15	65	1	1	64
	電 気（夜 間）	40	-	40	12	0.30	0.15	10	30	0	0	30
倉敷翔南	総合学科(昼間)	95	47	48	11	0.23	0.38	8	40	4	2	38
	総合学科(夜間)	25	12	13	2	0.15	0.05	2	11	0	0	11
真 備 陵 南	普通(昼間)(3修コース)	40	20	20	15	0.75	0.85	15	5	0	0	5
	普通(夜間)(4修コース)	40	10	30	1	0.03	0.30	0	30	1	1	29
玉 野 備 南	普 通（昼 間）	40	-	40	29	0.73	0.70	29	11	0	0	11
井 原 市 立	普 通（昼 間）	40	15	-	-	-	-	-	25	0	0	25
	普 通（夜 間）	40	4	-	-	-	-	-	36	0	0	36
計		610	154	395	138	0.35	0.35	123	333	10	6	327

（注）特別入学等合格者数には定時制課程の特別な入学者選抜の合格者を含む。

（参 考） 県立高校に準じない入学者選抜実施校

学 校 名	科 名（部 名）	募集定員	特別入学等 合 格 者 数	募集人員 (a)	志願者数 (b)	(b)/(a)	令和 7 年度 (b)/(a)	合格者数	第 2 次 募 集			不足数
									募集人員	志願者数	合格者数	
松 山	普 通（夜 間）	40	0	40	4	0.10	0.08	4	-	-	-	36
宇 治	普 通（昼 間）	40	-	40	5	0.13	0.15	5	若干名	0	0	35
片 上	普 通（夜 間）	40	-	40	22	0.55	0.30	18	-	-	-	22
計		120	0	120	31	0.26	0.18	27		0	0	93

（注）特別入学等合格者数には定時制課程の特別な入学者選抜の合格者を含む。

第16表 県立高等学校特別入学者選抜の学校・科別の全国募集志願者数及び合格内定者数等

学 校 名	科 ＜ コ ー ス ＞	募集人員	特別入学 募集人員	志願者数	合 格 内定者数
倉 敷 鷺 羽	普 通	12	9	0	0
	ビ ジ ネ ス	4	3	0	0
玉 島 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	4	4	0	0
笠 岡	普 通	16	0	-	-
笠 岡 工 業	電 子 機 械	8	8	2	2
	電 気 情 報	8	8	1	1
	環 境 土 木	8	8	0	0
笠 岡 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	12	12	11	9
井 原	普 通	24	16	3	3
	地 域 生 活 ＜グリーンライフ＞	8	8	2	2
	地 域 生 活 ＜ヒューマンライフ＞			2	2
高 梁 城 南	電 気	4	4	2	2
	デ ザ イ ン	4	4	1	1
	環 境 科 学	4	4	1	1
新 見	普 通	16	16	0	0
	生 物 生 産	6	6	0	0
	工 業 技 術	7	7	0	0
勝 山	普 通	12	12	1	0
	普 通（蒜山校地）	8	6	3	3
真 庭	看 護	8	8	0	0
林 野	普 通	12	10	0	0
鴨 方	総 合 学 科	24	20	3	3
和 気 閑 谷	普 通	16	16	12	11
	キ ャ リ ア 探 求	8	8	2	2
矢 掛	普 通	8	6	0	0
	地 域 ビ ジ ネ ス	4	4	4	2
計		245	207	50	44

第17表 県立高等学校一般入学者選抜の学校・科別の全国募集志願者数及び合格者数等

学 校 名	科 ＜ コ ー ス ＞	一般入学 募集人員	志願者数	合格者数
倉 敷 鷺 羽	普 通	12	0	0
	ビ ジ ネ ス	4	0	0
玉 島 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	4	0	0
笠 岡	普 通	16	4	4
笠 岡 工 業	電 子 機 械	6	0	0
	電 気 情 報	7	0	0
	環 境 土 木	8	0	0
笠 岡 商 業	ビ ジ ネ ス 情 報	3	2	1
井 原	普 通	21	0	0
	地 域 生 活 ＜グリーンライフ＞	4	0	0
	地 域 生 活 ＜ヒューマンライフ＞		0	0
高 梁 城 南	電 気	2	0	0
	デ ザ イ ン	3	0	0
	環 境 科 学	3	0	0
新 見	普 通	16	0	0
	生 物 生 産	6	0	0
	工 業 技 術	7	0	0
勝 山	普 通	12	1	1
	普 通（蒜山校地）	5	0	0
真 庭	看 護	8	0	0
林 野	普 通	12	0	0
鴨 方	総 合 学 科	21	0	0
和 気 閑 谷	普 通	5	0	0
	キ ャ リ ア 探 求	6	0	0
矢 掛	普 通	8	0	0
	地 域 ビ ジ ネ ス	2	2	0
計		201	9	6

Ⅱ 特別入学者選抜のための 学 力 検 査 の 概 要

Ⅱ 特別入学者選抜のための学力検査の概要

第1 学力検査の結果の概要（全国募集を含む）

第1表 県立全日制学科別受検状況（完全受検者）

普通科	理数科	国際系 ※1	その他 普通系 ※2	体育科	農業科	工業科	商業科	家庭科	看護科	情報科	福祉科	その他 ※3	総 学	合 科	計
1,025	213	67	129	89	451	1,625	1,711	517	99	53	43	89	347		6,458

（注）※1は、西大寺高校の国際情報科。
 ※2は、邑久高校の生活ビジネス科及び和気閑谷高校のキャリア探求科。
 ※3は、井原高校の地域生活科及び高梁城南高校の環境科学科。

第2表 教科別最高、最低、平均点（100点法換算）

	国 語	数 学	英 語
最 高 点	97	100	100
最 低 点	0	0	3
平 均 点	58.8	53.6	60.6

（参 考）

	年 度	国 語	数 学	英 語
最近 5 年間の 平均点	令 7	59.0	60.4	58.7
	6	58.0	51.1	47.0
	5	66.5	58.8	54.5
	4	52.1	48.1	44.9
	3	50.3	50.3	53.3

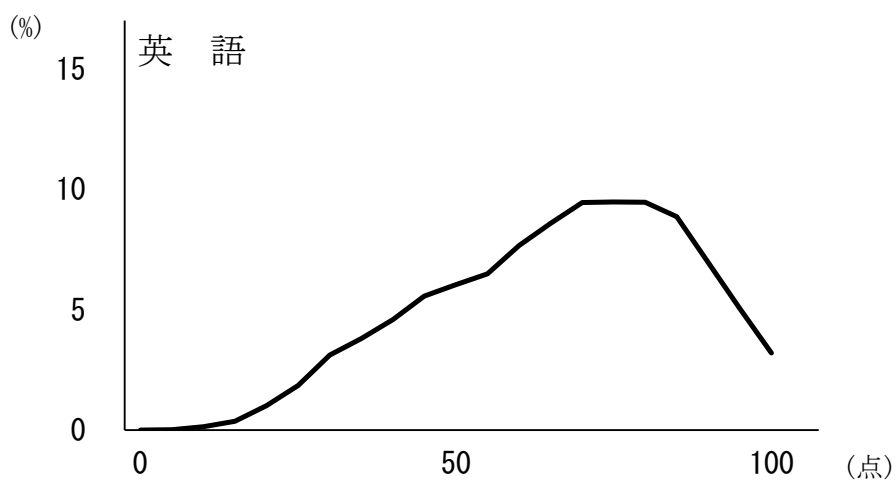
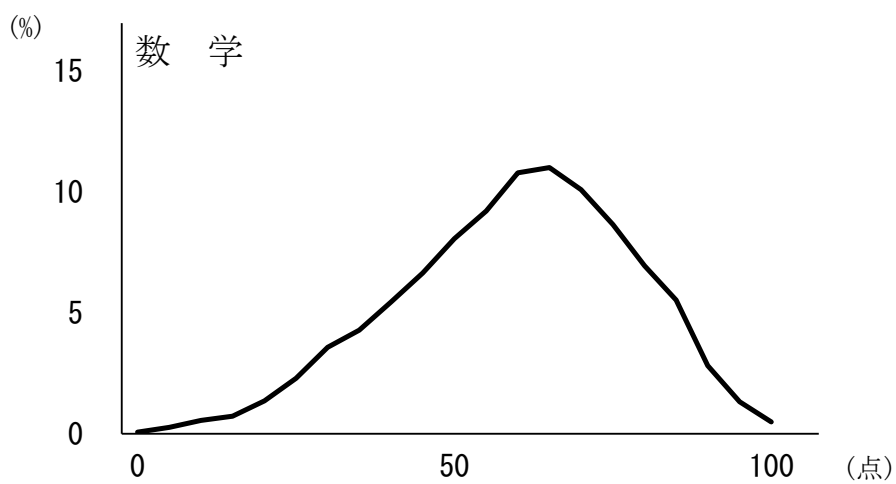
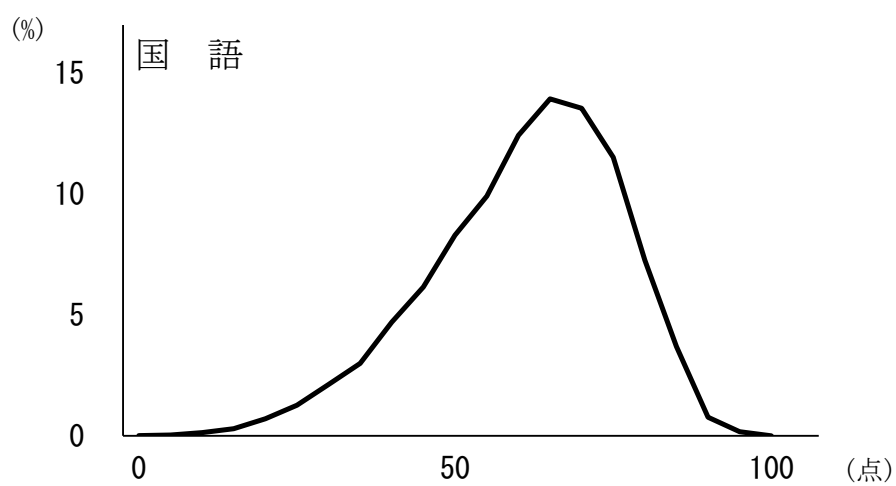
（注）学校による採点基準の違いは考慮していない。（第3表及び教科別素点分布曲線についても同様である。）

第3表 教科別素点分布一覽（100点法換算）

段階（点） \ 教科	国 語	数 学	英 語
97.6 ～ 100	0.0%	0.5%	3.2%
92.6 ～ 97.5	0.3%	2.2%	6.9%
87.6 ～ 92.5	1.2%	3.5%	7.0%
82.6 ～ 87.5	6.2%	7.6%	10.7%
77.6 ～ 82.5	8.3%	6.3%	8.2%
72.6 ～ 77.5	14.7%	11.0%	10.7%
67.6 ～ 72.5	12.4%	9.2%	8.2%
62.6 ～ 67.5	15.5%	12.9%	9.0%
57.6 ～ 62.5	9.4%	8.7%	6.3%
52.6 ～ 57.5	10.5%	9.7%	6.6%
47.6 ～ 52.5	6.1%	6.4%	5.4%
42.6 ～ 47.5	6.2%	6.9%	5.7%
37.6 ～ 42.5	3.2%	4.0%	3.5%
32.6 ～ 37.5	2.8%	4.5%	4.1%
27.6 ～ 32.5	1.5%	2.6%	2.1%
22.6 ～ 27.5	1.1%	2.0%	1.6%
17.6 ～ 22.5	0.4%	0.7%	0.5%
12.6 ～ 17.5	0.2%	0.7%	0.3%
7.6 ～ 12.5	0.0%	0.4%	0.0%
2.6 ～ 7.5	0.0%	0.1%	0.0%
0 ～ 2.5	0.0%	0.0%	0.0%
計	100	100	100
平 均 点	58.8	53.6	60.6

令和8年度岡山県立高等学校特別入学者選抜学力検査

教科別素点分布曲線 (100点法換算)



1 国 語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

国語の特質を理解し適切に使うことができる力、伝え合う力、思考力や想像力等、国語で正確に理解し適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心に問題している。

イ 問いごとのねらい

- ① 漢字を読むことや書くこと、文節同士の関係、慣用句、同音異義語、表現技法、敬語、話し合いにおける発言の特徴等、国語の基礎的な知識や事項について理解の程度をみる。
- ② 古典を扱った説明的な文章によって、古典における基礎的事項の理解の程度をみる。また、文章から読み取った情報や、複数の資料を活用して理解したことを整理し、適切にまとめる力をみる。
- ③ 文学的な文章によって、文脈における語句の意味や、表現上の特徴とその効果について理解の程度をみる。また、登場人物の言動の意味や心情を文章の展開に即して理解したり、理解したことを端的に表現したりする力をみる。
- ④ 説明的な文章によって、文脈の中における語句の意味や、文章の全体と部分との関係について理解の程度をみる。また、文章の展開に即して理解したことを端的に表現したり、筆者の考えを正確に読み取ったりする力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

漢字、慣用句、表現技法、発言の特徴、接続詞等、国語の基礎的・基本的な知識や言語事項に関する設問では全体的に正答率は高かった。また、文章の内容を整理して必要な情報を文章中から抜き出して解答する設問や、読み取った内容を選択肢によって解答する設問についても、正答率は概ね高かった。

一方で、文節同士の関係や敬語、古典の基礎知識に関する設問では、正答率が伸びなかった。また、文章の内容を整理して必要な情報を文章中から抜き出して解答する設問の一部や、読み取った内容を端的にまとめて記述する設問については正答率が低かった。文学的文章においては、解答に盛り込むべき要素を吟味して適切に抜き出したり記述したりすること、説明的文章においては、問われている事柄を考えて適切に内容を理解し、整理することに課題がみられた。

文の成分の順序や照応など、文の構成を正しく理解し表現するための指導の充実

〔大問1〕(2) 正答：エ 正答率：46.0%〕

〔分析〕大問1(2)は、文節同士の関係についての設問である。今回出題された「修飾・被修飾の関係」は、文を正しく読み取るためだけでなく、品詞の分類や熟語の構成等、国語の様々な基礎的事項を理解するためにも重要な事項だが、十分に定着させることができず、正答率が46.0%と伸びなかったと考えられる。

〔視点〕日常の指導では、文の成分や文節の关系到留意して一文を正しく読み取ったり、自分が意図したとおりの内容を適切に表現したりする指導を取り入れたい。例えば、文の成分や文節の关系到明瞭な文を素材として知識を定着させたり、反対に不明瞭な文を素材として修正点の指摘やリライトをする活動を取り入れたりするなど、「読むこと」や「書くこと」の活動を充実させることが考えられる。

- (2) 次の文の——の部分の文節のうち、「修飾・被修飾の関係」となっているものとして適当なのは、ア～オのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- 夜が明けると、庭は雪に覆われていた。
- A AとB
B BとC
C CとD
D DとE
E EとF
F FとG

① 次の(1)～(4)に答えなさい。

一つ一つの言葉や表現に注目しながら、その言葉がもつ意味や表現による効果を意識し、文章の展開に即して内容を的確に理解するための指導の充実

〔大問4〕(4) 正答例：自分の母語の語彙で切り取られた 正答率：3.5%〕

〔分析〕大問4(4)は、「これまでとは大きく異なる人生を生きる」ことについて説明した文を完成させる設問である。傍線箇所は直前の「これ」についての説明で、「これ」の指示内容である具体例や、そのもととなる筆者の主張が重要だが、それに気付かず読み進めた結果、傍線部の後にあって「世界」につながる言葉を抜き出したような解答が目立った。

〔視点〕日常の指導では、指示語の指示内容をおさえたり、比喩などの表現技法の表す内容を考えたりして、筆者の考えを的確に捉える練習を積極的に取り入れたい。そのためには、文章中に用いられている言葉の意味や表現の効果について吟味する活動や、文章構成を把握し、全体を俯瞰的に捉える中で特定の表現がどのような役割を担っているかを考える活動など、多面的にアプローチすることが必要である。

- (4) 「これまで……生きる」とありますが、これがどういうことを説明した次の文の——に入れるのに適当なことを、十五字以内で書きなさい。
- これまでの価値基準はあくまで——世界を生きるなかで身につけたものであり、自分ではあたりまえだと思っていたことも、異なる世界ではあたりまえではないのかもしれないと考え、以前とは違ったものの見方ができるようになるということ。
- ④ 次の文章を読んで、(1)～(5)に答えなさい。
- こういう経験を経ることで、自分の性格まで変わるかもしれない。日本で普段暮らしているときは、細かいことにくよくよ悩む性格だったのに、海外で暮らすようになってあまり細かいことを気にしなくなっただけという人がいます。人間は住む環境を変えることで、いかようにも変容できます。これはあたかも、これまで物心つく頃から積み重ねてきた人生とは、大きく異なる人生を生じるかのようです。こう考えることで、私は人生を2回生きるに等しい経験が得られるのではないかと気づきました。……

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)					
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答		
1	(1)①	きんこう	1		○		68.0	0.0	30.5	1.5		
	(1)②	ひそ(んでいる)	1		○		88.0	0.0	11.0	1.0		
	(1)③	洗練	2		○		33.0	15.0	27.0	25.0		
	(1)④	祝(う)	1		○		57.5	0.0	36.5	6.0		
	(2)	エ	1	○			46.0	0.0	54.0	0.0		
	(3)①	イ	1	○			95.5	0.0	4.5	0.0		
	(3)②	ア	1	○			86.0	0.0	14.0	0.0		
	(4)①	エ	2	○			50.5	0.0	49.0	0.5		
	(4)②	ウ	2	○			70.0	0.0	30.0	0.0		
	(4)③	召し上がる	2		○		36.0	0.5	56.0	7.5		
	(4)④	イ	2	○			84.5	0.0	15.5	0.0		
2	(1)X	水のあわ	2		○		80.5	0.0	17.5	2.0		
	(1)Y	つなぐ	2		○		44.0	2.5	46.0	7.5		
	(2)	ワ(行)	2		○		9.0	0.0	88.5	2.5		
	(3)	ウ	4	○			78.0	0.0	22.0	0.0		
	(4)X	我が身一つ	2		○		64.5	0.5	27.0	8.0		
	(4)Y	静か	2		○		83.0	0.5	11.5	5.0		
3	(1)	ア	3	○			77.0	0.0	23.0	0.0		
	(2)X	照れ	2		○		62.5	0.5	23.5	13.5		
	(2)Y	私がどんな活動をしているのか	2		○		78.5	0.0	13.5	8.0		
	(3)	ウ	3	○			71.0	0.0	29.0	0.0		
	(4)X	自分を膝にのせて絵本 を読み聞かせてくれた	6			○	5.0	72.5	11.5	11.0		
	(4)Y	愛を感じる	3		○		40.0	1.0	25.0	34.0		
	(5)	エ	4	○			75.5	0.0	24.5	0.0		
4	(1)	現場に自ら赴いて、調査すること	2		○		89.0	3.0	5.0	3.0		
	(2)	エ	2	○			62.5	0.0	37.5	0.0		
	(3)	ア・カ	4	○			41.0	53.0	5.5	0.5		
	(4)	自分の母語の語彙で切 り取られた	5			○	3.5	25.5	50.0	21.0		
	(5)	イ	4	○			67.0	0.0	31.5	1.5		

1

次の①、④に答えなさい。

(1) ①、④の——の部分について、①、②は漢字の読みを書きなさい。また、③、④は漢字に直して楷書で書きなさい。

- ① 両チームは均衡を保っている。
② 無限の可能性が潜んでいる。
③ 作法がセンレンされている。
④ 新しい一年の始まりをイブウ。

(2) 次の文の——の部分の文節のうち、「修飾・被修飾の関係」となっているものとして適当なのは、ア、オのうちではどれですか。一つ答えなさい。

A 夜が B 明けると、 C 庭は D 雪に E 覆われて F いた。

- ア AとB イ CとD ウ CとE エ DとE オ EとF

(3) ①、②の慣用句と最も近い意味をもつ熟語は、ア、エのうちではどれですか。それぞれ一つ答えなさい。

① 非の打ちどころがない

- ア 未熟 イ 完壁 ウ 豪華 エ 質素

② 精も根も尽きる

- ア 断念 イ 満足 ウ 後悔 エ 安心

(4) 中学生の大地さんは、探究的な学習の一環で、自分たちの住む町の魅力をスライドにまとめて校内発表することになっており、先生にデータを送信する前にクラスメイトの由香さんと健次さんに見てもらっています。次の【会話】を読んで、①、④に答えなさい。

【会話】

大地 僕が作ったスライドを見てもらえるかな？
由香 提出の締め切りは今日だったよね。まかせて。……うん、町の雰囲気伝わってくる、いい紹介スライドになっているね。でも、この「あたたかく、笑顔があふれる町」というキャッチコピーは、ちょっとあいまいかも。気温の話ではないんだよね？
健次 そうか。「雰囲気があたたかい」じゃなくて「気温が高い」ととられるかもしれないか。実際にこの町は温暖だし。

由香 そう。だから、「人のぬくもりを感じる」とか「思いやりがある」といった表現に変えてはどうかね。
大地 いいね。そこを修正したら先生に提出しようかな。さっき先生に「今日中にデータを送信できそうですか？」と尋ねられたんだけど、二人の意見を聞いてから提出しようと思つて、「㉓」と答えたんだ。それなのに、「間に合うならよかった」と言われたんだよ。
健次 確かに、会話でその表現をすると、大地さんの答えだ、間に合わないという返事ではなく、間に合うという返事にも聞こえるね。
大地 それで正しく伝わらなかったのか。ことはって難しいね。そうだが、同音異義語を利用して一つのことは二つ以上の意味をもたせる表現技法を古文で習ったよね。あれと同じように、スライドの表現は変えずにどちらの意味も込めた紹介にするよ。
健次 それはおもしろそうだね。キャッチコピーだし、その方が興味をひくかもしれない。
由香 待つて。町の名物について校長先生に尋ねた内容をまとめたスライドの、「校長先生が食べられるものランキング」は表現を変えようよ。複数の意味がある「られる」を使わずに、敬語だということが明確な「校長先生が㉔ものランキング」にしてはどうかね。
大地 確かに、それなら敬語だとはつきりわかるね。でも、表現がかたくなる気がするな。無理に敬語にせず、「校長先生の好きな食べものランキング」にして、紛れをなくすことにするよ。二人とも、アドバイスしてくれてありがとう。お陰でいいスライドになりそうだ。

① ㉓に入れることはとして最も適当なのは、ア、エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア まだ分かりません イ 送信できません ウ 明日提出できそうです エ 遅れそうです

② ㉔「同音異義語を……表現技法」として適当なのは、ア、エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 枕詞 イ 序詞 ウ 掛詞 エ 比喩

③ ㉔に入れるのに適当な一語の敬語を書きなさい。

④ 【会話】における発言の特徴を説明したものとして最も適当なのは、ア、エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 大地は、自分の発言に対する意見を由香と健次に求めることで、それぞれの話題を掘り下げている。
イ 由香は、大地の作成したスライドに対して具体的な指摘をし、自分の考える修正方法を提案している。
ウ 健次は、他の人の発言をもとにして話し合いを膨らませるために、常に新しい話題を提供している。
エ 二人とも、誰かの意見と食い違った場合は、根拠を示して相手を説得し自分の意見を後押ししている。

次の文章は、鴨長明の随筆『方丈記』の冒頭とその【現代語訳】および【解説】です。これを読んで、(1)～(4)に答えなさい。

ゆく河のながれは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつむすびて、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある人と栖と、またかくのごとし。

【現代語訳】

流れゆく河のながれは、絶えることはなくて、しかも、もとの水では決してない。河のよどみに浮かぶ水のあわは、片方で消えたかと思うと、片方で生まれ、永くそのままとどまるということはない。世の中にある人間も住まいも、まだこれと同じようなものである。

(出典 市古貞次・小田切進 編『日本の文学 古典編 26』)

【解説】

(著作権保護のため掲載を省略しています。)

- (1) 「人と栖の儚さ」とありますが、これについての筆者の考えを説明した次の文の X 、 Y に入れるのに適切なことばを、 X は【現代語訳】から四字、 Y は【解説】から三字で、それぞれ抜き出して書きなさい。

筆者は、人も住居も永遠にはとどまらない「 X 」のような存在で、次へと Y 構成要素の一つにすぎないと考えている。

- (2) 「争ふ」とありますが、歴史的かなづかいを現代かなづかいに直すとき、語頭以外の八行の音は何行の音になるか書きなさい。

- (3) 「散る桜……散る桜」とありますが、この句の意味を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 散っている桜だけではなく、散らずに残っている桜もいつか散るかもしれないという意味。
イ 散りゆく桜を見ていると、まだ残っている桜までも散っているように錯覚するという意味。
ウ 今まさに散っている桜のように、まだ散っていない桜もいずれは散ってしまうという意味。
エ すでに散っている桜も、まだ散っていない桜も、どちらも儚く美しいと感じるという意味。

- (4) 「人生自体が……空いている」とありますが、家に対する長明の考え方に興味をもった陽子さんは、『方丈記』には家についてどのように書かれているのかを調べ、次のような現代語訳を見つけました。次の【資料】と【陽子さんが解説と資料を読んで理解したこと】を読んで、 X 、 Y に入れるのに適切なことばを、 X は五字、 Y は二字で、それぞれ【資料】から抜き出して書きなさい。

【資料】陽子さんが見つけた現代語訳

仮に作った粗末で小さな家だけが安らかで、心配がない。狭いというが、夜に寝る寝床もある。屋座る所もある。我が身一つを宿らせるに不足はない。ヤドカリが小さい貝を好むのは、そうすべき事情をよく知っているからである。ミサゴが波の荒い磯に棲むのは、人をおそれるからである。私も彼らと同じようなものだ。わけを知り、世の中というものをわかっているから、願うこともしない、あくせくすることもしない、ただひたすら、静かであることを望みとし、不安がないことを楽しみとする。

だいたいにおいて、世の中の人が家を造るやり方は、必ずしも、やむをえない事情によってということではない。あるいは妻子、召し使いのために造り、あるいは親しい人、友人のために造る。あるいは主君、師匠、さらには財宝、牛馬のためにさえ、家を造るのである。

(注) ミサゴ——タカ科の鳥。

(市古貞次・小田切進 編『日本の文学 古典編 26』を参考に作成)

【陽子さんが解説と資料を読んで理解したこと】

なぜ長明が世間の人々を批判したのか調べたところ、世間の人々はその家で共に過ごす相手やその家を守る財産のために家を建てたのに対し、長明は X のために家を建てて Y に暮らしたがっていたと分かったので、世間の人と価値観が違ったことが理由だと理解しました。

次の文章は、書店を開業した両親から絵本を譲り受け、働きながら「重野^{しげの}」と共に「A S H I (あし)」という移動図書室のボランティア活動をしている「私(りん)」の元に、「私」の両親が訪れた場面です。これを読んで、(1)～(5)に答えなさい。

公園に遊びに来た子どもたちや犬の散歩中の人などが、絵本に興味をもって立ち止まってくれる。重野さんのコピーの香りに誘われて、つい吸い寄せられる人もいるようだ。

一人ひとりに、おすすめの一冊を。

この時間が、私にとってのしあわせだ。

ざあ、と風が吹いて髪の毛をかきあげると、こちらに向かって歩んでくる二人の姿が見えた。

「あ……」

父と母だ。一瞬、時が止まったように感じられる。

思わず重野さんのほうを振り返ると、^⑩重野さんはすべて知っていたようで、落ち着いた優しい笑顔で頷いた。今日ここでA S H Iを開くことを伝えたのは、きっと重野さんなのだろう。

「こんにちは」

すこし照れながら、いつも来てくれた人に向ける笑顔で、同じあいさつをする。

父は、自分が大切にしてきた絵本が春の日差しをあびている様子で、それを手に取る人々の姿に視線を送る。目じりが光った瞬間、ぱっと下を向く。

「お父さん、珍しく感動しちゃって」

母は笑ってから、重野さんにあいさつしに行く。

父も重野さんと話したいのだろうと思っただが、そのまま私のところに残っている。これはどういうことだろう、と、何かを待っているような父の表情をうかがっていると、しびれをきらしたように父は言った。

「絵本、おすすめしてくれないのか」

「えっ」

まさか絵本を借りるつもりがあつたとは。だってここにある絵本は、すべて父の書店にあつたものだから。でも、もしかしたら、私がどんな活動をしているのか、体験を通じて知りたいのかもしれない。私はこぼん、とひとつ咳払いして、^⑪なるべく通常モードでいられるよう切り替える。

「ところで、今日はどうして東京に？」

「……そうだな。ようやく元気になったし、あたたかくなってきたから、お母さんが旅行にでも行こうって。バスで温泉街に行く予定なんだが、どうせ東京から乗るんなら、東京でも寄りたいところに足を運ぼうっていう流れになって。それで、まあ……せっかくだから、移動図書室を見ていこうかな、と」

いつもは言葉数が少ない父が頑張つて説明している様子に、思わず頬が緩む。

「なるほど。でしたら、旅先で邪魔にならない、小さめのサイズの絵本が良さそうですね。それにこのあと温泉旅館で二人で読めたら、素敵かも。それなら……」

私は本棚に向き合い、指でなぞる。たくさんの物語たちが、指の先でさざめく。

今までずっと書店を支えてきた二人が、ようやく羽を伸ばして旅行を楽しむ。両親が二人でどこかに出かけるなんて、私が知る限り初めてだった。私はこれからの二人の時間が、しあわせで、おたやかであることを願う。書店を中心に回っていた生活から、新しい生活へと切り替える節目のタイミングにある二人に、ぴったりな一冊を贈りたい。

ぴた、と指を止める。この絵本だ。小ぶりのサイズの絵本をそっと本棚から引き抜く。

「これがおすすめです」

私は父に、その本を手渡す。父の顔が、驚いた表情のまま固まる。

「どうして、この絵本を……」

「この絵本は、とてもあたたかくて。愛という言葉はひとことも出てこないけれど、愛を感じる。特にお気に入りの一冊なんです」

父の複雑そうな表情を見て、おすすめする絵本を誤ったのかと不安になったが、今までずっとこうして選んできた自分の感性を信じることにした。

「そうか……」

父は受け取った絵本の表紙を撫でて、しわが刻まれた目元に涙を浮かべる。無骨な指先が震えているのを見て、私まで目頭が熱くなる。

「ありがとう」

^⑫父がこんなにもまっすぐ感謝の気持ちを伝えてくれたのは、初めてかもしれない。手渡した絵本の表紙に、一粒の涙が落ちている。

こんなにも、父に絵本の紹介が響くとは思わなかった。私は瘦せた父を抱きしめたい気持ちに駆られたが、父は間もなく、逃げるように重野さんのほうへと歩いていく。

母はその手元に抱かれた絵本の表紙を見てから、入れ替わるように私のほうへと近寄ってきた。

「あの絵本、お父さんが借りたって言ったの？」

「ううん、私がおすすめしたよ」

「あら」

母が目丸くするので、「なんで？」と私は首をかしげる。

「あの絵本、お父さんが小さい頃のりんにいつも読み聞かせていたから。私もよく覚えてる」

その言葉をきつかけに、幼い頃の記憶が一気に呼び戻された。

まだちいさかった自分が、父の膝の上に座っている。小ぶりの絵本だったから、父の手が大きく見えたのだった。やわらかなタッチで描かれた木の絵。それを取り囲む家族、子どもたち。

父に背中を預けながら、読み聞かせてもらった物語。

「家の庭に植えられた木が、家族をずっと見守っている物語よね。最初は子どもたちと同じくらいの手で、どんどん伸びて、親世代が老いて、庭が荒れて、世話されなくなっても、ときどき訪れる子どもたちを見守って、やがて木は切り株になって……」

母が思い出しながら話すあらずじが、読み聞かせてくれた記憶の中の父の声とも重なっていく。

言葉が少ない父だったが、絵本を読み聞かせするときの声の響きは今も体の中に残っている。節くれたった手がページをめくる音も、呼吸の感覚も。

「あれは、お父さんが一番好きな絵本だね」

母の一言が自分の思い出とつながり、言葉にならない感情がこみあげてきて、^④私は顔を覆った。

「まあ、ほんと親子そろって」

母の優しさを含んだ笑え声。指の間から見える、潤んだ世界。父も重野さんに肩を抱かれながら、目元を拭っていた。

これからA S H Iがどこへ行くのかは、まだわからない。けれど、自分自身と、目の前の人たちに向き合って、しあわせをひとつずつ確かめていけば、きっといい方向に進んでいく。絵本はきつと、その道しるべになってくれる。

(出典 藤野智哉『「あなたの居場所」はここにある』)

- (1) ^③「重野さんはすべて知っていた」とありますが、「重野」が知っていたこととして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 私の両親が東京を訪れており、A S H Iが活動しているこの公園にも来る予定だったこと。

イ一緒に働く私が本の紹介にしあわせを感じており、A S H Iの活動を楽しんでいること。

ウ公園を散歩していた私の両親が偶然A S H Iを見つけて、こちらに近づいてきていたこと。

エ私がA S H Iの活動を誇りに思い、両親にも本をおすすめしたいと考え始めていたこと。

- (2) ^④「なるべく……切り替える」とありますが、その理由を説明した次の文の「X」、「Y」に入れるのに適当なことを、「X」は二字、「Y」は十四字で、それぞれ文章中から抜き出して書きなさい。

A S H Iの一員として父と接すること、「X」る気持ちや、本を紹介してほしいという予想外の依頼に驚く気持ちもあるが、父の言動の意図を考え、「Y」を知ってもらうために、いつも通りの対応をしようと考えたから。

- (3) ^⑤「こんなにも……思わなかった」とありますが、「私」がこのように感じた理由を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 無骨なところがあり、日頃は本を丁寧に扱わない父が、自分の紹介によって本を撫でるほど気に入った様子を見せたから。

イ感情を表に出さず、話すときはいつも淡々としている父が、自分の紹介した本を見て昔の出来事を思い出して涙を流したから。

ウ普段は口数が少なく、感動する様子もあまり見せない父が、自分の本の紹介を聞いて涙をにじませながらお礼を言ったから。

エあまりしゃべらず、これまで本に触れる機会も少なかった父が、自分の紹介した本に強い関心を示して読もうとしたから。

- (4) ^④「私は顔を覆った」とありますが、このときの「私」の心情について説明した次の文の「X」、「Y」に入れるのに適当なことを、「X」は二十字以内で書き、「Y」は五字で文章中から抜き出して書きなさい。

幼い頃、父が「X」ときの感覚や思いが、母の言葉をきっかけとして鮮明に蘇り、自分がその絵本に「Y」のは、自分に対する父の「Y」思い出にまつわるからだと気づくとともに、父も自分と触れ合った思い出を今でも大切にしてくれているのだと感じ、こみ上げる涙を堪えられなくなっている。

- (5) この文章の表現や内容について説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア「一人ひとりに、おすすめの一冊を」という表現は、利用者から本の好みについて聞き出すことで最適な本を紹介するという、私の普段のやり方を端的に表している。

イ「たくさんの物語たちが、指の先でさざめく」という表現は、私が父の話を聞いたうえでおすすめする本を決めきれないため、焦っている状況を比喩的に表している。

ウ「母の優しさを含んだ笑え声」という表現は、気持ちを素直に伝えられず相手に冷たい態度をとる私と父を見て、母がいたたまれなく思っていることを表している。

エ「絵本はきつと、その道しるべになってくれる」という表現は、A S H Iが絵本によって私と利用者の双方をしあわせにする場になるという私の考えを表している。

みなさんは、^㉔「フィールドワーク」という言葉を知っていますか。今では中学校や高校でも行われるようになってきているので、どこかで聞いたことがあるという人は多いでしょう。ひとことというなら、現場に自ら赴いて、調査することです。教室の外に出て、誰かの話を聞いたり、野外で生物を観察したり、お祭りに参加してみたりするなど、世の中にはじつにさまざまな種類のフィールドワークがあります。

㉕、文化人類学でいうフィールドワークは、調査をするというよりも、むしろ普段のなじみの人間関係からいったん切り離された状況に身を置いて生活するというイメージでとらえるほうがよいでしょう。

入学してはじめて足を踏み入れた高校での経験のように、見知らぬ集団や見知らぬ土地のコミュニティに入り込み、その人間関係のなかに巻き込まれながら、そこで出会う人たちが何をしているのかを観察するのです。これを文化人類学の世界では「参与観察」と呼んでいます。

そして、人びとが普段行っていることや話していることについて、文化人類学者はメモをとります。時には、気になったことについて、人びとに話を聞いて、それもメモしていきます。こうしたメモをもとに、彼らの暗黙のルールを発見していくのです。

そして、このメモを体系的にまとめた書物を「民族誌(エスノグラフィ)」といいます。文化人類学の研究成果は、民族誌と呼ばれる書物にまとめられて公開されるのです。

文化人類学者は、このようなフィールドワークを、東南アジアの熱帯林やアフリカの砂漠、オセアニアの島々など、私たちは極端に生活環境が異なる土地で行ってきました。

㉖、もっとも、最近の文化人類学者は、必ずしも遠い海外の土地に限らない、身近な場所でもフィールドワークをするようになりました。とはいえ、文化人類学者になるには、まずこのようなフィールドワークを経験しなければなりません。

このときに重要になるのは、フィールドワーク先の言葉を現場のなかで使いながら覚えるということです。この過程を経て、少しずつ現地の人間関係のなかに巻き込まれていきます。こうして次第に世界の見え方を変えていきます。

自分の人生は1回しかありません。日本語を母語とする私は、日本語の語彙で切り取られた世界のなかで生きています。英語を習うと、英語の語彙で切り取られた世界は、それとは異なることが分かってきます。しかし、それでも英語話者の人間関係のなかに巻き込まれることがなければ、英語で切り取られた世界をどこか距離をもつて眺める程度になってしまい、自分の身体に染み付いたものになりません。

一方、もし日本語の世界から切り離されて、別の言語を話す人のなかで、一から人間関係を築いていくなら、生活の実感をともなった形で、私たちは世界の別の見え方を獲得できます。

こういう経験を経ることで、自分の性格まで変わるかもしれません。日本で普段暮らしているときは、細かいことにくよくよ悩む性格だったのに、海外で暮らすようになってあまり細かいことを気にしなくなったという友人がいます。人間は住む環境を変えることで、いかににも変容できます。

これはあたかも、^㉗これまで物心つく頃から積み重ねてきた人生とは、大きく異なる人生を生きるかのようです。こう考えることで、私は人生を2回生きるに等しい経験が得られるのではないかと気づきました。人生が2回生きられるなんて、すばらしいと思いませんか。

もちろん、「人生を2回生きる」というのは、少し言い過ぎかもしれません。ほとんどの場合、自分の母語を完全に捨て去って生きる人は稀でしょうし、やはり何といっても長年積み重ねて身につけてきた母語の世界は強固なものです。

しかし、いったん自分の慣れ親しんだ世界から切り離されて、違う言語空間で生活することにより、これまであたりまえだと思っていた世界が、決してあたりまえではないことに気づきます。疑うことすらなかった出来事や考え方について、「じつはあたりまえではないかもしれない」と気づくことで、私たちは新鮮なものの見方を獲得します。

私の好きな言葉に「自分のものさしで問うのではなく、自分のものさしを問いなさい」という格言があります。私たちは普段、「自分のものさし」

㉘、自分の価値基準を自覚していません。しかし、異なる言語空間で暮らすことで、「自分はこういうものさしで考えていたのか」ということに気づく場合があります。

「自分のあたりまえを疑う」とは、最近よく聞く表現ではありますが、私は文化人類学がいうあたりまえの解体は、異なる言語を身につけて生活することから得られる深い気づきだと思っています。

それは、単に「自分とは違う考え方をしている人だ」とか、「人それぞれだよ」といったことに気づくことではありません。そうではなく、「自分はこんな考え方をしていたのか」といった感じで自らが意識していなかった自分の癖や習慣、思考パターンに気づくということを意味します。私はこれを「自己変容」と呼んでいます。

(出典 箕曲^{フナギマツ}在^ニ弘^{ノリ}『自分のあたりまえを切り開く文化人類学入門』)

(1) ^㉔「フィールドワーク」とありますが、筆者の考える一般的なフィールドワークの説明を、文章中から十五字で抜き出して書きなさい。

(2) ㉕、㉖にそれぞれ入れることはばの組み合わせとして最も適切なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア ㉔ところで ㉖一方 イ ㉔つまり ㉖または ウ ㉔たとえば ㉖むしろ エ ㉔しかし ㉖すなわち

(3) ^㉖「文化人類学者に……なりません」とありますが、筆者の考える「このようなフィールドワーク」について説明したものとして適切なのは、ア～カのうちではどれですか。二つ答えなさい。

ア 現地の人々の普段の言動を観察して記録する。 イ 現地には行かず相手に出向いてもらう場合もある。
ウ 事前に言語を習得したうえで現地に向かう。 エ 遠方に限らず身近な場所において行うことがある。
オ 自分の言語や文化について現地の人々に伝える。 カ 現地の人々と関わる中で言葉を覚えるようにする。

- (4) ①「これまで……生きる」とありますが、これがどういうことを説明した次の文の□□□□に入れるのに適当なことを、十五字以内で書きなさい。
- これまでの価値基準はあくまで□□□□世界を生きるなかで身につけたものであり、自分ではあたりまえだと思っていたことも、異なる世界ではあたりまえではないのかもしれないと考え、以前とは違ったものの見方ができるようになるといふこと。
- (5) この文章の論の進め方を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア フィールドワークの効果について、他者の体験を示しながら説明しているため、主観を排除した客観的な内容になっている。
- イ フィールドワークを行う環境によってどのような違いが生じるのかを説明することで、筆者の主張に説得力をもたせている。
- ウ 読者への問いかけを繰り返すことによつて、フィールドワークを軽視することの危険性を認識させる効果を生み出している。
- エ 一般的なフィールドワークと文化人類学におけるフィールドワークを比較し、両者の優劣が明確になるように工夫している。

2 数 学

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

数量や図形に関する基礎的な概念や原理・法則についての理解の程度、数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力等をみるために、基礎的・基本的事項を中心に出题している。

イ 問いごとのねらい

- 1 各領域において、基礎的・基本的な知識及び技能の習得の程度等をみる。
- 2 具体的な事象の中の数量の関係を考察する場面において、数量の関係を文字を用いた式で表現する力、文字を用いた式を具体的な場面で活用する力等をみる。
- 3 短い辺と長い辺の長さの比が $1 : \sqrt{2}$ である長方形の特徴を考察する場面において、図形についての理解の程度をみるとともに、それらを活用して図形の特徴を考察し問題を解決する力等をみる。
- 4 一次関数として捉えられる二つの数量の変化や対応の特徴を考察する場面において、一次関数についての理解の程度、二つの数量の関係を式やグラフに表す力等をみる。
- 5 度数分布表や箱ひげ図からデータの分布の傾向を捉える場面において、最頻値、累積度数を求める力、データの分布の傾向を箱ひげ図からの的確に読み取り表現する力等をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

1の基本的な計算技能の習得の程度をみる設問では7割以上の正答率であった。2(1)②の数量の関係を文字で表す設問や5(2)の箱ひげ図から最小値や範囲、四分位範囲を読み取る設問では7割以上の正答率であった。1(8)(反比例の式を求める)、2(2)(連立方程式をつくる)、3(1)①(数量を文字を用いた式で表す)、4(2)(一次関数の式を求める)について、いずれも正答率が低く、数量の関係を文字を用いた式で表すことに課題がみられた。また、3(2)(三角形の内角と外角の関係)、4(1)(一次関数のグラフの傾き)、5(1)(階級値、累積度数)、5(3)(箱ひげ図)について、いずれも正答率が低く、用語の理解に課題がみられた。

一次関数の表、式、グラフを相互に関連付けて考察する指導の充実

〔大問4〕(1) 正答：エ 正答率：69.5%〕

- (1) 太郎さんが進むようすを表したグラフから読み取れることを述べた次の文の (あ)、(い) に当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

A地点とB地点の間にいるときと、B地点とC地点の間にいるときを比較すると、B地点とC地点の間にいるときの方が、グラフの傾きが (あ) ので、走る速さを (い) したことがわかる。

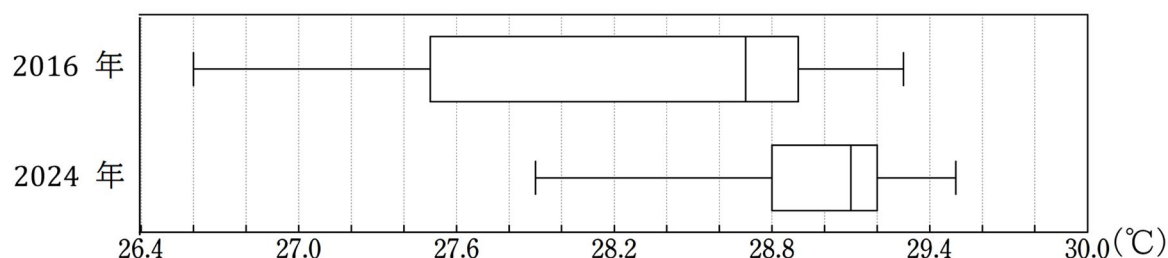
- | | | | | | |
|---|---------|--------|---|---------|--------|
| ア | (あ) 大きい | (い) 速く | イ | (あ) 大きい | (い) 遅く |
| ウ | (あ) 小さい | (い) 速く | エ | (あ) 小さい | (い) 遅く |

〈分析〉変化の割合とグラフの傾きの関係についての理解の程度をみることをねらいとしている。イを選んだ誤答が多く、グラフの傾きから変化の割合の増減を正しく読み取ることができていなかったと考えられる。

〈視点〉関数の変化の仕方を捉える際に、表を基にして対応する数量の比を考えたり、増減を考えたりするだけでなく、一次関数の変化の仕方については、グラフの傾きを基に判断できるようにしたい。なお、変化の割合を指導する際には、形式的に変化の割合を計算して求めることに偏らないようにするとともに、変化の割合を事象の考察やその表現に適切に用いることができるようにすることが大切である。

データの分布の傾向を比較して読み取り、判断する力を養うための指導の充実

〔大問5〕(3) 正答：正答例参照 正答率：7.5%〕



- (3) (2)の図を読み取ると、29.0℃以上の日数は、2024 年が 2016 年の 2 倍以上であると判断できます。そのように判断できる理由を説明しなさい。

〈分析〉箱ひげ図についての理解の程度をみることをねらいとしている。誤答では、「中央値が 29.0℃より 2016 年は小さく、2024 年は大きいから」のように、中央値で判断しているものが多く、四分位数や箱ひげ図についての理解が不十分であったと考えられる。

〈視点〉日常の事象を題材とした問題などを取り上げ、それを解決するために必要なデータを収集して整理し、箱ひげ図で表すことで、複数の集団のデータの傾向を比較して読み取り、その結果を基に説明するという一連の活動を経験させたい。ただし、箱ひげ図のみを用いてデータの傾向を捉える場合、分布の形など、失われる情報もあるので、必要に応じてヒストグラムなどと合わせて用いることが必要な場面もあることに留意する。

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式		応 答 率 (%)						
				選 択	短 記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの		無 答		
1	(1)	-3	2	○		96.0		0.0		4.0		0.0
	(2)	4	2	○		87.0		0.0		12.0		1.0
	(3)	$5a - 4b$	2	○		85.5		0.0		14.5		0.0
	(4)	$-2a^6b^5$	2	○		80.5		0.0		16.5		3.0
	(5)	$2\sqrt{3}$	2	○		89.0		0.0		9.0		2.0
	(6)	$(x-3)^2$	2	○		76.5		4.5		14.5		4.5
	(7)	$x = \frac{-5 \pm \sqrt{13}}{6}$	2	○		73.0		4.5		13.0		9.5
	(8)	$-\frac{12}{x}$	2	○		55.5		1.0		37.0		6.5
	(9)	$\frac{25}{36}$	2	○		44.5		0.5		54.5		0.5
	(10)	36π	2	○		71.0		1.0		25.5		2.5
	(11)	※作図記述	3		○	47.5		1.0		32.5		19.0
2	(1)①	$25a + 15b = 2800$	2	○		87.0		0.0		11.0		2.0
	(1)②	120	2	○		88.5		0.0		10.0		1.5
	(1)③	70	2	○		57.5		0.0		27.5		15.0
	(2)①	$\begin{cases} x + y = 31 \\ 100x + 75y = 2800 \end{cases}$	3	○		37.0		19.5		35.0		8.5
	(2)②	プレゼントA 19 プレゼントB 12	2	○		33.5		0.5		36.5		29.5
3	(1)①	$\frac{x}{2}$	2	○		46.0		2.0		37.5		14.5
	(1)②	※説明記述	3		○	8.0		4.0		29.0		59.0
	(2)(あ)	$\angle BAC$	2	○		62.0		6.5		30.5		1.0
	(2)(い)	$\angle PAQ$	2	○		47.5		2.0		47.0		3.5
	(3)	$\frac{1}{2}$	3	○		16.5		0.0		64.0		19.5
4	(1)	工	2	○		69.5		0.0		29.5		1.0
	(2)①	$200x$	3	○		64.5		0.5		22.0		13.0
	(2)②	$150x + 2000$	3	○		5.5		0.5		74.0		20.0
	(3)	※作図記述	2		○	59.0		0.0		23.5		17.5
	(4)	700	3	○		20.0		0.0		58.0		22.0
5	(1)①	29.1	2	○		57.5		0.0		39.0		3.5
	(1)②	29	2	○		41.5		0.0		44.5		14.0
	(2)①	イ	2	○		79.0		0.0		19.0		2.0
	(2)②	ア	2	○		76.0		0.0		21.5		2.5
	(3)	※説明記述	3		○	7.5		13.5		53.0		26.0

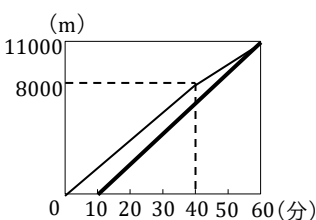
1 (11) 作図記述



3 (1) ②説明記述

長方形ABCDと長方形BMNA
は相似であるから、
 $AB : AD = BM : BA$
 $1 : x = \frac{x}{2} : 1$
 $\frac{x^2}{2} = 1$
 $x^2 = 2$
 $x > 0$ であるから、 $x = \sqrt{2}$

4 (3) 作図記述



5 (3) 説明記述

29.0℃以上の日数は、2016年
について、第3四分位数が
29.0℃より小さいから、7日
以下であり、2024年について、中
央値が29.0℃より大きいから、
16日以上であるため。

受検 番号	志願校
----------	-----

解答用紙

※

- 注意 1 答えに√が含まれるときは、√をつけたまままで答えなさい。
 その際、√の中の数は、できるだけ小さい自然数にしないさい。
 2 答えに円周率を使うときは、 π を用いなさい。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	$y =$
(9)	
(10)	(cm^3)
(11)	

1	
---	--

(1)①	
(1)②	(個)
(1)③	(個ずつ)
(2)①	{
(2)②	プレゼント A (個) プレゼント B (個)

2	
---	--

(1)	
(2)①	$y =$
(2)②	$y =$
(3)	
(4)	(m)

4	
---	--

(1)①	
(1)②	
(2)あ	
(2)い	
(3)	(倍)

3	
---	--

(1)①	($^{\circ}\text{C}$)
(1)②	(日)
(2)①	
(2)②	
(3)	

5	
---	--

1

次の (1) ~ (5) の計算をなさい。(6) ~ (11) は指示に従って答えなさい。

(1) $(-7) + 4$

(2) $\left(-\frac{10}{3}\right) \div \left(-\frac{5}{6}\right)$

(3) $2(3a - b) - (a + 2b)$

(4) $a^5b^3 \times (-2ab^2)$

(5) $\sqrt{75} - \sqrt{27}$

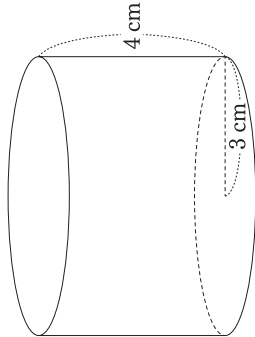
(6) $x^2 - 6x + 9$ を因数分解しなさい。

(7) 方程式 $3x^2 + 5x + 1 = 0$ を解きなさい。

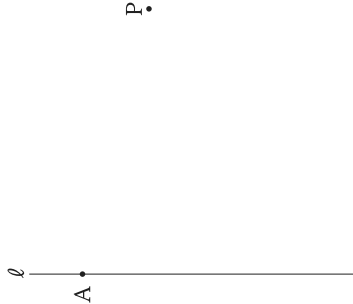
(8) y は x に反比例し、 $x = 2$ のとき $y = -6$ です。 y を x の式で表しなさい。

- (9) 1 から 6 までの目が出る大小 1 個ずつのさいころを同時に 1 回投げます。このとき、2 個とも 5 以下の目が出る確率を求めなさい。ただし、大小 2 個のさいころはともに、1 から 6 までのどの目が出ることも同様に確からしいとします。

- (10) 底面の半径が 3 cm で、高さが 4 cm の円柱の体積を求めなさい。



- (11) 図のように、点 A を通る直線 ℓ と、直線 ℓ 上にない点 P があります。このとき、直線 ℓ 上に $PA = PB$ となる点 B を、コンパスを使って作図しなさい。作図に使った線は残しておきなさい。



太郎さんは、予算 2800 円でお菓子を買ってきて、そのお菓子をプレゼントとして配ります。(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 1 個 25 円のチョコレートと、1 個 15 円のスナック菓子をそれぞれ何個か買います。
① ～ ③ に答えなさい。

- ① 次の数量の間の関係を等式で表しなさい。

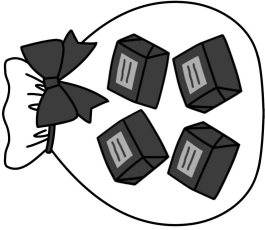
1 個 25 円のチョコレート a 個、1 個 15 円のスナック菓子を b 個買うと、
代金の合計が 2800 円となる。

- ② チョコレートを 40 個買うとき、スナック菓子を何個買うと代金の合計が 2800 円となるかを求めなさい。

- ③ チョコレートとスナック菓子を同じ個数買うとき、チョコレートとスナック菓子を何個ずつ買うと代金の合計が 2800 円となるかを求めなさい。

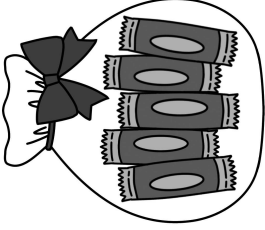
- (2) 1 個 25 円のチョコレートと、1 個 15 円のスナック菓子を、2800 円すべてを使い切って買い、2 種類のお菓子のお菓子のプレゼントを用意します。プレゼント A は、袋にチョコレート 4 個つめ、プレゼント B は、袋にスナック菓子を 5 個つめます。プレゼント A とプレゼント B を合計で 31 個用意します。①、②に答えなさい。

プレゼント A



チョコレート 4 個

プレゼント B



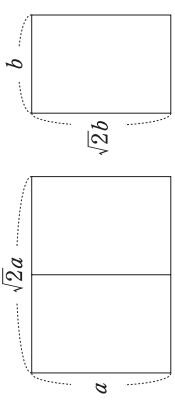
スナック菓子 5 個

- ① 用意するプレゼント A の個数を x 個、プレゼント B の個数を y 個として、連立方程式をつくりなさい。

- ② 用意するプレゼント A とプレゼント B の個数をそれぞれ求めなさい。

コピー用紙のような、短い辺と長い辺の長さの比が $1:\sqrt{2}$ である長方形について考えます。この長方形を「 $\sqrt{2}$ 長方形」と呼ぶことにします。 $\sqrt{2}$ 長方形には次のような特徴があります。(1)～(3)に答えなさい。

< $\sqrt{2}$ 長方形の特徴 >



長い辺の中点を結んで半分の大きさの長方形をつくると、その長方形も $\sqrt{2}$ 長方形となる。

(1) 図1のような、辺ADを長い辺とする長方形ABCDがあり、辺BCの中点をM、辺ADの中点をNとします。長方形ABCDと長方形BMNAが相似になるとき、辺ABの長さを1、辺ADの長さを x として、①、②に答えなさい。

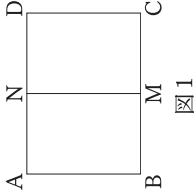


図1

① 線分BMの長さを x を用いて表しなさい。

② 相似な図形の対応する辺の長さの比が等しいことを使って、長方形ABCDと長方形BMNAについて、 x を用いて比例式をつくり、 x の値を求めなさい。ただし、答えを求めるまでの過程も書きなさい。

(2) 図2の長方形ABCDは、辺ADを長い辺とする $\sqrt{2}$ 長方形です。辺ADの中点をP、対角線ACと線分BPの交点をQとすると、 $\angle AQB$ の大きさは次のように求めることができます。 $\square(a)$ 、 $\square(b)$ 、 $\square(c)$ に当てはまる適当な角を、記号 $\angle$ を使って書きなさい。

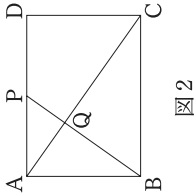


図2

< $\angle AQB$ の大きさの求め方 >

$\triangle PAB \sim \triangle ABC$ だから、 $\triangle PAB$ と $\triangle ABC$ において、対応する角の大きさは等しいので、
 $\angle APB = \square(a) \dots \textcircled{1}$

また、 $\angle AQB$ は $\triangle APQ$ の外角だから、 $\angle AQB$ と $\triangle APQ$ の二つの内角の関係を式で表すと、
 $\angle AQB = \angle APQ + \square(b)$

ここで、 $\angle APB$ と $\angle APQ$ は同じ角を表しており、
 $\textcircled{1}$ から、
 $\angle AQB = \square(a) + \square(b)$
 $= 90^\circ$

(3) 長方形ABCDがあります。長方形ABCDは、辺ADを長い辺とする $\sqrt{2}$ 長方形です。対角線AC上に点Eをとり、点Eから辺AB、辺ADに、それぞれ垂線EF、垂線EGをひきます。図3のように、 $AB = AG$ になるように点Eをとるとき、長方形AFEGの面積は、長方形ABCDの面積の何倍になるかを求めなさい。

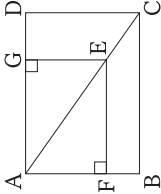
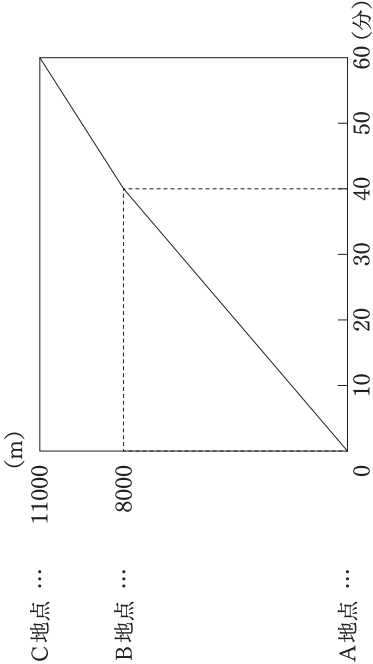


図3

太郎さんは、A地点から出発し、B地点を経由して、C地点まで走りました。
A地点からB地点までは8000 m、B地点からC地点までは3000 m 離れています。
太郎さんは、A地点からB地点までは分速200 mの速さで走り、B地点で速さを
変えて、B地点からC地点までは一定の速さで走ったところ、A地点を出発してから
60分後にC地点に到着しました。

図は太郎さんが進むようすをグラフに表したものです。



花子さんは、太郎さんが出発してから10分後にA地点を出発し、太郎さんと同じ
ルートを一定の速さでC地点まで走ったところ、太郎さんと同時にC地点に到着
しました。(1)～(4)に答えなさい。

- (1) 太郎さんが進むようすを表したグラフから読み取れることを述べた次の文の (あ) 、
 (い) に当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちでは
どれですか。一つ答えなさい。

A地点とB地点の間にいるときと、B地点とC地点の間にいるときを比較すると、
B地点とC地点の間にいるときの方が、グラフの傾きが (あ) ので、走る速さを
 (い) したことがわかる。

- ア (あ) 大きい (い) 速く イ (あ) 大きい (い) 遅く
ウ (あ) 小さい (い) 速く エ (あ) 小さい (い) 遅く

- (2) 太郎さんが、A地点を出発してから x 分間に走った距離を y mとして、①、②に
答えなさい。

① 太郎さんが、A地点とB地点の間にいるとき、 y を x の式で表しなさい。

② 太郎さんが、B地点とC地点の間にいるとき、 y を x の式で表しなさい。

- (3) 花子さんが、A地点を出発してからC地点に到着するまでの進むようすを表すグラフを、
解答用紙の図にかき入れなさい。

- (4) 太郎さんがA地点を出発してから50分後の太郎さんと花子さんの間の距離は何 m
かを求めなさい。

5

気候変動に関心のある太郎さんは、住んでいる地域の2016年と2024年について、8月の日別海面水温をそれぞれ調べ、度数分布表と箱ひげ図にまとめました。(1)～(3)に答えなさい。

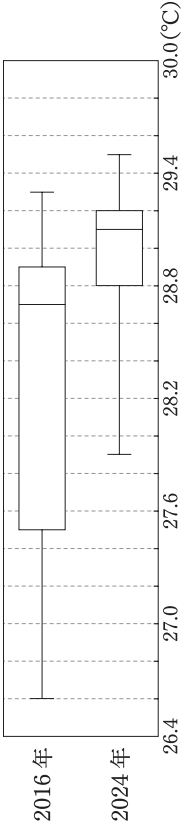
(1) 表は、8月の日別海面水温を、階級の幅を0.6℃として度数分布表に整理したものです。この表について、①、②に答えなさい。

8月の日別海面水温 (℃)		2016年 度数(日)	2024年 度数(日)
以上	未満		
26.4	～ 27.0	2	0
27.0	～ 27.6	6	0
27.6	～ 28.2	2	1
28.2	～ 28.8	8	6
28.8	～ 29.4	13	22
29.4	～ 30.0	0	2
計		31	31

① 度数の最も多い階級の真ん中の値を最頻値とします。2016年について、最頻値を求めなさい。

② 2024年について、28.8℃以上29.4℃未満の階級の累積度数を求めなさい。

(2) 図は、8月の日別海面水温から作成した箱ひげ図です。



図から読み取れることとして、次の①、②のことがらは、それぞれ正しいといえますか。**【選択肢】**の**ア～ウ**の中から最も適当なものをそれぞれ一つ答えなさい。

- ① 2024年について、最小値は28.0℃より大きい。
- ② 2016年と2024年では、範囲も四分位範囲も2024年の方が小さい。

[選択肢]

ア 正しい

イ 正しくない

ウ 図からはわからない

(3) (2)の図を読み取ると、29.0℃以上の日数は、2024年が2016年の2倍以上であると判断できます。そのように判断できる理由を説明しなさい。

3 英 語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き等の理解の程度や、英語で簡単な情報や考え等を理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力をみるために、基礎的・基本的事項を中心に出题している。

イ 問いごとのねらい

- 1 話される英語の内容を正確に聞き取る力や適切に応答する力をみる。また、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を的確に聞き取る力や聞き取った内容を踏まえて英語で表現する力をみる。
- 2 海外姉妹校の生徒とのオンライン交流会の場面を素材として、基礎的・基本的な単語や文法事項等の理解の程度をみるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、それらを適切に活用する力や与えられた情報に基づいて適切に英語で表現する力をみる。
- 3 英語による発表や会話から、英語の内容を正確に理解したうえで、文章の概要や要点を捉える力をみる。
- 4 英語による会話及び会話の内容に関係する英語新聞の記事から、英語の内容を正確に読み取る力や、会話と記事を関連させて情報を整理し選択する力をみる。
- 5 まとまりのある英語の文章から、段落の概要を捉える力や内容を正確に読み取る力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

話される英語の内容を正確に聞き取る力や適切に応答する力をみる設問の正答率は高かった。また、文脈に応じて、基礎的・基本的な単語を適切に選択する力をみる設問の正答率も高かった。

一方、会話の流れと写真に合うように適切に英語で表現することや、まとまりのある英語の文章の内容を正確に読み取ること、会話の概要を捉えることについては課題がみられた。

事実を描写する場面において、適切に表現する力を育成する指導の充実

〔大問2〕(4) 正答例：on the chair 正答率：8.5%〕

- (4) オンライン交流会で、Tom と Akira が会話をしました。会話の流れと写真に合うように、に3語以上の英語を書き、Tom の発言を完成させなさい。

Tom : Look at this photo.

Akira : Who are they?

Tom : They are my brothers. The boy is Matt.
The other one is Eric.

Akira : I like Eric's black T-shirt.

Tom が見せた写真



〔分析〕大問2(4)は、会話のやり取りをふまえて、写真に写っている男子のうち、どちらが Matt であるかを判断したうえで、Matt のことを英語で適切に表現する力をみることをねらいとしている。正答例以外にも、「wearing a white T-shirt」「who is sitting on the chair」のように、多様な表現が可能である。Eric が黒い T シャツを着ているという情報から、もう一方の男子が Matt であることは理解しているものの、表現の正確さに欠ける解答が多かった。

〔視点〕文法は、コミュニケーションを支えるものであり、内容を伴う豊かなコミュニケーションを円滑に行うためには、文法事項を正しく理解することが前提となる。例えば、言語活動で活用することを目指して、関連のある文法事項を整理し明示することが考えられる。練習と実際の使用を繰り返す中で、文法の必要性や有用性を感じさせたうえで、適切に表現する力を育成する指導の工夫が求められる。

英文を読んで、概要を捉える力を育成する指導の充実

〔大問4〕(3) 正答：favorite bookstore 正答率：23.5%〕

Keita : Have you ever been to the city library? According to Hideo, it's large, so you may find some English books to borrow. If you want to buy some books, how about my favorite bookstore? I've bought an English book there. It's also large, and the staff members are friendly. I'll go there this Sunday.

Bob : Can I go there with you to buy some English books?

Keita : Of course. (5) I'll show you how to get there. Let's meet at our school at two o'clock on that day. (省略)

- (3) 下線部(う)の内容になるように、次の文の に入る最も適当な英語2語を、会話から抜き出して書きなさい。

Keita will show Bob the way to Keita's .

〔分析〕大問4(3)は、会話の概要を捉え、Keita が Bob に何を提案したのかを整理する力をみることをねらいとしている。下線部(う)の直前の Bob の発言のみに注目し、会話の流れを踏まえて there が具体的に何を示しているのかを理解できていない解答がみられた。

〔視点〕文と文との関係を読み取りながら、主な展開を捉えることが重要である。その際、代名詞や指示語、接続表現などを手がかりにするとともに、言い換え表現にも着目できるようにしたい。また、読んで理解することだけで終わらせず、概要を捉える力を、話すことや書くことにいかにつなげるかが大切である。例えば、ある生徒が書いたエッセイを読み、その概要を把握し、主な出来事をほかの生徒に話して伝える、といった活動が考えられる。このような活動では、読んだ後でどのような活動を行うのかを事前に説明するなどの工夫が必要である。

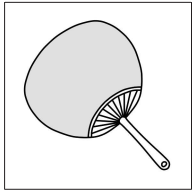
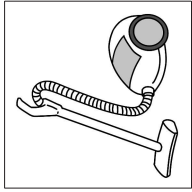
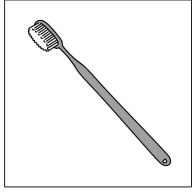
(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)					
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答		
1	A(1)	ウ	2	○			99.5		0.0		0.0	
	A(2)	エ	2	○			98.0		0.0		0.0	
	A(3)	ア	2	○			87.5		0.0		0.0	
	B(1)	ウ	2	○			77.0		0.0		0.0	
	B(2)	ア	2	○			79.0		0.0		0.5	
	C(1)	ウ	2	○			72.5		0.0		0.0	
	C(2)	イ	2	○			89.0		0.0		0.0	
	C(3)	singing songs	3			○	37.5		19.0		10.5	
2	(1)(あ)	ウ	2	○			94.5		0.0		0.0	
	(1)(い)	ア	2	○			83.0		0.0		0.0	
	(1)(う)	ウ	2	○			86.0		0.0		0.0	
	(2)(え)	walk	2		○		53.0		0.5		3.5	
	(2)(お)	sea	2		○		67.5		0.5		3.5	
	(2)(か)	temple	2		○		50.5		0.5		9.0	
	(3)①	was written	2			○	28.5		3.5		5.0	
	(3)②	How many books did	2			○	58.5		1.0		0.5	
3	(4)	on the chair	3			○	8.5		11.5		14.5	
	A(1)	ア	2	○			84.5		0.0		0.0	
	A(2)	イ	2	○			50.5		0.0		0.0	
	B(1)	エ	2	○			74.5		0.0		0.0	
	B(2)	April	2		○		53.5		0.0		3.0	
	B(3)	イ	3	○			70.0		0.0		0.0	
4	(1)	イ	2	○			70.5		0.0		0.0	
	(2)	kind	3		○		45.5		0.0		9.0	
	(3)	favorite bookstore	2			○	23.5		0.0		11.0	
	(4)	エ	3	○			49.0		0.0		0.0	
5	(1)	イ	2	○			75.5		0.0		0.0	
	(2)	エ	2	○			71.0		0.0		0.0	
	(3)	ウ	2	○			51.5		0.0		0.0	
	(4)	イ	2	○			67.0		0.0		0.5	
	(5)	私たちができること	2			○	37.5		2.0		11.5	
	(6)	ア エ オ	3	○			23.5		0.0		3.0	

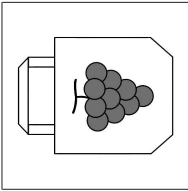
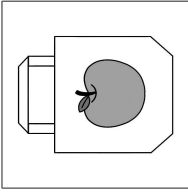
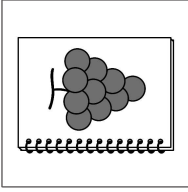
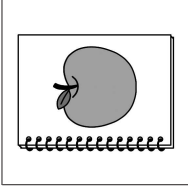
この問題は聞き取り検査です。問題A～問題Cに答えなさい。途中でメモをとってもかまいません。

問題A (1)～(3)のそれぞれの英文で説明されている内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。英語は1回読まれます。

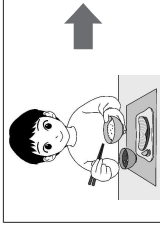
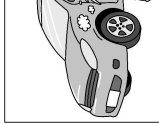
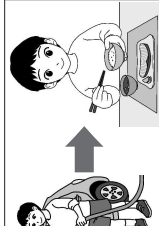
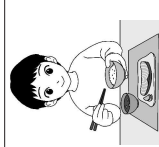
(1)

ア		イ		ウ		エ	
---	---	---	---	---	---	---	---

(2)

ア		イ		ウ		エ	
---	---	---	---	---	---	---	---

(3)

ア		↑		↑		↑	
ウ		↑		↑		↑	

問題B (1)、(2)のそれぞれの会話の最後の文に対する応答部分でチャイムが鳴ります。そのチャイムの部分に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。英語は2回読まれます。

(1)

ア	I'm looking forward to the party.
イ	I have to bring my watch tomorrow.
ウ	I bought it at the department store.
エ	I was watching the video at 3 p.m.

(2)

ア	I spent two weeks there.
イ	He visited three countries.
ウ	I'm 170 cm tall.
エ	He will study math for one hour.

問題C 高校生のNaotoは、英語クラブに所属しており、ALT（外国語指導助手）のGreen先生と一緒に活動しています。夏休みに、小学生との交流会を開くことになりました。Naotoはメモをとりながら、Green先生の説明を聞いています。

(1)～(3)に答えなさい。英語は2回読まれます。

Naotoのメモの一部

実施日：8月4日 (ア) 曜日
参加者： (イ) (ウ) の小学生

(1) (ア) (イ) (ウ) に入れる内容の組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア	(ア) 火	(イ) 10歳または11歳	イ	(ア) 木	(イ) 10歳または11歳
ウ	(ア) 火	(イ) 11歳または12歳	エ	(ア) 木	(イ) 11歳または12歳

(2) 説明の中で、Green先生が望んでいることとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア	募集人数が集まること。	イ	小学生が英語を理解できること。
ウ	遅刻者がいないこと。	エ	交流会の準備が間に合うこと。

(3) 説明の最後にGreen先生がした質問に対して、どのように答えますか。あなたがNaotoになったつもりで、書き出しに続けて、(ア)に2語以上の英語を書き、英文を完成させなさい。

I think (ア) is better.

高校生の Akira と Miho は、海外姉妹校の生徒である Tom と、英語の授業でオンライン交流会 (online video meeting) を行いました。(1)～(4)に答えなさい。

- (1) オンライン交流会の準備中に、Akira と Miho が会話をしました。□(あ)～□(き)に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。それぞれ一つ答えなさい。ただし、□(い)には同じものが入ります。

Akira : What will we talk about with Tom ?

Miho : I want to talk about Japanese □(あ) because many people like eating it.

(あ) ア gardens イ cars ウ food エ money

Akira : Do you want to do a guessing game with Tom ? Before the online video meeting, we'll put something in a □(い). When we start the meeting, we'll tell him to ask us some questions.

Miho : OK. He doesn't know what's in it, right ?

Akira : That's right. When we open the □(い), he can check the answer.

(い) ア box イ racket ウ dream エ pencil

Miho : Does Tom use a □(き) in class ?

Akira : I don't know, but it's useful. We can look for information by using it. Also, we can easily share our ideas with many other classmates.

(き) ア towel イ ball ウ computer エ bag

- (2) オンライン交流会で、Miho はメモをとりながら Tom と会話をしました。会話の流れと Miho のメモの内容に合うように、□(き)～□(か)に最も適当な英語 1 語をそれぞれ入れ、Tom の発言を完成させなさい。

Miho : Do you want to come to Japan someday ?

Tom : Yes, of course. I like nature, so I want to □(き) in the forest in Japan. Also, I want to swim in the □(か).

Miho : Sounds fun.

Tom : I want to visit a □(か) or a shrine, too.

Miho : When we talk at the next online video meeting, I'll tell you some nice places to visit.

Tom : Thank you.

Miho のメモ

Tom が日本でしたいこと

・ 森を歩くこと

・ 海で泳ぐこと

・ 寺か神社を訪れること

- (3) オンライン交流会で、Tom、Akira、Miho が会話をしました。①、②に答えなさい。

Tom : Look at this Japanese book. I found it at my aunt's house last week. She bought it when she lived in Kyoto to study Japanese.

Akira : I've read that book. (き) It (write) by a famous writer more than a hundred years ago.

Tom : Wow.

Miho : The writer wrote a lot of books in his life.

Tom : (こ) did / many / books / how) he write ?

Miho : I'll check on the internet. Well, he wrote thirty books.

- ① 下線部(き)について、()内の語を適当な形に変えたり、必要があれば、不足している語を補ったりなどして、意味が通るように英文を完成させなさい。

- ② 下線部(こ)の語をすべて用いて、意味が通るように並べ替へなさい。ただし、文頭にくる語もすべて小文字にしてあります。

- (4) オンライン交流会で、Tom と Akira が会話をしました。会話の流れと写真に合うように、□に3語以上の英語を書き、Tom の発言を完成させなさい。

Tom が見せた写真



Tom : Look at this photo.

Akira : Who are they ?

Tom : They are my brothers. The boy □ is Matt. The other one is Eric.

Akira : I like Eric's black T-shirt.

問題A、問題Bに答えなさい。

問題A 中学生の Junko が英語の授業でスピーチをしました。次の英文は、そのスピーチです。(1)、(2)に答えなさい。

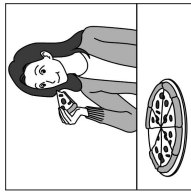
Last Sunday, my father and I went to the stadium to watch a soccer game. I'm a soccer fan. The game was so exciting. At the stadium, we met a woman, Ms. Ogawa. It was her first trip to our prefecture. She said, "I've been a soccer fan for fifteen years. I'm enjoying watching today's soccer game at this stadium. I'm also enjoying my trip. Yesterday, I saw an elephant at the zoo, ate pizza, and watched fireworks." She looked excited. In the future, I want to enjoy a trip like her.

- (1) Ms. Ogawa がサッカーの試合を見た前日にしたこととして、当てはまらないものは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

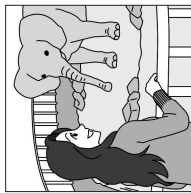
ア



イ



ウ



エ



- (2) 本文の内容と合っているのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア Junko visited the stadium last Saturday.
 イ Junko is interested in soccer.
 ウ Ms. Ogawa met Junko at the zoo.
 エ Ms. Ogawa enjoyed the soccer game on TV in her house.

問題B オーストラリアに留学している高校生の Toshi が、隣人の Jack と会話をしています。次の英文は、その会話です。(1)～(3)に答えなさい。

Toshi : I went camping with my host family last weekend, on March 15 and 16.

Jack : Sounds fun. (あ)

Toshi : We saw wild koalas and had dinner outside. I really enjoyed the amazing stars in the sky.

Jack : That's wonderful.

Toshi : It's difficult to look at many stars near my house in Japan. People in my city have to visit a planetarium if they want to enjoy them.

Jack : Oh, looking at stars in a planetarium is also a nice experience.

Toshi : (い)

Jack : Sure. When you visit a planetarium, you can learn the names of stars and how to find them. If you have the knowledge, you can enjoy looking at the stars in the sky more.

Toshi : That's great.

Jack : Do you know that there is a planetarium in this city?

Toshi : I didn't know that. I want to go there. My host family and I are going to go camping again in (う). Before that, I will go to the planetarium and learn new things about stars.

Jack : Nice. Enjoy your camping trip next month.

[注] host family ホストファミリー planetarium プラネタリウム knowledge 知識

- (1) (あ)、(い)に入れる英語の組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア (あ) When did you go camping? (い) How much is it?
 イ (あ) When did you go camping? (い) Can you tell me about it?
 ウ (あ) What did you do on your camping trip? (い) How much is it?
 エ (あ) What did you do on your camping trip? (い) Can you tell me about it?

- (2) (う)に入るのは何月ですか。最も適当な月を英語1語で書きなさい。

- (3) 次は、Jack と会話をした日に Toshi が書いた日記です。会話の内容に合うように (1)～(3)に入れる英語の組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

Toshi が書いた日記

I talked with Jack today. He told me the (1) points about planetariums. I decided to (2) before the next (3).

- ア ① good ② go camping ③ visit to the planetarium
 イ ① good ② visit the planetarium ③ camping trip
 ウ ① bad ② go camping ③ visit to the planetarium
 エ ① bad ② visit the planetarium ③ camping trip

4 高校生の Keita が英語新聞の記事を見せながら、日本への留学生の Bob と会話をしています。次は、その英語新聞の記事と会話の英文です。(1) ～ (4) に答えなさい。

英語新聞の記事

This Month's Topic

～ Books ～

The newspaper club asked 200 students two questions. The survey shows many students like reading books. However, more than half of the students do not read any books or read one book a month.

Look at the messages from two students who like reading.



I enjoy reading library books before I go to bed. By doing so, I can relax and sleep well.

Suzu



I go to the city library every week. It's large, so I can find a lot of books to read.

Hideo

Survey Results

Q1 : Do you like reading books ?

No	16%
Yes	84%

Q2 : Do you read at least two books a month ?

Yes	35%
No	65%

Keita : Look at this article. The newspaper club at our school wrote it. According to the survey, about 85% of the students like reading books. However, only (あ) % of the students read at least two books a month.

Bob : I'm surprised to know that.
Keita : Me, too. I'm a member of the library committee. Our committee is preparing a poster. Next week, we are going to ask our teachers to write about the books they recommend.

Bob : That's a nice idea. I hope it will help the students find books to read. I want to recommend English books someday.

Keita : What (b) of English books will you recommend ?
Bob : I'll recommend novels. I have some writers I like. Oh, can I ask you a question ? Where can I borrow or buy English books in this city ? I've already read all the English books in our school library.

Keita : Have you ever been to the city library ? According to Hideo, it's large, so you may find some English books to borrow. If you want to buy some books, how about my favorite bookstore ? I've bought an English book there. It's also large, and the staff members are friendly. I'll go there this Sunday.

Bob : Can I go there with you to buy some English books ?
Keita : Of course. (c) I'll show you how to get there. Let's meet at our school at two o'clock on that day.

Bob : Thank you. You are very (d) .

[注] survey アンケート調査 at least 少なくとも committee 委員会
ask ～ to … ～に…するよう頼む novel 小説

(1) (あ) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 15 イ 35 ウ 65 エ 85

(2) (い)、(え) に共通して入る、同じつづりの英語 1 語を書きなさい。

(3) 下線部 (c) の内容になるように、次の文の に入る最も適当な英語 2 語を、会話から抜き出して書きなさい。

Keita will show Bob the way to Keita's .

(4) 英語新聞の記事や会話からわかる内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア Three hundred students answered two questions in the survey.

イ Suzu can sleep well by writing a novel at night.

ウ Bob is surprised to see the library committee's poster.

エ Keita and Bob have a plan to meet on Sunday.

中学生の Rie が英語の授業でスピーチをしました。次の英文は、そのスピーチです。
(1)～(6)に答えなさい。

What flower do you like? I like roses very much. When I visit ⁽⁴⁾my grandfather who lives in the next town, he often gives me roses. He has his own garden behind his house and enjoys growing roses. He gives water to them when it is necessary. He looks at them carefully and decides how to take care of them.

Actually, my grandfather's town is famous for roses. When I visit the town, I can enjoy different colors of roses in , such as parks, schools, and private gardens. The town is full of roses and holds rose festivals every spring and fall. A lot of tourists come to the town during the rose festivals to enjoy the flowers.

At first, there were a few people who grew roses. However, the situation changed. About fifty years ago, a large park called Aoba Park was built in the town. The park had a rose garden. People in the town felt happy to enjoy looking at the roses. Soon, some volunteers started to take care of the roses in the rose garden. Later, the number of people who grew roses increased. Now, roses are the symbol of the town.

This spring, my grandfather and I went to the rose garden in Aoba Park and took part in a volunteer activity there. We worked with ten other volunteers living in his town. On ⁽²⁾that day, we had to cut off old flowers there. I didn't know why we had to do that. Then, my grandfather told me the reason. By cutting off the old flowers, plants can keep nutrients for their future flowers. There were a lot of flowers in the rose garden, so we needed a long time to finish the volunteer activity. I was a little tired, but I enjoyed talking with the other volunteers.

After the volunteer activity, my grandfather explained a lot about his town to me. When he was young, many people living in the town felt busy. They didn't think about people around them. However, they started to change because of the rose garden in Aoba Park. When they saw the roses there, they felt happy. Also, when they heard the news about the volunteer activities at the rose garden, they wanted to help. My grandfather was one of them. Now, many people enjoy growing roses. The town has changed in this way.

My grandfather said, "It's hard to change a town in one day. However, by finding things that we can do and working together for many years, we can do it." ⁽⁶⁾His words taught me something important.

When I look at roses, I always remember the story about my grandfather's town. His story inspires me. Now, I've started to think about things that we can do for our own town. Everyone, can we work together? Why don't we start now?

[注] rose バラ take care of ～ ～の世話をする private 個人の、私有の
hold ～ ～を催す cut off ～ ～を切り離す nutrient 栄養
in one day 一日で

(1) 下線部(4)について、同じ段落中で説明されている内容として、当てはまらないものは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア Rie が祖父を訪ねるときに、Rie によくバラをあげている。

イ 自分の庭がないので、公園でバラを育てている。

ウ 必要となきに、バラに水やりをしている。

エ バラを注意深く見て、世話の仕方を決めている。

(2) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア your textbooks イ some languages ウ the desk エ many places

(3) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア When did people in my grandfather's town hold the first rose festival?

イ Which month is the best for visiting my grandfather's town?

ウ Why did people in my grandfather's town start to grow roses?

エ What are the names of the roses that people can enjoy during the rose festivals?

(4) 下線部(2)の出来事について、同じ段落中で説明されている内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア The volunteer activity was done by fifteen people.

イ Rie learned the reason for cutting off the old flowers.

ウ The volunteers needed a short time to finish the volunteer activity.

エ Rie talked only with her grandfather.

(5) 下線部(6)の具体的内容を説明する次の文の に適当な日本語を入れなさい。
町を一日で変えるのは困難だ。しかし、 を見つけ、そして長年一緒に取り組むことで、私たちは町を変えることができるという祖父の言葉。

(6) 本文の内容と合っているのは、ア～エのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

ア Many tourists visit Rie's grandfather's town during the rose festivals.

イ Aoba Park in Rie's grandfather's town is about forty years old.

ウ At the rose garden in Aoba Park, Rie joined the volunteer activity in winter.

エ Rie's grandfather told Rie a lot about his town.

オ Roses remind Rie of the story about her grandfather's town.

1 聞き取り検査

問題 A 次の英文が1回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

- (1) You use this to brush your teeth.
- (2) My sister gave me this notebook yesterday. It has an apple on it.
- (3) I helped my father this morning. After breakfast, I washed his car.

問題 B 次の会話が2回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

- (1) A : Look at my new watch.
B : Wow. Where did you buy it ?
A : (チャイルド)
- (2) A : I went to Canada to meet my uncle during summer vacation.
B : Nice. How long did you stay there ?
A : (チャイルド)

問題 C 次の英文が2回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

I'm going to tell you about English Day. On Tuesday, August fourth, about ten elementary school students will come to our school. They are eleven or twelve years old. We will use easy English, so I hope they can understand our English.

In the morning, we are going to do a quiz to learn about each other. In the afternoon, we will do one activity. I have two ideas for the afternoon activity, but I can't decide. So, I want to ask you a question. Which is better, singing songs or playing basketball ?

Ⅲ 一般入学者選抜のための 学 力 検 査 の 概 要

Ⅲ 一般入学者選抜のための学力検査の概要

第1 学力検査の結果の概要（全国募集を含む）

第1表 県立全日制学科別受検状況（完全受検者）

普通科 ※1	普通科 理数科 ※2	普通科 国際系 ※3	その他 普通系 ※4	体育科	農業科	工業科	商業科	家庭科	看護科	情報科	福祉科	その他 ※5	総 学 科	計
3,530	637	240	34	0	89	350	449	159	26	13	13	14	32	5,586

（注）※1は、岡山一宮高校、西大寺高校、玉島高校及び津山高校の普通科を除く。
 ※2は、岡山一宮高校、玉島高校及び津山高校の普通科と理数科のくくり募集。
 ※3は、西大寺高校の普通科と国際情報科のくくり募集。
 ※4は、邑久高校の生活ビジネス科及び和気閑谷高校のキャリア探求科。
 ※5は、井原高校の地域生活科及び高梁城南高校の環境科学科。

第2表 教科別最高、最低、平均点（100点法換算）

	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
最 高 点	99	100	100	100	100
最 低 点	0	0	0	0	0
平 均 点	68.2	60.4	57.4	62.1	61.8

（参 考）

	年 度	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
最近5年間の平均点	令7	64.6	55.4	56.2	63.3	54.6
	6	64.0	56.6	53.2	62.5	47.1
	5	68.4	62.9	63.6	59.6	66.3
	4	54.9	59.4	59.7	62.0	51.4
	3	59.7	58.3	60.3	50.7	50.5

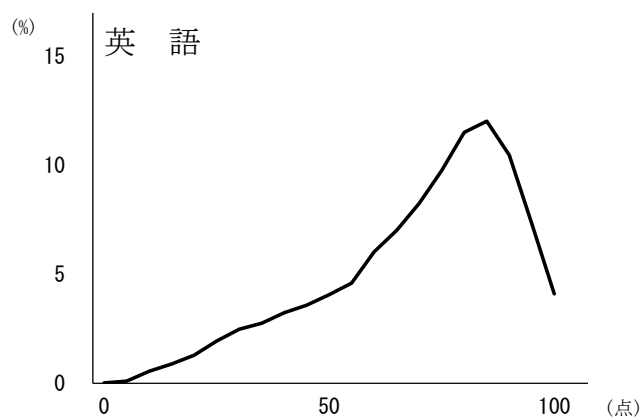
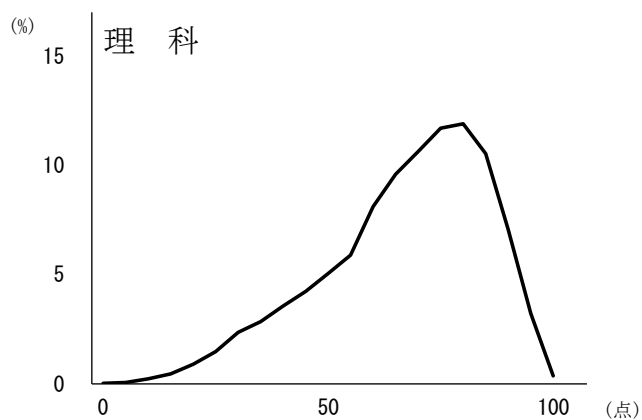
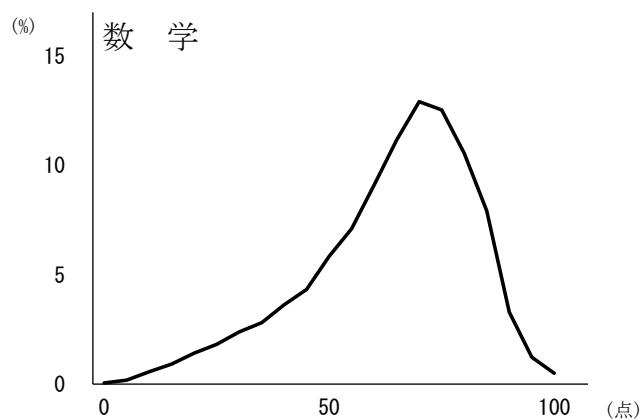
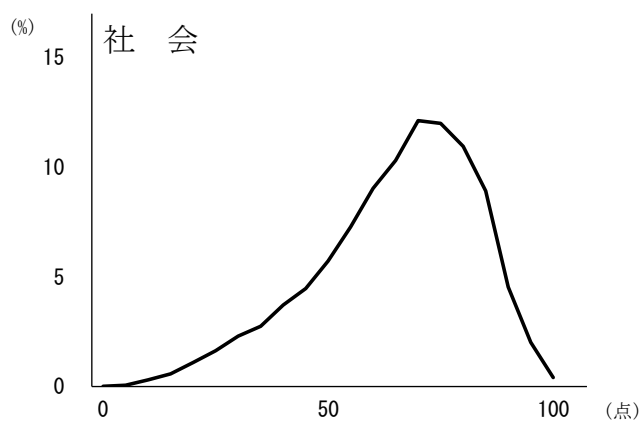
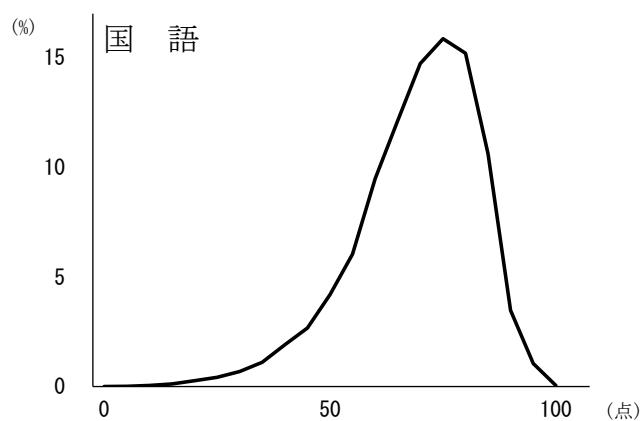
（注）学校による採点基準の違いは考慮していない。（第3表及び教科別素点分布曲線についても同様である。）

第3表 教科別素点分布一覽（100点法換算）

段階（点） \ 教科	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
97.6 ～ 100	0.1%	0.4%	0.5%	0.4%	4.1%
92.6 ～ 97.5	2.0%	3.6%	2.0%	6.1%	10.5%
87.6 ～ 92.5	4.9%	5.5%	4.6%	8.1%	10.4%
82.6 ～ 87.5	16.3%	12.4%	11.2%	13.0%	13.6%
77.6 ～ 82.5	14.1%	9.5%	9.9%	10.8%	9.4%
72.6 ～ 77.5	17.7%	14.5%	15.2%	12.6%	10.1%
67.6 ～ 72.5	11.8%	9.8%	10.6%	8.6%	6.4%
62.6 ～ 67.5	12.5%	10.8%	11.7%	10.5%	7.7%
57.6 ～ 62.5	6.5%	7.2%	6.5%	5.7%	4.4%
52.6 ～ 57.5	5.6%	7.3%	7.7%	6.1%	4.8%
47.6 ～ 52.5	2.8%	4.1%	4.0%	4.0%	3.4%
42.6 ～ 47.5	2.5%	4.8%	4.7%	4.5%	3.8%
37.6 ～ 42.5	1.3%	2.6%	2.6%	2.7%	2.7%
32.6 ～ 37.5	0.9%	2.9%	3.0%	3.0%	2.8%
27.6 ～ 32.5	0.5%	1.7%	1.8%	1.7%	2.1%
22.6 ～ 27.5	0.4%	1.6%	1.9%	1.3%	1.7%
17.6 ～ 22.5	0.2%	0.6%	1.0%	0.5%	0.8%
12.6 ～ 17.5	0.1%	0.5%	0.9%	0.4%	0.9%
7.6 ～ 12.5	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%	0.2%
2.6 ～ 7.5	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%
0 ～ 2.5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	100	100	100	100	100
平 均 点	68.2	60.4	57.4	62.1	61.8

令和8年度岡山県立高等学校一般入学者選抜学力検査

教科別素点分布曲線 (100点法換算)



1 国 語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

国語の特質を理解し適切に使うことができる力、伝え合う力、思考力や想像力等、国語で正確に理解し適切に表現する力をみるとともに、思考力、判断力、表現力等を見る問題を含めて幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 文学的な文章によって、漢字を書くことや読むこと、語句の知識などの基礎的事項、表現技法とその効果に関する理解の程度をみる。また、登場人物の言動の意味や心情を文章の展開に即して理解したり、理解したことを適切に表現したりする力をみる。
- 2 和歌と漢詩に共通して用いられる「ホトトギス」という題材について解説した文章によって、古典における基礎的事項や、行書の特徴に関する知識の理解の程度をみる。また、文章の展開に即して理解したことを整理し、適切にまとめる力をみる。
- 3 説明的な文章によって、漢字を読むことや書くこと、文法に関する知識などの基礎的事項に関する理解の程度をみる。また、筆者の主張を文章の展開や具体例に即して理解したり、理解したことを適切に表現したりする力をみる。
- 4 電子メールやSNSでのやりとりに用いられる「打ち言葉」についての発表と、そこで用いられた資料を通して、取り上げられた話題の内容について適切に理解する力をみる。また、条件に従って意見文を書くことによって、資料から目的に応じて必要な情報を読み取り、適切に表現する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

漢字の読みや書き、表現技法の知識など基礎的事項を問う設問は概ね正答率が高かったが、文法の知識を問う設問は正答率が2割程度にとどまった。古典の内容や、古典にあらわれたものの見方や感じ方について適切なものを選択する設問は正答率が高かった。文学的な文章において、登場人物の心情を読み取る設問は正答率が高かった。「打ち言葉」に関する発表において、発言の根拠となる資料の内容について適切に読み取る設問は正答率が高かった。

文学的な文章、説明的な文章ともに、筆者の考えや登場人物の言動の意味などについて叙述を基に捉え、適切にまとめる設問は正答率が低く、段落相互の関係や、文章全体と部分との関係について注意しながら読み取り、文章の展開に即して内容を理解することに課題がみられた。

文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の言動の意味について捉える指導の充実

[大問1](6)Y 正答：正答例参照 正答率：13.5%]

〈分析〉大問1(6)Yは、傍線部分において高峰が笑った理由について、空欄に適切な言葉を補って整理する設問である。部分点率は57.0%と高かったものの、「仕事の時間を忘れるくらい」に相当する内容が記述できていない解答が多く、正答率は伸びなかった。

〈視点〉日常の指導では、傍線部やその周辺だけではなく、文章全体の中でその部分がどういう意味を持っているのかということについて丁寧に読み取らせたい。場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を基に捉えたり、場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈したりするなど、物語全体との関係のなかで、登場人物の行動や発言の意味を考えさせることに留意したい。その際、読み取った内容を言語化させたり、文章中の表現を根拠にして周囲と交流させたりする活動を大切にしたい。

① 次の文章は……「永瀬」のアルバイト先の飲食店で食事をしながら会話をしている場面です。……これを読んで、(1)～(6)に答えなさい。

他のテーブルの話し声や食器のぶつかりあう音が遠ざかる。自分がペンを動かす音以外は、なにも聞こえない。

どのくらいそうしていたのか。肩を叩かれてはと顔を上げると、森くんの顔が目の前にあった。

「もう二時四十五分やけど、だいじょうぶ？ バイト、三時からじゃなかった？」

「あ、うん。行かな」

あたふたと身支度をするわたしをよそに、高峰はアンケートハガキをひらひらさせて「やっぱデザインやりたいんやんけ、お前」と笑った。

(出典 寺地はるな『雫』)

(6) 「笑った」とありますが、「高峰」が笑った理由を説明した次の文の ☐ X ☐ Y、☐ Y に入れるのに適当なことを、☐ X は十五字以内、☐ Y は二十字以内でそれぞれ書きなさい。

永瀬が飲食店での仕事に誇りを持っていると言いながら、ジュエリーデザイナーという ☐ X ではないかと考え、試みに指輪のデザインについて問いかけたところ、永瀬が ☐ Y 姿を見せたので、自分の考えたとおりだと思ったから。

単語の文法的な特徴について理解し、語感を磨いていくための指導の充実

[大問3](2) 正答：イ 正答率：24.5%]

〈分析〉大問3(2)は、「始まる」という動詞が、動作の対象を必要としないことを理由に、自動詞であることを判別する選択問題である。アのように、「動作の対象を必要としないので他動詞」といった組み合わせを選択するなど、正答率は24.5%にとどまった。

〈視点〉自動詞と他動詞の別は、動詞の後につく「が」、「を」といった助詞の使い方に影響を与えるとともに、例えば「窓が割れた」と「窓を割った」のように、その動作や現象が無意志で自然に起こったものか、有意志で意図的に行われたものか、といったニュアンスの違いを生じさせるといった点で、その違いを適切に理解することが語感を磨くことにつながることに留意したい。日常の指導では「書くこと」や「読むこと」の指導と言葉の文法的な特徴、働きについての指導とを関連付けたい。

③ 次の文章を読んで、(1)～(6)に答えなさい。

建築と聞いて、多くの人が「建物」を想像するだろう。それは正しい。でも僕は、原始的な建築は「場所」をつくることから始まったと考えている。

(2) 「始まった」とありますが、「始まる」の品詞について説明した次の文の ☐ I、☐ II にそれぞれ入れることは組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

「始まる」は動詞であり、動作の対象を必要と ☐ I ので、☐ II である。

ア	I	しない	II	他動詞
ウ	I	する	II	他動詞
エ	I	しない	II	自動詞
オ	I	する	II	自動詞

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)							
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの		部分点を 与えたもの		誤答としたもの		無 答	
1	(1)㉔	貸(して)	1		○		76.5		0.0		21.5		2.0	
	(1)㉕	ちか(う)	1		○		98.5		0.0		1.0		0.5	
	(2)	ウ	3	○			82.5		0.0		17.5		0.0	
	(3)	ア	3	○			81.5		0.0		18.5		0.0	
	(4)X	ウ	2	○			74.0		0.0		26.0		0.0	
	(4)Y	自分もこんな立派な人になりたい	3		○		96.5		1.0		2.0		0.5	
	(5)	イ	2	○			84.0		0.0		15.5		0.5	
	(6)X	自分の夢をあきらめきれていない	3			○	66.5		23.5		5.5		4.5	
(6)Y	仕事の時間を忘れるくらい夢中になっている	4			○	13.5		57.0		25.5		4.0		
2	(1)	徹夜	2		○		96.0		0.0		3.0		1.0	
	(2)	ア エ	3	○			73.5		0.0		26.5		0.0	
	(3)	ア	3	○			69.5		0.0		29.5		1.0	
	(4)X	夏の訪れ	2		○		92.0		1.5		4.5		2.0	
	(4)Y	惜しむ	2		○		53.0		3.0		36.0		8.0	
	(4)Z	味わい方	2		○		86.5		0.0		8.5		5.0	
3	(1)㉔	おんけい	1		○		75.0		0.0		24.0		1.0	
	(1)㉕	究極	2		○		60.5		11.5		24.5		3.5	
	(2)	イ	3	○			24.5		0.0		75.0		0.5	
	(3)	生きる力	3		○		60.5		0.0		34.5		5.0	
	(4)	エ	3	○			80.0		0.0		20.0		0.0	
	(5)	ア	3	○			87.0		0.0		12.5		0.5	
	(6)	異なる価値観を持つ人たちが、それぞれの心地良さに応じて自分の居場所を選択できる	6			○	0.5		68.0		20.5		11.0	
4	(1)	ウ	2	○			96.5		0.0		3.5		0.0	
	(2)	エ	3	○			70.5		0.0		29.0		0.5	
	(3)	短い言葉でのやりとりが中心となり、自分の意図が誤解される機会が増えることが考えられる。だから、その言い方で本当に自分の考えや思いが伝わるかどうかを考えて言葉を選んだり、説明を加えたりする必要がある。	8			○	45.5		35.5		13.5		5.5	

注意 字数が指定されている設問では、「、」や「。」も1ます使いなさい。

受検番号	(算用数字)
志願校	

1

[illegible]

2

	(1)		
	(2)		
	(3)		
	(4) X		
	(4) Y		
	(4) Z		

3

[illegible]

4

[illegible]

1

次の文章は、専門学校を卒業後、ジュエリー（宝石）デザイナーの夢を棄たせず飲食店でアルバイト（バイト）を続けている「永瀬（わたし）」と、中学校時代の同級生である「高峰^{たかね}」と「森」が、「永瀬」のアルバイト先の飲食店で食事をしながら会話をしている場面です。「高峰」は家業の宝石店『ジュエリータカミネ』を引き継いで社長になっています。これを読んで、(1)～(6)に答えなさい。

「永瀬、うちで働かへん？」

「は？」（中略）

高峰は『ジュエリータカミネ』をリフォームジュエリーに特化したサロンにできないか、と考えているという。景気のよかった時代には宝石が飛ぶように売れたが、今は違う。飛ぶように売れた宝石は、どこへ消えたのか。きつと簾^{だまき}簾^{だまき}の、あるいは鏡台の引出^{ひきだ}しの奥深くに眠っている。今では古臭くて身につけられないデザインのジュエリーたちが、山ほど。これからリフォームの時代が来る、いやおれがそういう時代にしてみせる、と熱く主張する高峰に相槌^{あきづき}を打ちながら、わたしはチャーハンを咀嚼^そした。森くんは聞いているのかいないのかよくわからない表情で、メニューの杏^{あん}豆腐^{とうふ}の写真を眺めている。

「ただ社長椅子に座ってるだけなんて、おもんないやろ。おれじゃないとでけへんこと、したいやろ」

「ふーん」

「なんやその、気のない返事は！」

はー、とため息が漏れたのは、感心したからではない。どちらかというと、びっくり仰天している。

「永瀬、お前ジュエリーデザイナーになりたかつたんやろ？ 力を^⑥かしてくれ」

高校を卒業してから二年間、専門学校でジュエリーデザインを学んだ。就職活動は全滅だった。宝石店やメーカー、百貨店、ジュエリーブランドを持つアパレルメーカー、そのすべてからわたしは「否」をつきつけられた。専門学校ではつとになかつたわたしだけでなく、学外のコンテストで賞をもらっていたような同級生ですら、結局ジュエリーともデザインとも無関係な企業に就職していた。それがせめてもの救いだったというか、「そういう時代だから」と言い訳ができた。わたしがだめだったわけじゃないんだ、と。

でも高峰はそういう時代に「する」と言う。時代を自分が変えたりつくつたりできるものだと考えている高峰^⑤がちよつとだけまぶしくて、ちよつとだけうとましい。

わたしは先月、本部から「正社員にならないか」という誘いを受けている。そのことを正直に告白すると、高峰はぐるりと店内を見まわして「まさか、お前ずつとここにおるつもりか？」と笑った。先ほどの「庶民的な店」発言がよみがえってきて、思わず「は？」と低い声が出る。

「この店を馬鹿にせんといて。わたしはね、誇り持ってやってんの。だいたいあんた知らんやろ、ヤンおばさんがどんなにすばらしい人か」

イメーシキキャラクター「ヤンおばさん」のモデルは、創業者のお母さんだ。お腹^{はら}を空^そかせた人を放っておけなかつた祖母の家には、いつもたくさんの人があつまってきていました。知っている人も知らない人も関係なく、祖母は彼らのために大鍋にいっぱい料理を用意してはふるまっていたの

です。お腹がいっぱいになると、人は幸せになれますから。社内報で会長のインタビューを読んだ時、わたしは泣いた。自分もこんな立派な人になりたいと、ほんの一瞬だけだがたしかにそう思った。

「馬鹿になんかしてへんよ。おれが言いたいのは、このバイトは永瀬がほんまにやりだかつた仕事ではないやろ、つてことや。あーあジュエリーデザイナーになりたかつたなあ、つて思いながら毎日小籠^{こわう}包^{ほう}運んでんねやろ。それはヤンおばさんに対する冒瀆^{ぼうとく}やで」

「うるさいわ、あんたにヤンおばさんのなにがわかんねん。だいたいわたしはそんなこと」

「ミリも考えていない、とは、どうしても言えなかつた。高峰は「思つてないつて？ ほんまか？ ヤンおばさん^④に誓^{ちか}うか？」と言いつのる。窓に目をやると、^③ガラス面に描かれたヤンおばさんと目が合った。

「永瀬さん、なんか飲みもの、取つてこようか」

森くんがやや強引に会話に割って入ってきた。

「あ、うん。ジャスミンティーがいい」

「わかつた」

立ち上がりながら、高峰に向かって「気持ちわかるけど、ちよつと、言いすぎ」と小声で言つたのが聞こえた。

高峰はため息をついて、アイスティーを飲み干した。それでちよつと落ちついたらしい。

「じゃあ、ちよつと考えてみてくれへん？ 詳細はあらためてメールでもするし」

「……わかつた」

森くんが両手にグラスを持って、戻ってきた。そのあとは各自無言で料理を片づけた。高峰は一気に喉^{のど}つてすこし疲れているようだったし、わたしは思いもよらない誘いに頭が混乱していたし、森くんはたまにこちらを気遣うように見るがなにも言わない。

「なあ、永瀬」

空になった皿が下げられたタイミングで、高峰があらだまつた声を出した。リミックから小さなビロード張りの箱を取り出して、わたしに差し出す。見て、と言われて聞くと、大ぶりの櫛^{くし}のオパールのリングが入っていた。

「なに？ くれんの？」

そんなわけないやろアホか、と高峰^④が鼻を鳴らす。

「おれが今つきおうてる女が、おばあちゃん^④の形見にもらつたもんや。古くさいデザインやから売つてしまおうかと思つたけど、たいした値段がつかへんかつたらしい」

「へえ」

「永瀬がつくりかえるとしたら、どうする？ 指輪以外で。二十代の女が身につけるとしたら」

わたしはオパールを前に、しばらく考えた。(中略)

このオパール、パールと合わせてみたいな。そう思ったらいてもたってもいられず、わたしはテーブル上のアンケートハガキ一枚とペンを取り、「自由にお書きください」の欄にネックレスを描きはじめた。パールは二連か三連にして、チャーカーっぽいネックレスにする。鉛筆じゃないから描きにくい。スケッチブックと鉛筆を持ってくればよかった。

他のテーブルの話声や食器のぶつかりあう音が遠ざかる。自分がペンを動かす音以外は、なにも聞こえない。

どれくらいそうしていたのか。肩を叩かれてはっと顔を上げると、森くんの顔が目前にあった。

「もう二時四十五分やけど、だいじょうぶ？ バイト、三時からじやなかった？」

「あ、うん。行かな」

あたふたと身支度をするわたしをよそに、高峰はアンケートハガキをひらひらさせて「やつばデザインやりたいんやんけ、お前」^⑧と笑った。

(出典 寺地はるな『華』)

- (注) リフォーム——仕立て直して、流行に合うようにしたり、別の用途に合うように改めたりすること。
- サロン——ここでは特定のサービスを行う場所のこと。
- おもんないやろ——「おもしろくないだろう」という意味の方言。
- でけんこと——「できないこと」という意味の方言。
- アパレルメーカー——衣料品の企画、製造を行う業者。
- 先ほどの「庶民的な店」発言——これより前の場面で、「高峰」は、「永瀬」がアルバイトをしている店のことを、自分があまり行く機会がない「庶民的な店」と発言していた。
- 社内報——企業が会社内の広報のために制作する新聞や冊子。
- 小籠包運んでんねやろ——「小籠包を運んでいるのだろう」という意味の方言。「小籠包」は中国料理の名前。
- 冒瀆——大切なものを傷つけたり、汚したりすること。
- ピロッド——表面が毛羽たつた肌さわりのやわらかい織物生地。
- オパール、パール——どちらもアクセサリーなどに用いられる宝石。
- チャーカー——首の付け根にぴつたりと沿うように着用する首飾り。

- (1) ——の部分④を漢字に直して楷書で書きなさい。また、——の部分④の漢字の読みを書きなさい。

- (2) 「ふーん」とありますが、ここでの「永瀬」の心情を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 高峰が自分を哀れんで雇おうとしているのではないかと思い、怒っている。
- イ 同級生の高峰が急に社長らしいふるまいをしたのがおかしく、笑っている。
- ウ 高峰が唐突に自分を勧誘しようとする話題を出してきたので、驚いている。
- エ 調子の良い高峰が自分をだましているのではないかと思い、怪しんでいる。

- (3) 「高峰が……うとましい」とありますが、「永瀬」がこのように感じた理由を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア やりたいことを素直に実行に移そうとする高峰をうらやましく思い、夢から目を背けている自分と比べてつらい気持ちになったから。
- イ 思ったことをそのまま言葉にできる高峰にあこがれを感じる一方で、自らの意見を押しつけてくる態度に対して違和感を覚えたから。
- ウ 新しい時代を自ら作っていくという高峰の言葉には感心するが、そのようなことは現実的に不可能だと冷ややかな感情を抱いたから。
- エ 社長として会社を引っ張っていくとする高峰に敬意を抱くとともに、自分には彼のように背負うものがないのを残念に思ったから。

- (4) 「ガラス面に……目が合った」とありますが、この部分の表現について説明した次の文の「X」に入れる表現技法として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。また、「Y」に入れるのに適当なことはを、文章中から十五字で抜き出して書きなさい。

この部分には「X」が用いられており、永瀬が「創業者のお母さん」と実際に向かい合っているかのように表現することで、会長のインタビューを読んで、「Y」と感じた時の永瀬の気持ちが揺らいでいることがわかる描写となっている。

- ア 倒置法 イ 直喩法 ウ 擬人法 エ 対句法

- (5) 「鼻を鳴らす」^⑨とありますが、このしぐさからわかる「高峰」の気持ちとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 迷い イ 不満 ウ 甘え エ 賛同

- (6) 「笑った」^⑩とありますが、「高峰」が笑った理由を説明した次の文の「X」、「Y」に入れるのに適当なことはを、「X」は十五字以内、「Y」は二十字以内でそれぞれ書きなさい。

永瀬が飲食店での仕事に誇りを持っていると言いながら、ジェエリーデザイナーという「X」のではないかと考え、試しに指輪のデザインについて問いかけたところ、永瀬が「Y」姿を見せたので、自分の考えたとおりだと思ったから。

2 次の文章は、平安・鎌倉時代の歌人、藤原実定の和歌と、中唐（唐の時代を四つに区分した第三期目）の詩人、白居易の漢詩に共通する「ホトトギス」という題材について書かれた文章の一部です。これを読んで、(1)～(4)に答えなさい。

ほととぎす鳴きつる方をながむればただ有明の月ぞ残れる（藤原実定）

ホトトギスの声を待ちわびてやつとその声を聞けたのは夜明けのことだった、という歌です。当時の風流な貴族にとつては、夏の訪れを告げる風物詩は徹夜してでも味わいたいものだったのでしょう。俳句の世界でもホトトギスは夏の季語です。

さて、中国の古典世界にもホトトギスは春から夏への季節の移り変わりを象徴する鳥として登場してきます。しかしこちらのホトトギスは夏の訪れを告げる鳥ではないのです。

中唐・白居易の「送春帰（春の帰るを送る）」という詩を見てみましょう。（中略）

三月尽日日暮時	三月尽日 日暮の時
去年杏園花飛御溝緑	去年 杏園 花飛びて 御溝緑なり
何処送春曲江曲	何処 にか春を送らん 曲江の曲
今年杜鵑花落子規啼	今年 杜鵑花落ち 子規啼く
送春何処西江西	春を送るは何処ならん 西江の西

去りゆく春を惜しむ三月の終わりの日（尽日）の日暮れ時、去年は首都長安の名勝地曲江のほとりで風に舞うアネズの花びらを見ていたのに、左遷された今年は長江のほとり江州の町でサツキ（杜鵑花）の花が落ちホトトギス（子規）が鳴くのを聞いていると詠われています。唐詩のホトトギスの多くはこのように晩春に描かれます。同じ鳥の声が同じ時期に響いてくるのに対し、日本の和歌の世界では夏の訪れを告げる鳥として認識されていたホトトギスが、中国の詩歌の世界では春の終わりを報せる鳥として認識されているわけです。

「送春帰」詩の白居易は去年と今年の自身の境遇を比較し、長安で華やかな都の春を惜しんでいたのに、今年は左遷先にいると歎いています。ホトトギスは唐代の長安には生息していなかったようで、ホトトギスの声はここが長安ではないのだということを鮮明に意識させるきっかけにもなったのでしょう。また、ホトトギスの鳴き声は、中国の古典世界ではしばしば「不如帰」と表現されます。書き下しにすれば「帰るに如かず」、帰るのが一番だ、という鳴き声です。左遷先にいる白居易の心にも帰りたいと鳴くホトトギスの声が深く響いたのかもしれないかもしれません。（中略）

花を散らして鳴き、あるいは「帰るにこしたことはない」と鳴く晩春のホトトギスと、徹夜してでも初音を聞きたい初夏のホトトギス、季節を告げる鳥である点と同じでも、文化ごとに異なる味わい方があります。日本文化は中国文化の影響を幅広く受けており、ホトトギスにおいても例えはその表記「杜鵑」や「不如帰」は中国古典世界に由来します。しかしホトトギスの季節感のように、影響を受けてなお異なっている点も様々なにあります。中国文化の影響を受けた点も日本文化の個性ですが、独自の部分もまた興味深い日本文化の個性です。共通点も違いもいずれも日中の文化を比較する中で初めて見えてきます。そのような比較もまた文化を知る面白さです。

（出典 高芝麻子「漢文世界のいきものたち」）

- (注) 杏園——唐の時代、曲江（長安の東南にあった池）のほとりにあった庭園。「杏」はアネズのこと。
御溝——宮中の庭園を流れる小川。
西江——長江の中下流のこと。
名勝地——景色のすぐれた土地。
左遷——現在よりも低い官職や地位におとし、遠方の地に赴任させること。

(1) 「有明の月」とありますが、これについて説明した次の文の□□□□に入れるのに適当なことはを、文章中から二字で抜き出して書きなさい。
「有明の月」は、夜明けに空に残る月のことで、この和歌の作者がホトトギスの鳴き声を聞くために□□□□をしてしまった状況を表している。

(2) 「御溝緑なり」の「緑」を行書で次のように書いたときの特徴を、楷書で書いたときと比較して説明したものとして適当なのは、ア～エのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

緑

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア 点画の形や方向が変化している。 | イ 全体的に直線的で丸みがない。 |
| ウ 一点一画がはつきりしている。 | エ 部首の部分の筆順に変化がある。 |

(3) 「子規啼く」とありますが、筆者が白居易の漢詩における「ホトトギス（子規）」の鳴き声の効果をどのように考えているかについて説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 「帰るに如かず」と表現されるように、左遷されている白居易が長安に「帰りたい」という気持ちを一層強くするものとなっている。
イ 都では聞くことのなかったものであり、「アネズの花」とは違う趣のある春の風物として白居易の創作意欲を促すものとなっている。
ウ 春の終わりを告げるものであると同時に、「つらいことのあった都には帰らなくてよい」と白居易を慰めてくれるものとなっている。
エ 長安にいた頃はいつも待ちわびて聞いていた白居易にとって、「今年は聞くことができない」と自身の境遇を嘆くものとなっている。

(4) 授業でこの文章を学習した健一さんは、授業の振り返りを次のようにまとめました。□□□□に入れるのに適当なことはを、□□□□は四字、□□□□は三字、□□□□は四字で、それぞれ文章中から抜き出して書きなさい。

【健一さんの振り返り】

僕の好きな俳句に、「目には書葉山ほととぎす初鴈」（山口素堂）という句があるが、藤原実定の和歌と同様に、この句の中でもホトトギスは□□□□に気付かせてくれる風流なものとして用いられている。春の終わりを□□□□気持ちを抱かせる、少し物寂しいものとしてホトトギスの鳴き声を捉えている白居易の漢詩に比べ、日本の和歌や俳句には、新しい季節への期待のようなものを感じる。日本文化、中国文化ともにその古典世界において、同じ題材を扱いながらも、異なる□□□□をしているところにそれぞれの文化の個性があり、興味深いと思った。

次の文章を読んで、(1)～(6)に答えなさい。

建築と聞いて、多くの人が「建物」を想像するだろう。それは正しい。でも僕は、原始的な建築は「場所」をつくることから始まったと考えている。ここでいう「場所」とは、建物の中で行われる人々の営みを含めたものだ。箱だけがあり、人々に生きる力や恩恵を与えていなかったら、僕にとっては本当の意味での場所にはなり得ていない。

僕には建築は、建物など外側の「箱」だけではなく、「場所」であることが重要なのだ。

誰もが経験があると思うが、子どもの頃、僕は自分の居場所づくりに夢中になっていた。押し入れの中に気に入ったものを持ち込んでみたり、木の上に秘密基地をつくったり。みんな子どもの頃は、自分が心地いいと思えるもの、気に入ったものを純粋に追求していたと思う。そして現実と空想の狭間で心をワクワクさせていた。そのときは「誰からどう見られるか」なんて、考えていなかったはずだ。

僕も成長するにつれて、周りからどんなふうに見られるかを考えるようになった。自分がどうありたいかということは脇において、周囲に合わせることが良いことかのように。だが、それは決して居心地が良くなかった。

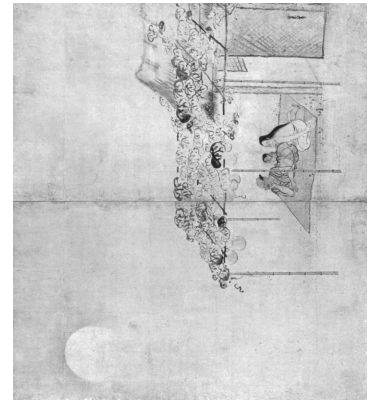
④ 建築も同じだ。外から見たデザインはもちろん大事なのだが、まずは内側の「場所」を考えることを大切にしている。つまり、この建築がどうありたい（あるべき）なのかを考えることだ。そのことが考えられていない建築は、やはり居心地が良くない。

20世紀を代表するアメリカの建築家⑤、ルイス・カーンはこう言った。

「一本の大きな木があり、そこに話す人がいて、聞く人がいれば、それが学校である」と。それが学校の始まりだと言った。まさしく、「建築のはじまりとは「場所」である」ということを伝えようとしている。木の下で人間と人間によって学びという活動が行われ、やがてその活動を包み込むような箱ができた。それが学校という建築だったわけだ。先に建物があるのではない。自然に人々が集まってくる木のような、人と人をつなぐ「場所」が必要なのだ。

もう一つ例を挙げたい。僕が好きな絵に、江戸時代前期の狩野派の絵師、久隅守景が描いた「納涼図屏風」⑥というものがある。この絵のことは彫刻家で大学の先生だった吉江庄蔵先生が教えてくれた。ここに描かれている絵に、僕はギョウキョウの建築を見た気がしている。といってもこの屏風絵には、建築はほとんど描かれていない。竹の柱が四方に立てられ、夕顔を透わせた天井、ただそれだけ。でも、その中にいる家族がとても幸せそうに見える。あくまでも人がどう生きていくことが幸せなのかが大切であって、非常に質素な竹の柱と夕顔の天井だけでも、豊かな場所をつくることはできるのだ。

僕はこの絵に、建築はこのくらいシンプルでもいいのだと教えられた。



久隅守景「納涼図」屏風

「場所」は建築の中だけにあるのではない。建築の外、その周辺やもっと広い範囲で町や都市の中にも、その建築の存在によって場所が新たに生み出される。

日本に横文彦さんという建築家がいる。東京の代官山の風景をつくるヒルサイドテラスを設計した建築家だ。

彼は、建築とは「無償の愛」だという。横さんがヒルサイドを訪れた時、とあるカフェの一席に老人の牧師が座っていた。翌日も行ってみると、同じ席に座っている。その翌日も。彼はいつも同じ席でワインを飲んでいた。

その牧師は家でワインを飲むことを選べるのに、わざわざ都市に出て過ごしている。つまり、みんなの中に自分一人の場所がある、ここが心地よい、自分の居場所だと思える場所を都市の中に見つけているということだ。

⑦ 愛のある建築とは「あなたはここにいてもいいよ」と言ってくれるものなのだと思う。一人ひとりの居場所があり、それを自らの意思で選べるということ。それを肯定してくれるのが、建築のあるべき姿だと考える。

大事なのは、建築の中にも都市の中にも、自分の居場所を見つけれられることだ。大勢⑧でいてもいいし、一人でいてもいい。その建築があることで、あらゆる人の救いになるような場所ができることを僕は願う。

そうやって、地球上のどこでも人々の居場所になれば、それがいい建築や都市になるということだ。

東京には、ほーっとできる場所がもつとあってもいい。例えばマンションは同じような間取りだ。合理的ではあるけれど、あらゆる人を受け入れる場所にはならない。人それぞれ生き方、考え方、感じ方も違うというからもつと多様な空間や「場所」を少しでも多くつくることで、誰かの居場所を増やしていければと考える。

(出典 小堀哲夫『建築家のアタマのなか』)

(注) ヒルサイドテラス——東京都渋谷区代官山にある、住宅、オフィス、飲食店などからなる複合施設。

(1) ——の部分④の漢字の読みを書きなさい。また、——の部分⑤を漢字に直して楷書で書きなさい。

(2) 「始まった」とありますが、「始まる」の品詞について説明した次の文のⅠ、Ⅱにそれぞれ入ることは組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

「始まる」は動詞であり、動作の対象を必要とⅠので、Ⅱである。

ア Ⅰ しない Ⅱ 他動詞 イ Ⅰ しない Ⅱ 自動詞
ウ Ⅰ する Ⅱ 他動詞 エ Ⅰ する Ⅱ 自動詞

- (3) ⑥「外側の『箱』だけではなく、『場所』であることが重要」とありますが、これがどういうことを説明した次の文の□□に入れるのに適切なことばを、文章中から四字で抜き出して書きなさい。
- 建築は、建物そのものだけではなく、そこで人々が□□を持てるような空間であるかどうかが重要だということ。
- (4) ⑥「建築も同じだ」とありますが、これがどういうことを説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 子どもの頃に筆者が木の上に作った秘密基地のようなワクワクする感覚が、今の建築からは失われてしまったということ。
- イ 子どもの頃から成長するにつれて他の人と合わせることを知ったように、建築も周囲の環境との調和が重要だということ。
- ウ 子どもの頃に気に入っていた場所の見え目は、建築を外から見てもどのようにデザインしていくかの参考になるということ。
- エ 子どもの頃に人目を気にせず好きなものを追求したように、建築もどうあるのが望ましいかを第一にすべきだということ。
- (5) ⑥「ルイス・カーン」の発言と⑦「納涼図屏風」を具体例として筆者が挙げた意図を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 建築はどのようなものであっても、人々の豊かな活動の場となっているかどうかが重要だということを示すため。
- イ 人々が日々を幸せに過ごすことができさえすれば、建築はもはや必要とされていないのだということを示すため。
- ウ 人々が気持ち良く生活できるように、建築には木や竹など自然の素材を取り入れるべきだということを示すため。
- エ 建築は質素であればあるほど、その中で生きる人々の活動が充実し活発なものになるのだということを示すため。
- (6) ⑥「愛のある建築」とありますが、ここからわかる筆者の建築についての考えを説明した次の文の□□に入れるのに適切なことばを、四十字以内で書きなさい。
- 建築は、合理性を追求するばかりではなく、□□ように多様な空間を地球上に確保することで、社会の中のあらゆる人の存在を肯定するものであることが重要である。

4

未歩さんは国語の授業で、自分たちが普段使っている言葉について調べたことをまとめ、発表しました。次の【未歩さんの発表】を読んで、(1)～(3)に答えなさい。

【未歩さんの発表】

皆さんは、「打ち言葉」を知っていますか。インターネット上で利用者同士が交流するソーシャル・ネットワーキング・サービス、略してSNSを通してメッセージをやりとりする時などに用いられる、話し言葉の要素を多く含む新しい書き言葉が「打ち言葉」と呼ばれているものです。

【タブレット端末の画面Ⅰ】を見てください。このように、SNSのメッセージは、比較的短い言葉でやりとりされることが多く、普通の会話に近い特徴があります。しかし、実際の会話と違って、相手の表情や口調などからどのような意図で言っているのかということ判断することができない場合があります。時として、⑧【タブレット端末の画面Ⅱ】のような誤解を生じさせてしまうこともあります。

このような誤解を避けるために、「打ち言葉」ではしばしば【タブレット端末の画面Ⅰ】のように、様々な顔の表情を示す「絵文字」や、感情を文字で表現する「(笑)」といった表現を使い、文字だけでは伝わらない要素を表すことがあります。ただし、こうした「打ち言葉」ならではの表現は、【資料Ⅰ】によると、⑨ことから、あらゆる年齢層の人が同じように使う表現ではなく、どのような場合でも誤解を解消できるわけではないことがわかります。それは、特定の関係者同士のやりとりが多いSNSのメッセージだからこそ、使われる表現であるとも言えます。

⑩ SNSが広く用いられている現在の社会において、こうした「打ち言葉」の特徴は、私たちの普段の言葉でのやりとりにも影響を与えると考えます。

ねえ 明日、どうする？ A

映画はどう？ B

前に言っていたって書いてた映画 昨日から始まってよ

いいね！ 映画館に集合！ あ、まず時間調べなきゃ (笑) A

私が調べておくよ 楽しみだね！ B

【タブレット端末の画面Ⅰ】

ごめん…。今日の私のせいだ C

そんなことはないよ Cさん あんなに頑張ってたでしょ 気にしないで！ D

Cさんは仲間じゃない E

Eさんひどい！ なんでもそんなこと言うの！ D

えっひどいって……なんで？ E

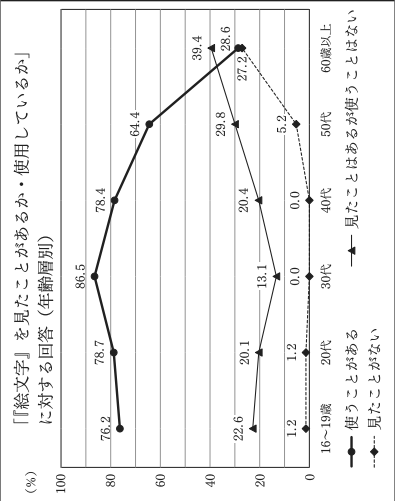
【タブレット端末の画面Ⅱ】

- (1) ⑧【タブレット端末の画面Ⅱ】のような誤解」とありますが、ここでの「誤解」の内容を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア Cさんを責めようとしたEさんの発言に対して、DさんはCさんを仲間だと印象つけて許そうとするものと誤解した。
- イ Dさんの言葉を否定したEさんの発言に対して、DさんはCさんが仲間なのかどうかを確認しているものと誤解した。
- ウ Cさんを慰めようとしたEさんの発言に対して、DさんはCさんが仲間であることを否定して責めるものと誤解した。
- エ Dさんに疑問をぶつけたEさんの発言に対して、DさんはCさんを仲間だから許すべきだと断言するものと誤解した。

- (2) 未歩さんの発表が論理的なものとなるために、⑤に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 30代では、「絵文字」を「使うことがある」と答えた人の割合が、他のすべての年齢層と比較したときに最も高くなっており、「見たことがない」と答えた人の割合も0%となっている
- イ 「絵文字」を「見たことはあるが使うことはない」、「見たことがない」と答えた人の割合の合計は、30代までのすべての年齢層では二割未満だが、40代、50代、60歳以上では三割を超えている
- ウ 20代と40代では、「絵文字」を「見たことはあるが使うことはない」と答えた人の割合がどちらも20%程度であるのに対して、「使うことがある」と答えた人の割合はどちらも七割を超えている
- エ 「絵文字」を「使うことがある」と答えた人の割合は、40代までのすべての年齢層では七割を上回っているのに対して、50代では約64%まで減少し、60歳以上では三割を下回っている
- (3) ⑥「SNSが……考えます」とありますが、「打ち言葉」の特徴が、私たちの普段の言葉でのやりとりによどのような影響を与え、それに対して私たちはどのようなことを意識して言葉を使っていく必要があるかということについて、あなたの考えを条件に従って八十文字以上百字以内で書きなさい。

- 条件
- 1 二文で書き、一文目に、【資料Ⅱ】の「『打ち言葉』の特徴」から一つを取り上げ、それが私たちの普段の言葉でのやりとりによどのような影響を与えるかを、解答欄の書き出しに続けて書くこと。
 - 2 二文目を「だから」と書き出し、一文目で挙げたことに対して、どのようなことを意識して言葉を使っていく必要があるかを書くこと。

【資料Ⅰ】



※ 「無回答」等は除外しているため、構成比（%）の合計が、100%にならないものもある。
（文化庁 平成27年度「国語に関する世論調査」を参考で作成）

【資料Ⅱ】 未歩さんが発表のためにまとめたメモ

- 「打ち言葉」の特徴
- ・ 短い言葉でのやりとりが中心である
 - ・ 「打ち言葉」ならではの表現（「絵文字」など）がある
 - ・ 特定の仲間同士で用いられる表現がある

2 社 会

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関する理解の程度や、様々な情報を効果的に調べまとめる技能、社会的事象の意味や意義等を多面的・多角的に考察する力をみるとともに、思考力、判断力、表現力等をみる問題を含めて、地理・歴史・公民の各分野にわたって幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- ① 江戸幕府に関する問いを考察する学習場面を通して、古代から近世までの政治や文化等に関する理解の程度をみるとともに、歴史に関わる事象の意義等について、考察する力をみる。
- ② 世界地図を素材として、地図の特色や我が国の国土の位置等に関する理解の程度や、諸資料から情報を読み取る技能の習得の程度をみるとともに、気候と生活及び気候と産業との関連について、資料をもとに考察する力や適切に表現する力をみる。
- ③ 東北地方の地域的特色を考察する学習場面を通して、我が国の自然環境と産業の関連等に関する理解の程度や、諸資料から情報を読み取る技能の習得の程度をみる。
- ④ 我が国の近代化に関する問いを考察する学習場面を通して、近現代の政治や文化等に関する理解の程度をみるとともに、歴史に関わる事象の意義等について、資料をもとに考察する力や適切に表現する力をみる。
- ⑤ 探究する課題を設定する学習場面を通して、我が国の政治の仕組みや産業構造の変化、国際連合、市場における価格の決まり方等に関する理解の程度をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

地理、歴史、公民の各分野において、基礎的・基本的な知識の習得をみる設問では全体的に正答率が高かったが、①(1)、②(1)及び⑤(1)②(い)では正答率が低かった。また、②(4)②(あ)のように、資料をもとに考察し、適切に表現する力をみる設問では正答率が伸びなかった。

歴史的分野において、歴史的事象の流れについて理解の程度をみる設問では、古代における設問の正答率は高かったが、近代及び現代における設問の正答率は伸びなかった。

イ 授業改善の視点等

社会的事象を多面的・多角的に考察する力の育成

〔大問1〕(6) 正答：ク 正答率：53.5%〕

(6) に当てはまる適当なことを【 の選択肢】から、 に当てはまる適当な内容を【 の選択肢】からそれぞれ選び、その組み合わせとして最も適当なのは、ア～ケのうちではどれですか。一つ答えなさい。

【 の選択肢】

I 享保^{きやうほう}の改革 II 国分寺^{くんにりゆう}の建立 III 参勤交代の制度化

【 の選択肢】

R 政治や社会の不安から、仏教の力で国家を守ろうとした

S 各地で交通網の整備がすすみ、宿場（宿駅）が発達した

T 打ちこわしがなくなり、町人が担^{にな}い手の元禄^{げんろく}文化が栄えた

ア I－R イ I－S ウ I－T エ II－R オ II－S

カ II－T キ III－R ク III－S ケ III－T

〈分析〉大問1(6)は、江戸幕府の統治政策の意義や影響を、多様な側面から考察する設問である。YでIIIを選択しているものの、ZでTを選択する誤答が見られ、参勤交代の制度化が経済に与えた影響への理解が不十分であったと考えられる。

〈視点〉社会的事象を多面的・多角的に考察する力を育成するために、歴史的分野の学習対象である社会的事象そのものが多様な側面をもつことを意識し、様々な側面やいろいろな立場から考察させることが必要である。例えば、大問1(4)にある資料（『オランダ商館長日記』）などを活用し、江戸幕府が行った貿易統制を、江戸幕府の立場だけでなく、諸外国の立場や民衆の立場などから考察させる学習活動などが考えられる。

気候や地形などの分布を表した様々な主題図の活用

〔大問2〕(1) 正答：西岸海洋性（気候） 正答率：32.0%〕

(1) 温帯は、三つの気候に分けられますが、略地図中の地点a周辺にみられる、暖流と偏西風の影響を受けて、比較的温暖な気候を何といいますか。

〈分析〉大問2(1)は、略地図上に示された地点の気候に関する理解の程度をみる設問である。温帯に属する「地中海性（気候）」や「温暖湿潤（気候）」などの誤答が見られ、正答率は32.0%にとどまった。人々の生活の特色に影響を与える気候の分布についての理解が不十分であったと考えられる。

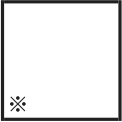
〈視点〉人々の生活の特色に影響を与える、気候や地形といった自然的条件の分布を理解するために、「どこに、どのようなものが、どのように広がっているのか」といった地理的な見方を働かせ、人々の生活とどのように関連しているかなどを考察させることが必要である。例えば、特色のある自然環境とそれに関係する衣食住を事例として取り上げ、気候や地形などの分布を表した様々な主題図を活用して、取り上げた事例を主題図上に位置付け、人々の生活の特色と自然的条件を関連付けるといった学習活動などが考えられる。その際、人々の生活の特色と自然的条件の関連のみに着目するのではなく、文化や経済といった社会的条件との関連にも着目する必要がある。

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式 選 短 記 択 答 述	応 答 率 (%)					
					正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答		
1	(1)①	平安京	2	○	54.5		0.0	41.5		4.0
	(1)②	ウ → イ → ア	3	○	59.5		0.0	40.5		0.0
	(2)	[選択] [職務] ア 朝廷を監視すること。	2	○	62.5		6.0	30.0		1.5
	(3)	管領	2	○	46.0		0.0	51.5		2.5
	(4)	オランダ	2	○	72.0		0.0	27.5		0.5
	(5)	朱子	2	○	71.5		0.0	23.5		5.0
	(6)	ク	2	○	53.5		0.0	46.5		0.0
2	(1)	西岸海洋性	2	○	32.0		0.0	65.0		3.0
	(2)	イ	2	○	74.0		0.0	26.0		0.0
	(3)	沖ノ鳥	2	○	83.5		0.5	15.0		1.0
	(4)①	[都市] [理由] Q 森林が少なく、木材を得にくいため。	2	○	41.0		34.5	24.5		0.0
	(4)②(あ)	気温が年間を通して低い	2	○	29.0		23.0	47.0		1.0
	(4)②(い)	ウ	2	○	86.5		0.0	13.5		0.0
3	(1)	イ オ	3	○	56.5		0.0	43.0		0.5
	(2)①	やませ	2	○	82.0		0.0	17.5		0.5
	(2)②	エ	2	○	71.0		0.0	29.0		0.0
	(3)	農作業を行えない冬の期間の農家の副業	3	○	56.0		11.0	25.5		7.5
	(4)	[(a)] [b)] ア ウ	2	○	89.5		4.0	6.5		0.0
4	(1)	ウ	2	○	87.0		0.0	13.0		0.0
	(2)	エ	2	○	59.5		0.0	40.0		0.5
	(3)	自由党	2	○	62.0		0.5	34.0		3.5
	(4)	主要輸入品だったが、1907年には、輸入した原材料の綿花を加工し、大量生産される輸出品になっている。	3	○	18.5		23.5	49.5		8.5
	(5)	ウ	2	○	44.5		0.0	55.5		0.0
	(6)	ア	2	○	68.5		0.0	31.5		0.0
	(6)	ア	2	○	68.5		0.0	31.5		0.0
5	(1)①	イ	2	○	67.0		0.0	33.0		0.0
	(1)②(あ)	国会に対して連帯して責任を負う	2	○	24.5		8.5	62.0		5.0
	(1)②(い)	ウ	2	○	47.5		0.0	52.5		0.0
	(1)③	ア	2	○	76.5		0.0	23.5		0.0
	(2)①	オ	3	○	40.0		0.0	60.0		0.0
	(2)②	高度経済成長	2	○	83.0		0.0	5.0		12.0
	(3)①	エ	3	○	43.0		0.0	57.0		0.0
	(3)②	自給率	2	○	68.5		0.0	27.5		4.0

受 検 番 号	志 願 校
(算用数字)	

解 答 用 紙



1

	(1)①		
	(1)②	→	→
	(2)	選択	職務
	(3)		
	(4)		
	(5)		学
	(6)		

2

	(1)	気候
	(2)	
	(3)	島
		都市
	(4)①	理由 この都市がある国では、
	(4)② (あ)	
	(4)② (い)	

3

	(1)	
	(2)①	
	(2)②	
	(3)	
	(4)	(a) (b)

4

	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	綿糸は、1885年に、
	(5)	
	(6)	

5

	(1)①	
	(1)② (あ)	
	(1)② (い)	
	(1)③	
	(2)①	
	(2)②	
	(3)①	
	(3)②	

1

大助さんは、近世までの歴史的分野の学習を振り返り、「なぜ、江戸幕府は安定した支配を約250年続けることができたのだろう」と疑問をもち、我が国に成立した幕府の特徴を比較しました。次は、大助さんが作成した資料です。(1)～(6)に答えなさい。

大助さんが作成した資料

我が国に成立した三つの幕府の特徴

○疑問「なぜ、江戸幕府は安定した支配を約250年続けることができたのだろう」

○幕府とは
もともとは、戦場で将軍が幕を張った場所のこと。(a)桓武天皇のころに、征夷大將軍に任命された人物として、坂上田村麻呂がいる。後に、征夷大將軍を首長とする武家政権を指すようになった。

○三つの幕府の比較

	鎌倉幕府	室町幕府	江戸幕府
	・将軍と御家人は、御恩と奉公の関係で結ばれた。 ・国ごとに守護、荘園や公領に地頭を置いて、京都市に六波羅探題を置いた。	・足利義満が南北朝の統一を実現し、約60年にわたる内乱を終わらせた。 ・強い権限をもつ守護大名が幕政に参加した。	・幕府と藩が全国の土地と人民を支配した。 ・法令で大名などを統制した。 ・貿易統制を行った。
その他の特徴	・源頼朝の死後、北条氏が実権を握った。	・応仁の乱後、幕府の権力はおとろえていった。	・将軍や老中によって、たびたび政治改革が行われた。

○気づきや考察
・鎌倉幕府は御恩と奉公による主従関係を支配の基礎としていた。室町幕府による支配は一揆や応仁の乱などによってくずれ、下剋上の風潮が広がった。
・江戸幕府は、さまざまな統制を行って、幕藩体制を確立させた。また、主従関係を重視して、旗本や御家人などに儒学のなかでも「X」を学ぶことをすすめた。こうしたことにより、安定した支配を約250年もの間、続けることができたと考えた。
・江戸幕府による統治は、江戸時代の社会にさまざまな影響を与えていて、例えば、Yによって、Zことが挙げられる。

- (1) 下線部(a)に関して、①、②に答えなさい。
- ① 桓武天皇が長岡京から移した都を何といいいますか。

- ② 下線部(a)の時代より前におこった我が国のできごととであるア～ウを、年代の古いものから順に並ぶように記号で答えなさい。
- ア 聖田永年私財法が定められた。
- イ 大宝律令が完成した。
- ウ 小野妹子らが隋へ派遣された。

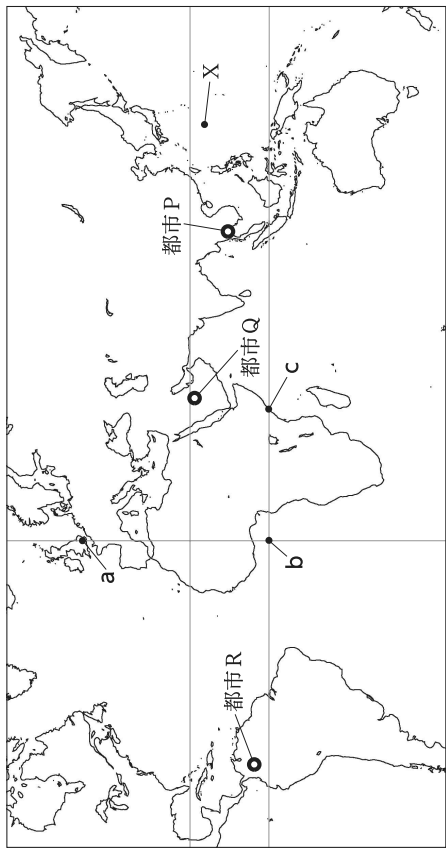
- (2) 下線部(b)が置かれることとなったできごととして最も適当なのは、ア～ウのうちではどれですか。一つ答えなさい。また、下線部(b)の職務について、「朝廷」ということばを用いて書きなさい。
- ア 承久の乱 イ 壬申の乱 ウ 平将門の乱
- (3) 下線部(c)に関して、室町幕府において、有力な守護大名が任命された、将軍を補佐する最高の役職を何といいいますか。
- (4) 下線部(d)に関して、大助さんは、17世紀に来日したある外国人の日記を見つけた。次は、その一部です。□□に当てはまる適当なヨーロッパの国名を書きなさい。

…「日本国にとつては、外国人が貿易を行うかどうかはあまり重要ではないが、□□人は、江戸幕府から通行許可証を得ているので、通行を許し、彼らの商業その他について、以前と同様に、自由にしてよい。ただし彼らの船は今後長崎に入港させ、彼らの全財産を平戸から長崎に移さなければならぬ。」すなわち、江戸幕府3代将軍が、いかなる外国人にも長崎以外の国内に住むのを許さないことにしたからである。…

(東京大学史料編纂所Webページから抜粋、要約して作成)

- (5) □X□に当てはまる、主従関係や上下関係を重視する学問を何といいいますか。
- (6) □Y□に当てはまる適当なことばを【□Y□の選択肢】から、□Z□に当てはまる適当な内容を【□Z□の選択肢】からそれぞれ選び、その組み合わせとして最も適当なのは、ア～ケのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- 【□Y□の選択肢】
- I 享保の改革 II 国分寺の建立 III 参勤交代の制度化
- 【□Z□の選択肢】
- R 政治や社会の不安から、仏教の力で国家を守ろうとした
- S 各地で交通網の整備がすすみ、宿場(宿駅)が発達した
- T 打ちこわしがなくなり、町人が担い手の元禄文化が栄えた
- ア I-R イ I-S ウ I-T エ II-R オ II-S
- カ II-T キ III-R ク III-S ケ III-T

2 次の略地図を見て、(1)～(4)に答えなさい。なお、略地図には、本初子午線と赤道、北緯25度の緯線が描かれており、地点bと地点cは赤道上にあります。

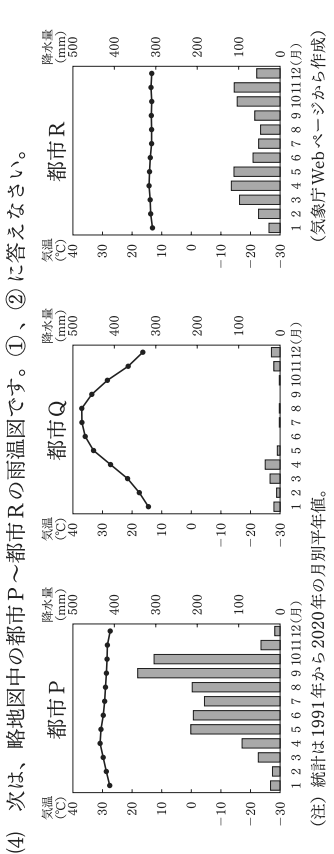


(1) 温帯は、三つの気候に分けられますが、略地図中の地点a周辺にみられる、暖流と偏西風の影響を受けて、比較的温暖な気候を何といいますか。

(2) 略地図中の地点bと地点c、都市P～都市Rの三つの都市に関して述べた次のIとIIの文について、内容の正誤を表したのとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

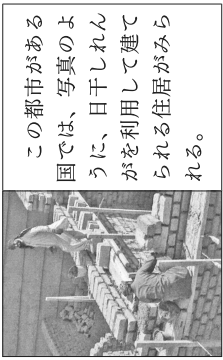
- I 地点cから見て地点bは、8方位で西にあたる。
- II 都市P～都市Rのうち、最も早く2026年1月1日午前0時を迎えたのは、都市Rである。
- ア I、IIのどちらも正しい。 イ Iのみ正しい。
- ウ IIのみ正しい。 エ I、IIのどちらも誤っている。

(3) 略地図中のXの地点に位置する、日本の南端の島を何といいますか。



① 右の資料は、都市Pまたは都市Qのどちらかの国でみられる伝統的な住居に関する写真と説明文です。説明文中の都市として最も適当なのは、都市Pと都市Qのどちらですか。一つ答えなさい。また、資料のように、日干しれんがが住居に利用されている理由を、解しれんがの書き出しに続けて、「森林」というこ

資料



この都市がある国では、写真のように、日干しれんがを利用して建てられる住居がみられる。

② 次の文章について、(a)、(b)に答えなさい。

都市P～都市Rは赤道から北緯25度の間に位置しているが、都市Rは都市P、都市Qと比べ、標高が高い所にあると考えられる。それは、都市Rが都市P、都市Qと比べ、月ごとの [] からである。

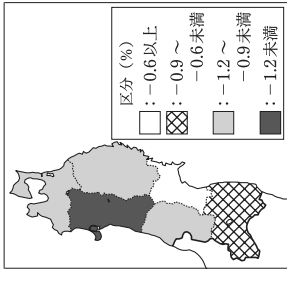
赤道近くの、標高が高い所でみられる気候はコーヒー豆生産に適しており、北緯25度から南緯25度にかけての地域には、コーヒー豆の主要な生産地が集中している。しかし、地球温暖化の影響により、将来、この地域における、コーヒー豆生産の適地は半減すると考えられている。コーヒー豆など特定の農産物や鉱産資源の輸出に自国の経済が依存している国にとって、それらが生産できなくなことは、その国の経済に大きく影響すると考えられる。

- (a) [] に当てはまる適当な内容を、雨温図から読み取れることをもとに書きなさい。
- (b) ある国が、下線で示した国であることを確かめるために必要となる資料として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 確かめたい国の農産物と鉱産資源の輸入総額がわかる資料
- イ 確かめたい国の国内総生産の推移がわかる資料
- ウ 確かめたい国の輸出総額に占める輸出品目とその割合がわかる資料
- エ 確かめたい国のおもな輸出相手国がわかる資料

加奈さんは、東北地方の地域的特色について、人口や産業、気候や地形などの観点から考察する学習を進めています。(1)～(4)に答えなさい。

- (1) 加奈さんは、東北地方の地域的特色について、資料1～資料3を収集しました。資料1～資料3から読み取れる内容として適当なのは、ア～オのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

資料1 人口増減率
資料2 漁業生産量、果実産出額
資料3 製造品出荷額等と
国内貨物海上輸送量



(注) 2015年～2020年の平均。



(注) 統計年次は2020年。

県	製造品 出荷額等 (十億円)	国内貨物 海上輸送量 (千トン)
福島	4 790	4 907
宮城	4 385	7 872
山形	2 844	273
岩手	2 503	2 298
青森	1 687	6 541
秋田	1 317	729
計	17 526	22 620

(注) 統計年次は2020年。

(資料1～資料3は「データでみる県勢2023及び2024」から作成)

- ア 福島県は、製造品出荷額等が東北地方で最も多く、果実産出額は全国上位5位に入る。
イ 漁業生産量と果実産出額のどちらも全国上位5位に入る県は、国内貨物海上輸送量が東北地方で2番目に多い。

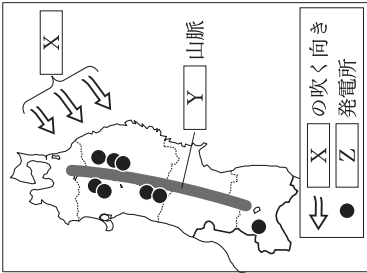
ウ 山形県は、人口増減率が－1.2%未満の区分であり、国内貨物海上輸送量は東北地方で最も少ない。

エ 東北地方で製造品出荷額等が最も多い県と最も少ない県は、人口増減率が同じ区分である。

オ 宮城県は、人口増減率が－0.6%以上の区分であり、製造品出荷額等は東北地方で約25%を占めている。

- (2) 加奈さんは、東北地方に吹く風と東北地方の南北に広がる山脈、その山脈周辺の発電所の分布を示した資料4を作成しました。①、②に答えなさい。

① 東北地方は米の生産が盛んですが、収穫量が大きく減る年があります。資料4中の X には、稲の生育に被害をもたらす、おもに夏に吹く風の名称が入ります。X に共通して当てはまる適当なことを書きなさい。



(注) 発電所は2020年時点の分布。
(資源エネルギー庁Webページをもとにして作成)

- ② 東北地方では、資料4中の Y 山脈周辺の火山活動に関連する発電が行われており、資料4中の Z には、その発電の名称が入ります。Y、Z に当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア Y : 飛騨 Z : 火力 イ Y : 奥羽 Z : 火力
ウ Y : 飛騨 Z : 地熱 エ Y : 奥羽 Z : 地熱

- (3) 加奈さんは、東北地方の伝統的工芸品の生産に農家が関わっていたことを知り、次のようにまとめました。 に当てはまる適当な内容を、「農家」ということばを用いて、生産が行われた季節を挙げながら書きなさい。

東北地方には、漆器やこけしなどの伝統的工芸品がある。これらの中には、 として発展してきたものもみられる。

- (4) 加奈さんは、東北地方でみられる自然災害と防災への取組を調べ、気づいたことをまとめました。下線部(a)の行動と下線部(b)の考え方を表すことばとして最も適当なのは、ア～オのうちではどれですか。それぞれ一つ答えなさい。

東北地方は、その気候により大雪などによる被害が毎年のようにみられ、また、震災にも見舞われてきた。これらに対して、次のような防災への取組があった。

- 大雪への対策として、流雪溝(不要な雪を流すための溝)などの整備。
- 地震などへの対策として、防災センターや避難場所の整備。
- 地震や洪水など、さまざまな自然災害に対応するハザードマップの整備。

また、中学校と地域が協働した防災訓練や、小学校から高校までの児童や生徒が主体となった防災教育などを実施している事例もあった。

私は、自然災害への備えとして、(a) 地域の人どうしが協力して助け合うために、あらかじめ住民どうしで話し合っておくことが大切だと考えた。その際に、(b) みんなが参加して決めているかや、誰か不当に不利益を被っていないかという考え方をふまえることも大切だと思った。

ア 共助 イ 公助 ウ 公正 エ 効率 オ 自助

真一さんは、近代の歴史的分野の学習のまゝとして、「我が国における近代化とは」という問いを考察するために、近代化に関係すると考えたできごとを表にまとめました。

(1)～(6)に答えなさい。

真一さんがまとめた表の一部

近代化に関係すると考えたできごと
〔欧米諸国に関するもの〕
○1600年代
・イギリスで、 X 革命がおこった翌年、権利の章典が制定された。
○1700年代
・アメリカ独立戦争がおこった翌年、独立宣言が発表され、独立戦争後、合衆国憲法が定められた。
・フランス革命がおこり、人権宣言が発表された。
・世界に先がけてイギリスで産業革命がおこった。
〔我が国に関するもの〕
○1800年代
・新政府の樹立を宣言する王政復古の大号令が出された翌年、新政府軍と旧幕府軍との間で、 Y 戦争がおこり、新政府軍が勝利した。
・ ^(a) 明治政府の諸政策により、欧米の制度や生活様式などが取り入れられた。
・ ^(b) ^{ばんざん せいふ けんさう じふん だん じしや} 板垣退助らによって、民権議院設立建白書が政府に提出され、議会の開設などを求める動きが進められた。
・内閣制度が創設され、大日本帝国憲法が發布された。
・日清戦争などを契機にして、 ^(c) 産業革命が進んだ。

(1) X、Yに当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

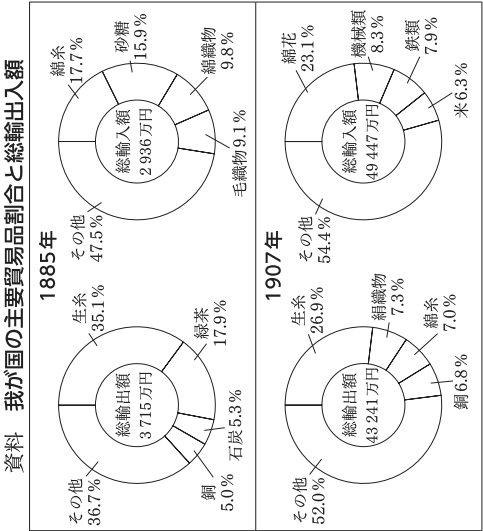
- ア X：名譽 Y：西南 イ X：辛亥 Y：西南
- ウ X：名譽 Y：戊辰 エ X：辛亥 Y：戊辰

(2) 真一さんは、下線部(a)の具体的な内容を調べました。明治政府が行った政策について述べた文として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 民主教育の基本的な考え方を示す教育基本法が制定された。
- イ 満25歳以上のすべての男性に衆議院議員の選挙権が与えられた。
- ウ 司法制度改革が進められたことにより、裁判員制度が始まった。
- エ 徴兵令により、満20歳以上の男性に兵役が義務づけられた。

(3) 下線部(b)が、1881年に結成した政党を何といますか。

(4) 下線部(c)に関して、紡績業に着目した真一さんは、産業革命による紡績業の発展の様子が具体的にわかる右の資料を収集しました。紡績業の発展について、解答欄の書き出しに続けて、「原材料」ということばを用いて書きなさい。



(5) 真一さんは、表をまとめる中で、大正時代ごろから、大衆化として説明されるできごとが出てくることに気づきました。大正時代末から第二次世界大戦前までの我が国の大衆化に関して述べた次のⅠとⅡの文について、内容の正誤を表したものととして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- Ⅰ 白黒テレビが急速に普及した。
- Ⅱ 1冊1円の円本が出版された。
- ア Ⅰ、Ⅱのどちらも正しい。
- イ Ⅰのみ正しい。
- ウ Ⅱのみ正しい。
- エ Ⅰ、Ⅱのどちらも誤っている。

(6) 次は、「我が国における近代化とは」という問いに対する、真一さんの考察の一部です。Pに当てはまる適当なことばを【Pの選択肢】から、Qに当てはまる適当な内容を【Qの選択肢】からそれぞれ選び、その組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

私は、我が国における近代化を、伝統的な政治や経済のしくみ、生活様式などが、欧米風の新しいものに変わったり、欧米のものと混ざったりした動きだと考えた。しかし、産業革命によりPが発達し、19世紀終わりごろに、Qなどの社会問題が我が国でも発生したことは、近代化による負の影響ではないかと考えた。

【Pの選択肢】

- Ⅰ 資本主義
- Ⅱ 民本主義

【Qの選択肢】

- S 工場労働者が安い賃金で長時間、労働する
- T 世界恐慌が波及し、都市で失業者が増える

ア Ⅰ－S イ Ⅰ－T ウ Ⅱ－S エ Ⅱ－T

5 日本 の 産 業 に 着 目 し て、持 続 可 能 な 社 会 の 形 成 に 向 け て 解 決 す べ き 課 題 の 設 定 を 進 め て い る 優 子 さ ん は、「地 域 の 未 来 の た め に！」や「暮 ら し を よ り 良 く 変 え る 力 に」な ど と 書 か れ た 国 勢 調 査 の チ ラ シ を 見 て、日 本 の さ ま ざ ま な 統 計 資 料 を 取 集 す る こ と が 課 題 の 設 定 に つ な が る の で は な い か と 考 え ま し た。(1) ～ (3) に 答 え な さ い。

(1) 資 料 1 は、優 子 さ ん が 国 勢 調 査 に つ い て 調 べ、作 成 し た 表 の 一 部 で す。① ～ ③ に 答 え な さ い。

資料1

〈国勢調査とは〉		
・日本国内の人及び世帯を対象とし、その実態を把握して、行政施策などの基礎資料を得ることを目的としている。5年に1度実施され、2025年の調査は22回目に当たる。		
〈国勢調査の歴史〉		
年	国勢調査に関するできごと	国内のおもなできごと
1920	第1回国勢調査	日本が国際連盟に加盟する。
⋮	⋮	⋮
1947	第6回国勢調査：臨時調査として実施。	⋮
1950	第7回国勢調査：(a) 国際連合による人口調査	(b) 日本国憲法が施行される。
⋮	⋮	⋮
2020	第21回国勢調査	⋮

① 次は、下線部(a)について調べた優子さんのメモです。□□に共通して当てはまる内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

臨時調査だった第6回国勢調査について調べると、「当時は戦後の混乱期で、□□、食糧難、住宅難などのさまざまな問題があり、□□か否かを問う調査事項を加えた。」とあった。
このことから私は、敗戦後、□□などで国内人口が増加し、その問題を解決するため、調査項目に加えたと考えた。

- ア 公害の被害を受けた人 イ 海外から引きあげてきた人
ウ 農村から都市に移り住んだ人 エ 小作農をしている人

② 次は、大日本帝国憲法と下線部(b)における、内閣、国会を比較したものです。(a)、(イ)に答えなさい。

	大日本帝国憲法	日本国憲法
内閣	各大臣が天皇を助けて政治を行う。	内閣が□ X □。
国会	天皇の□ Y □機関。	国権の最高機関、唯一の□ Z □機関。

(a) □ X □に当てはまる適当な内容を、日本で議院内閣制が採られていることをふまえて、「責任」ということばを用いて書きなさい。

(イ) □ Y □、□ Z □に当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

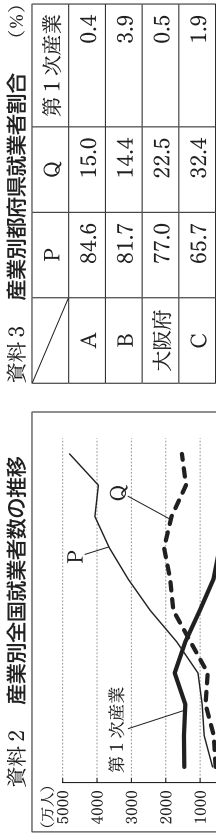
- ア □ Y □：協賛 □ Z □：行政 イ □ Y □：監査 □ Z □：行政
ウ □ Y □：協賛 □ Z □：立法 エ □ Y □：監査 □ Z □：立法

③ 下線部(c)に関して述べた次のIとIIの文について、内容の正誤を表したのとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- I 国際連合の総会では、すべての加盟国がそれぞれ一票をもっている。
II 国際連合の機関の一つとして、国際司法裁判所がある。

- ア I、IIのどちらも正しい。 イ Iのみ正しい。
ウ IIのみ正しい。 エ I、IIのどちらも誤っている。

(2) 過去から現在までのさまざまな統計資料を、国勢調査から得ることができると知った優子さんは、下線部(d)の結果から資料2と資料3を作成しました。資料2と資料3中のP、Qは、第2次産業、第3次産業のいずれかであり、資料3中のA～Cは、東京都、愛知県、沖縄県のいずれかです。①、②に答えなさい。



① 第2次産業と、沖縄県を示したものの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

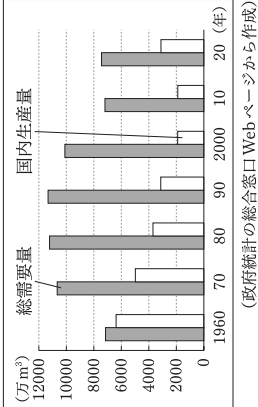
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
第2次産業	P	P	P	Q	Q	Q
沖縄県	A	B	C	A	B	C

② 次は、優子さんが、資料2と資料3から気づいたことを書いたメモです。□□に当てはまることばを、漢字六字で書きなさい。

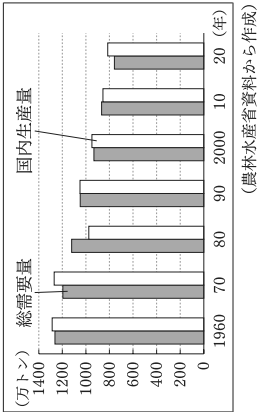
1950年ごろから1970年ごろにかけて、第1次産業の就業者数は減り始め、第2次産業と第3次産業の就業者数は急速に増え始めた。約20年にわたるこの時期は、「所得倍増」をかかげた政策などにより、日本の国民総生産が大幅に伸びた、□□の時期と重なっている。
次は、資料3にある都府県でも就業者割合が最も小さく、70年近くにわたって、就業者数が低下している第1次産業に焦点を当てて、課題の設定を考えたい。

- (3) 優子さんは、日本の林業や農業の状況を把握するために資料4と資料5を収集し、持続可能な社会の形成に向けて解決すべき課題の設定について、次のようにまとめました。
- ①、②に答えなさい。

資料4 日本における木材の総需要量と国内生産量の推移



資料5 日本における米の総需要量と国内生産量の推移



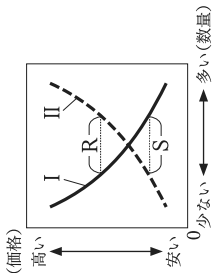
優子さんがまとめた文章

課題の設定に向けて、国勢調査をはじめとした、いくつかの統計資料を収集していくうちに、あいまいだだった課題意識が、「第1次産業について調べたい」というように、具体的なものになった。

資料4を見ると、木材では、1960年から2020年までのすべての年で、国内生産量を総需要量が上回っている。このことは、国内消費に対する国内生産の割合を示す□が100%を下回っていることとらえることもでき、国内生産で足りない分は海外から輸入していると考えた。資料5を見ると、米では、1980年と2010年を除くと、国内生産量が総需要量を上回っており、米の□は100%を超える年が多いととらえることもできる。そこで、私は、「米など身近な食料の□を維持したり、向上させたりするために、政府や企業はどんな取組をしているのか、また私たちに何ができるか」を、持続可能な社会の形成に向けて解決すべき課題に設定しようと思う。

- ① 下線部に関して、右は、価格と需要量・供給量の関係を示したグラフです。供給曲線と、品不足を示したもの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

	ア	イ	ウ	エ
供給曲線	I	I	II	II
品不足	R	S	R	S



- ② □に共通して当てはまる適当なことを、漢字三字で答えなさい。

3 数 学

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

数量や図形に関する基礎的な概念や原理・法則についての理解の程度、数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力等をみるとともに、思考力、判断力、表現力等をみる問題を含めて幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- ① 各領域において、基礎的・基本的な知識及び技能の習得の程度等をみる。
- ② ヒストグラムや相対度数の度数分布多角形からデータの分布の傾向について考察する場面において、範囲についての理解の程度や、データの分布の傾向を読み取る力等をみる。
- ③ 日常の事象について関数のグラフと式を相互に関連付けて考察する場面において、一次関数や関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴を捉える力、2直線の交点の座標を求める力等をみる。
- ④ 立方体の頂点を結んでできる図形の性質を見取図を用いて考察する場面において、論理的に考察する力、数学的な推論の過程を簡潔・明瞭に表現する力等をみる。
- ⑤ 文字を用いた式で数量を捉える場面において、文字を用いて数量を式に表現する力、二次方程式を具体的な場面で活用する力等をみる。

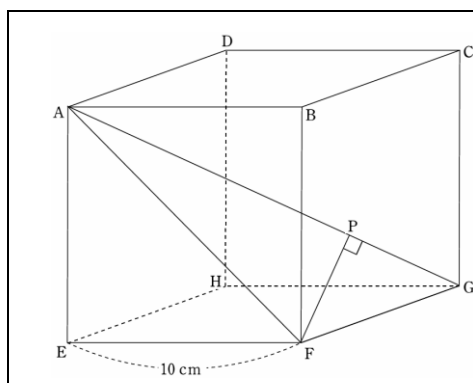
(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

①について、基本的な計算技能の習得の程度をみる設問では正答率が高かったが、(8)の正答率がやや低く、反比例の意味や特徴の理解に課題がみられた。「データの活用」について、②(1)③の正答率が低く、根拠をもとに説明することに課題がみられた。「関数」について、③(1)の正答率が高かった。「図形」について、④(1)の正答率がやや低く、空間図形を平面上に表現し、性質を見いだすことに課題がみられた。「数と式」について、⑤(1)②の正答率がやや低く、文字で表された式の意味を読み取ることに課題がみられた。

空間図形を平面上に表現し、性質を見いだす学習活動の充実

〔大問4〕(1) 正答：イ エ 正答率：47.5%〕



図のような、一辺の長さが 10 cm の立方体 ABCD-EFGH があります。頂点 A と頂点 F、頂点 A と頂点 G をそれぞれ結び、頂点 F から線分 AG に垂線 FP をひきます。

(1) $\triangle AFG$ と合同な三角形はア～エのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

ア $\triangle AEF$ イ $\triangle AGH$ ウ $\triangle ACF$ エ $\triangle AEG$

〔分析〕大問4(1)は、立方体の頂点を結んでできる三角形について、指定された三角形と合同なものをすべて選択する設問で、正答率が 47.5% であった。見取図から辺の長さを判断するとき、例えば、見た目で、二つの対角線の長さ (AC、AF) が異なると判断してしまい、「合同な正方形の対角線であるから長さが等しい」と論理的に考察することができなかつたためと考えられる。

〔視点〕平面上に表現された空間図形を読み取る際、見取図、展開図、投影図を目的に応じて相互に関連付けて扱い、図形の性質について論理的に考察することで正しく判断することができるよう指導することが大切である。その際、一つの方角からだけでなく、生徒が自分で視点を決めて観察し、分析的に考察することができるような学習活動を取り入れたい。

数量や数量の関係を文字を用いた式で表したり、その意味を読み取ったりする学習活動の充実

〔大問5〕(1)② 正答：253 正答率：57.5%〕

(1) m は 2 以上の自然数とします。図 1 のように、正方形を横一列に m 個つなげた形をつくり、隣り合う正方形どしが共有する棒を黒く塗ります。

② 棒の総数が 760 本 のとき、正方形の数を求めなさい。

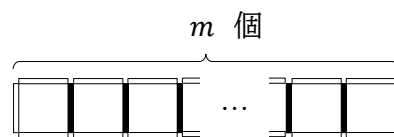


図 1

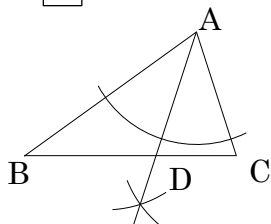
〔分析〕大問5(1)②は、①で求めた棒の総数を表す式から一元一次方程式をつくり、正方形の数を求める設問で、正答率が 57.5% であった。①で求めた棒の総数を表す式と 760 を等号で結ぶことで正方形の数を求めることができるということを理解できておらず、方程式をつくるができなかつたと考えられる。

〔視点〕方程式について、その中の文字や解の意味を理解し、その解き方を考察することを通して代数的な操作のよさを理解するとともに、方程式を具体的な場面で活用できるよう指導することが大切である。その際、文字を用いた式の学習の上に立って、方程式を学習することを踏まえ、数量や数量の関係を文字を用いた式で表したり、その意味を読み取ったりする学習活動を充実させたい。

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式		応 答 率 (%)					
				選 択	短 記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答		
1	(1)	3	2	○		97.5		0.0		2.5	0.0
	(2)	-9	2	○		96.5		0.0		3.5	0.0
	(3)	$3a + 7b$	2	○		92.0		0.0		7.5	0.5
	(4)	$-\frac{9}{5}a$	2	○		77.5		0.0		22.0	0.5
	(5)	$10 - 2\sqrt{21}$	2	○		70.5		0.0		28.5	1.0
	(6)	$x = \frac{-2 \pm \sqrt{7}}{3}$	2	○		67.0	5.5			24.0	3.5
	(7)	$-\frac{5}{6}x$	2	○		72.0		0.0		22.5	5.5
	(8)	$2 \leq y \leq 12$	2	○		55.5	0.5			39.5	4.5
	(9)	116	2	○		63.5	1.5			30.5	4.5
	(10)	$\frac{7}{10}$	2	○		63.5	0.0			33.5	3.0
	(11)	※作図記述	3		○	72.0	0.5			23.5	4.0
2	(1)①	105	2	○		71.0		0.0		27.0	2.0
	(1)②	ア	2	○		79.5		0.0		20.0	0.5
	(1)③	※説明記述	3		○	33.0	11.0			40.5	15.5
	(2)	イ ウ	3	○		39.5	0.0			60.5	0.0
3	(1)(あ)	>	1	○		71.0		0.0		27.0	2.0
	(1)(い)	=	1	○		85.5		0.0		12.5	2.0
	(1)(う)	>	1	○		68.5		0.0		29.5	2.0
	(2)	$\frac{1}{9}$	2	○		77.0		0.0		15.5	7.5
	(3)①	$y = -\frac{3}{2}x + 3$	3	○		56.5	0.0			32.5	11.0
	(3)②	$(-3, \frac{15}{2})$	3	○		51.0	0.5			38.0	10.5
4	(1)	イ エ	3	○		47.5	0.0			52.0	0.5
	(2)	$10\sqrt{3}$	3	○		56.5	1.5			38.0	4.0
	(3)	※証明記述	4		○	27.5	41.0			21.5	10.0
	(4)	2 : 1	3	○		20.5	0.0			60.0	19.5
5	(1)①(あ)	$m - 1$	2	○		72.0	0.0			25.5	2.5
	(1)①(い)	m	2	○		67.0	0.5			23.5	9.0
	(1)②	253	3	○		57.5	0.0			28.0	14.5
	(2)①	$2n^2 + 2n$	3	○		10.5	0.0			65.5	24.0
	(2)②	361	3	○		2.0	0.0			59.5	38.5

1 (11) 作図記述



2 (1)③ 説明記述

B組の調査結果について、
範囲が180分、C組の調査
結果について、範囲が80
分だから、データの散ら
ばりの程度は、C組より
B組の方が大きい。

4 (3) 証明記述

△AFGと△APFにおいて、
共通の角だから、
∠FAG = ∠PAF ……①
辺FGと面AEFBは垂直だから、
∠AFG = 90° ……②
仮定から、∠APF = 90° ……③
②、③から、
∠AFG = ∠APF = 90° ……④
①、④から、
2組の角がそれぞれ等しいので、
△AFG ≅ △APF

受 検 番 号	志 願 校
(算用数字)	

解 答 用 紙

※

- 注意 1 答えに√が含まれるときは、√をつけたまままで答えなさい。
その際、√の中の数は、できるだけ小さい自然数にしなければい。
- 2 答えに円周率を使うときは、 π を用いなさい。

1

	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	
	(5)	
	(6)	
	(7) $y =$	
	(8)	
	(9) (°)	
	(10)	

2

	(1)①	(分)
	(1)②	
	(1)③	
	(2)	

4

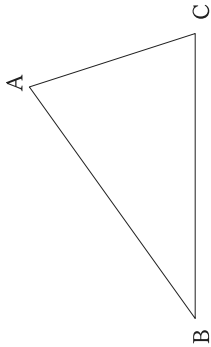
	(1)	
	(2)	(cm)
	(3)	
	(4)	AP : PG = :

3

	(1)㊸	
	(1)㊹	
	(1)㊺	
	(2) $d =$	
	(3)①	
	(3)② (,)	

5

	(1)① (㊸)	
	(1)① (㊹)	
	(1)② (個)	
	(2)① (本)	
	(2)② (個)	



1 次の (I) ～ (V) の計算をしなさい。(6) ～ (II) は指示に従って答えなさい。

(1) $-5 - (-8)$

(2) $(-48) \div 8 - 3$

(3) $3(2a + b) - (3a - 4b)$

(4) $\frac{3}{2}ab^2 \div \left(-\frac{5}{6}b^2\right)$

(5) $(\sqrt{3} - \sqrt{7})^2$

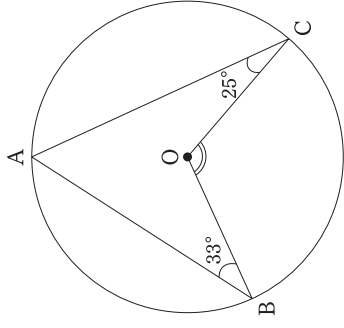
(6) 方程式 $3x^2 + 4x - 1 = 0$ を解きなさい。

(7) 表は、 y が x に比例する関係を表したものです。 y を x の式で表しなさい。

x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	$\frac{5}{2}$	$\frac{5}{3}$	$\frac{5}{6}$	0	$-\frac{5}{6}$	$-\frac{5}{3}$	$-\frac{5}{2}$	...

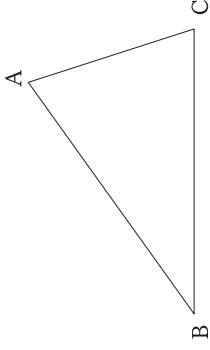
(8) 関数 $y = \frac{6}{x}$ について、 x の変域が $\frac{1}{2} \leq x \leq 3$ のとき、 y の変域を求めなさい。

(9) 図のように、円 O と円 O の円周上に3点 A 、 B 、 C があります。 $\angle ABO = 33^\circ$ 、 $\angle ACO = 25^\circ$ のとき、 $\angle BOC$ の大きさを求めなさい。



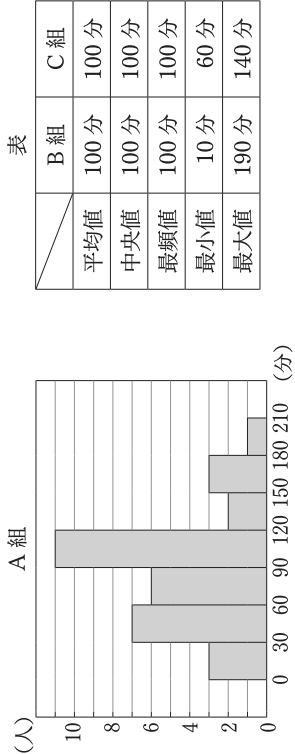
(10) あたりくじ2本、はずれくじ3本の合計5本のくじが入った箱があります。この箱から、 A 、 B の二人がこの順にくじを1本ずつ引くとき、少なくとも一人があたりくじを引く確率を求めなさい。ただし、引いたくじは箱の中に戻さないこととし、どのくじを引くことも同様に確からしいとします。

(11) 図のような $\triangle ABC$ があります。辺 BC 上に $\angle BAD = \angle CAD$ を満たす点 D を、定規とコンパスを使って作図しなさい。作図に使った線は残しておきなさい。



太郎さんが通う中学校では、毎年、三年生を対象に「普段（月曜日から金曜日）、一日あたりどれくらいの時間、学習をするか」について調査しています。2025 年度の調査において、太郎さんは、100 分と回答しました。(1)、(2) に答えなさい。

(1) 図 1 は、2025 年度の調査について、A 組の調査結果をヒストグラムに表したものです。データの個数は 33 個です。表は、2025 年度の調査について、B 組と C 組の調査結果をまとめたものです。① ～ ③ に答えなさい。



※例えば、図 1 の 0 ～ 30 の区間は、0 分以上 30 分未満の階級を表す。

① 図 1 において、100 分が含まれる階級の階級値を求めなさい。

② 図 1 を作る時にもとにしたデータを使って作った箱ひげ図が、図 2 のア～エの中に一つあります。その箱ひげ図はア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

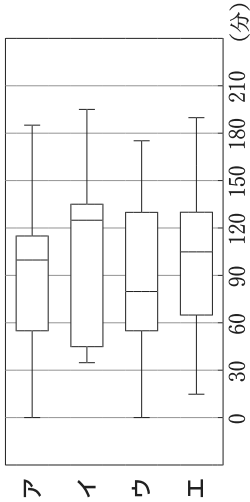
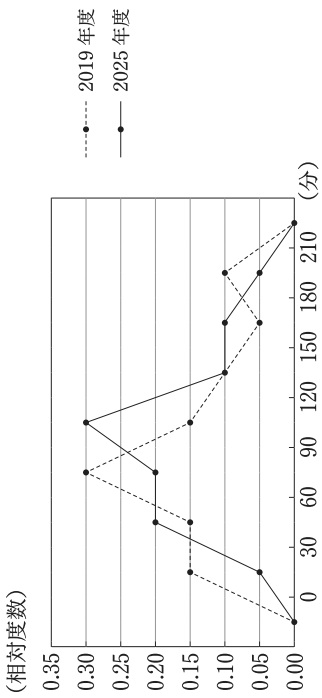


図 2

③ 表から、「B 組と C 組について、平均値、中央値、最頻値が同じなので、データの分布のようすが同じである」と判断することは適切ではありません。データの散らばりの程度に違いがあることを、表をもとに、データの散らばりの程度を表す値を示して説明しなさい。

(2) 図 3 は、2019 年度と 2025 年度の三年生全体の調査結果について、相対度数をそれぞれ求め、折れ線に表したものです。データの個数は、2019 年度が 240 個、2025 年度が 200 個です。



※例えば、0 ～ 30 の区間は、0 分以上 30 分未満の階級を表す。

図 3 から読み取れることを正しく説明しているのは、ア～ウのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

ア 調査結果について、120 分以上 150 分未満の階級の度数は、どちらの年度も同じである。

イ 調査結果について、相対度数が最も大きい階級の階級値は、2019 年度より 2025 年度の方が大きい。

ウ 調査結果について、30 分以上 60 分未満の階級の累積相対度数は、2019 年度より 2025 年度の方が小さい。

太郎さんと花子さんは、桃を題材にした図1のようなマークを、方眼紙に関数のグラフを使って描いています。次の〈会話〉を読んで、(1)～(3)に答えなさい。

〈会話〉

太郎：桃の葉の部分は直線と放物線で、実の部分で描けるね。

花子：まず、右側の葉を描いてみようよ。方眼紙を座標平面とみなして、例えば、図2のように、直線は、 y 軸上の点Pを通して、傾きが正になるように、放物線は、原点を頂点として、上に開いた形に描けばいいね。

太郎：点Pを通ることは変えずに、直線の傾きや、放物線の開き方を変えたと、図2から図3のように、葉の形を変えることができるね。

花子：点Pの座標を(0,3)として、右側の葉の左端が点Q(-3,1)を通るようにした、図4の形にしようよ。右側の葉が描けたら、左側の葉は、図4のように、右側の葉を、直線 $x = -3$ を対称の軸として対称移動させると描けるね。

太郎：次は、実を描くために、点P(0,3)を通り、右側の葉の直線に垂直な直線を考えよう。この垂直な直線と、直線 $x = -3$ の交点が円の中心になるね。だけど、この垂直な直線の傾きは、どのように考えたらよいのかな。

花子：図5のように、垂直な直線を描いて方眼を見ると、垂直な直線は、点(-8,15)を通っていることがわかるよ。

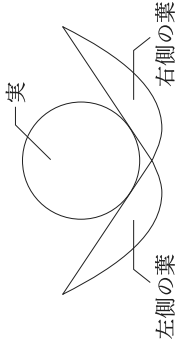


図1

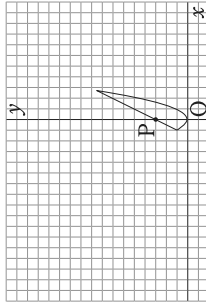


図2

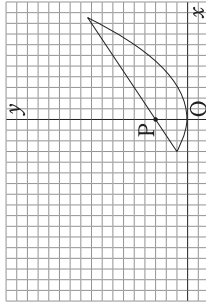


図3

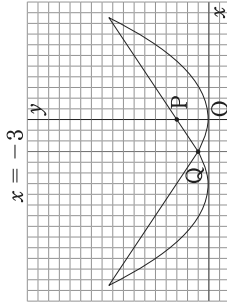


図4

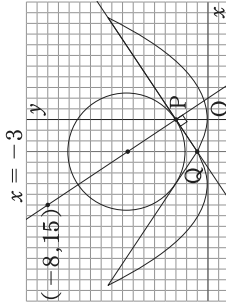
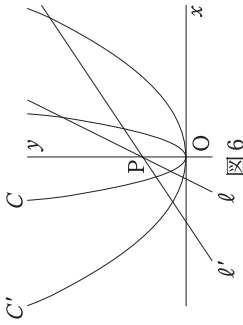


図5



〈図6の説明〉

- ・直線 l は、関数 $y = ax + b$ (a, b は正の定数) のグラフである。
- ・放物線 C は、関数 $y = cx^2$ (c は正の定数) のグラフである。
- ・直線 l' は、関数 $y = a'x + b'$ (a', b' は正の定数) のグラフである。
- ・放物線 C' は、関数 $y = c'x^2$ (c' は正の定数) のグラフである。
- ・点 P は、 y 軸上の点であり、直線 l 、直線 l' は、どちらも点 P を通る。

ここで、傾き a と a' 、切片 b と b' 、比例定数 c と c' の値の大小関係を考えます。次の ～ (5) に当てはまる記号は、 $<$ 、 $=$ 、 $>$ のうちではどれですか。それぞれ一つ答えなさい。ただし、同じ記号を何度使ってもかまいません。

「傾き、切片、比例定数の値の大小関係について」

傾き： a (あ) a' 、切片： b (い) b' 、比例定数： c (う) c'

- 関数 $y = dx^2$ のグラフ上に点 $Q(-3, 1)$ があるとき、比例定数 d の値を求めなさい。
- 図7のように、図5の直線や放物線の一部を、点 O を原点とする座標平面上に表します。2点 $P(0, 3)$ 、 $Q(-3, 1)$ を通る直線を m とし、点 P を通り、直線 m に垂直な直線を n とします。このとき、点 $(-8, 15)$ は直線 n 上にあります。①、②に答えなさい。

① 直線 n の式を求めなさい。

② 直線 n と直線 $x = -3$ との交点 R の座標を求めなさい。

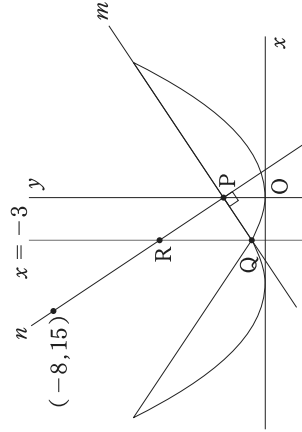
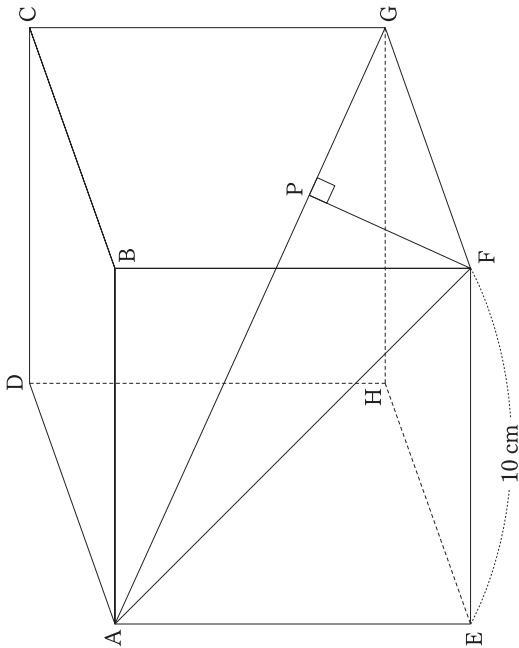


図7

4

図のような、一辺の長さが 10 cm の立方体 ABCD-EFGH があります。頂点 A と頂点 F、頂点 A と頂点 G をそれぞれ結び、頂点 F から線分 AG に垂線 FP をひきます。(1) ～ (4) に答えなさい。



(1) $\triangle AFG$ と合同な三角形は **ア** ～ **イ** のうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

ア $\triangle AEF$ **イ** $\triangle AGH$ **ウ** $\triangle ACF$ **エ** $\triangle AEG$

(2) 線分 AG の長さを求めなさい。

(3) $\triangle AFG \propto \triangle APF$ を証明しなさい。

(4) 線分 AP と線分 PG の長さの比を最も簡単な整数の比で表しなさい。

長さが等しい棒を並べて、同じ大きさの正方形を複数つなげた形をつくるときの、正方形の数と棒の総数の関係を考えます。(1)、(2)に答えなさい。

(1) m は 2 以上の自然数とします。図 1 のように、正方形を横一列に m 個つなげた形をつくり、隣合う正方形どうしが共有する棒を黒く塗ります。

例えば、 $m = 3$ のとき、正方形を横一列に 3 個つなげた形をつくり、隣り合う正方形どうしが共有する棒を黒く塗ると、図 2 のようになります。このとき、黒く塗られた棒は 2 本で、棒の総数は 10 本です。

①、②に答えなさい。

① 次の〈説明 I〉と〈説明 II〉は、正方形の数が m 個のときの棒の総数について、2通りの数え方を説明した文章です。 $\square$ (あ)、 $\square$ (い) に適当な式を、 m を用いて書きなさい。

〈説明 I〉

図 3 のように、 m 個の正方形を、それぞれ破線……で囲んで考えると、各囲みには棒が 4 本ある。

また、正方形を横一列に m 個つなげた形には、黒く塗られた棒は $(\square$ (あ) $)$ 本ある。

よって、正方形の数が m 個のとき、棒の総数を表す式は、 $4m - (\square$ (あ) $)$ になる。

〈説明 II〉

図 4 のように、正方形の上側と下側の辺を、それぞれ横一列に破線……で囲む。

上側の囲みには、棒が $\square$ (い) 本ある。下側の囲みにも、棒が $\square$ (い) 本ある。

また、囲まれていない部分には、黒く塗られた棒と右端、左端の 2 本の棒を合わせて $(\square$ (あ) $+ 2)$ 本の棒がある。

よって、正方形の数が m 個のとき、棒の総数を表す式は、 $2 \times \square$ (い) $+ \square$ (あ) $+ 2$ になる。

② 棒の総数が 760 本のとき、正方形の数を求めなさい。

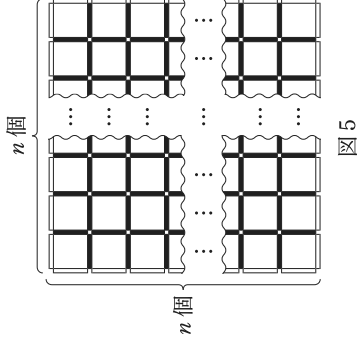


図 5

例えば、 $n = 3$ のとき、縦と横に 3 個ずつの合計 9 個の正方形をつなげた形をつくり、隣り合う正方形どうしが共有する棒を黒く塗ると、図 6 のようになります。このとき、黒く塗られた棒は 12 本で、棒の総数は 24 本です。

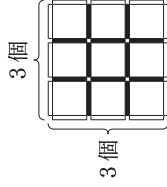


図 6

①、②に答えなさい。

① 正方形の数が n^2 個のとき、棒の総数を n を用いて表しなさい。

② 棒の総数が 760 本のとき、正方形の数を求めなさい。

4 理 科

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解の程度及び科学的に探究するために必要な観察、実験等に関する基本的な技能をみるとともに、思考力、判断力、表現力等をみる問題を含めて、第1分野、第2分野にわたって幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 各分野の基礎的・基本的内容について、理解の程度をみるとともに、身の回りにある自然の事物・現象について科学的に判断する力をみる。
- 2 電流と電圧に関する理解の程度をみるとともに、抵抗器と豆電球の抵抗の大きさの違いを見いだす過程を通して、科学的に思考・判断する力や表現する力をみる。
- 3 カルシウムを題材として、実験に関する理解の程度をみるとともに、実験結果をもとに化学反応式を用いて考察を行う過程を通して、科学的に思考・判断する力をみる。
- 4 地震に関する理解の程度をみるとともに、モデル化した実験の設定や現象を式で表す過程を通して、科学的に思考・判断する力や表現する力をみる。
- 5 細胞分裂に関する理解の程度をみるとともに、観察した結果を図や数値に表して分析・考察を行う過程を通して、科学的に思考・判断する力や表現する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

自然の事物・現象に関する基礎的・基本的な内容の理解の程度をみる設問も含め、「エネルギー」を柱とする領域の正答率が7割程度にとどまるなど、領域によって正答率に差が生じた。比較的正答率の高かった「生命」を柱とする領域において、正答率の低い設問があり、課題が明らかとなった。

その他、与えられた図などの情報から適切に判断する設問や、現象を科学的な視点で捉え、既習の知識を組み合わせる現象を説明する設問では正答率が低いものもあったが、全体的に無答率は低かった。

生徒の興味・関心や、科学的に探究しようとする態度といった情意面での望ましい発達を図る、実物を用いた指導の充実

〔大問5〕(3)① 正答：正答例参照 正答率：24.0%〕

(3) 次は、活動途中の会話と、良平さんと令奈さんがまとめたレポートです。①～③に答えなさい。

(活動途中の会話)

先生：今日は、これまで調べたことについて、共有しましょう。

令奈：とても残念なのですが、(c)ニンニクの根の成長のしかたについて、タマネギやソラマメとの大きな違いは見つけられませんでした。

良平：詳しく調べるため、ニンニクの根のさまざまな場所を顕微鏡で観察したのですが、細胞分裂しているようすを確認できない場所がありました。

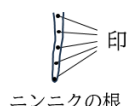
先生：スケッチしたり、結果を表にまとめたりできましたか。

令奈：もちろんです。結論はまだ書いていませんが、二人のレポートとしてまとめているところです。

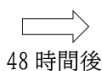
(二人のレポート)

<ニンニクの根の成長のしかた>

【成長前】



2mm 間隔で
五つの印を
つける。



【成長後】

根の長さは約2倍の大きさになったが、成長のしかたは、タマネギやソラマメと同様であった。

(中略)

① 下線部(c)について、成長前後の違いが分かるように、ニンニクの根につけた印のうち、基準点以外の四つの印を、解答欄の成長後の図に示しなさい。なお、解答欄の図は、ニンニクの根を模式的に表しています。

〈分析〉大問5(3)は、探究的な活動のレポートを基に、細胞分裂について、科学的に探究する力をみる設問である。大問5全体を通して、(3)①以外の正答率は5割を超えていることから、細胞分裂についての一定の理解はできていると考えられる。一方で、探究的な活動の初期段階として観察したようすを図示する5(3)①の正答率は、24.0%と低い。これは、実際の現象と学習により身に付けた内容とを結びつけられていないことが原因と考えられる。

〈視点〉理科は、自然の事物・現象を学習の対象とする教科である。「自然の事物・現象に関わる」ことは、生徒が主体的に問題を見いだすために不可欠であり、学習意欲を喚起する点からも重要である。

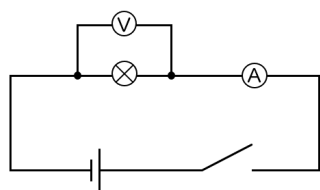
生徒の興味・関心や科学的に探究しようとする態度といった情意面での望ましい発達を図るには、実物を直接目にして驚いたり、感動したり、疑問をもったりする観察、実験、野外観察が最適である。生徒が常に知的好奇心をもって身の回りの自然の事物・現象に関わるようになることや、その中で得た気付きから課題を設定することができるようになることが大切である。

実際の現象と学習により身に付けた内容とを結びつけられるように、授業では可能な限り実物を用いた指導を行う工夫が必要である。

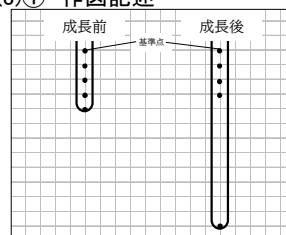
(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)				
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答	
1	(1)	(名称) こまごめピペット (記号) イ	2	○			47.5		13.5	39.0	0.0
	(2)	(あ) 2NaHCO_3 (い) Na_2CO_3	2	○			41.5		0.0	53.5	5.0
	(3)	エ	2	○			51.5		0.0	48.5	0.0
	(4)	熱量 電力量	2	○			51.0		22.0	21.0	6.0
	(5)①	オ	2	○			83.0		0.0	17.0	0.0
	(5)②	太陽	2	○			43.0		0.0	53.5	3.5
	(6)①	節足動物	2	○			82.5		0.0	17.5	0.0
	(6)②	ウ	2	○			97.0		0.0	3.0	0.0
2	(1)	$V=R \times I$	1	○			69.5		0.0	28.5	2.0
	(2)①	※作図記述	2		○		57.0		0.0	40.5	2.5
	(2)②	0.67	2	○			52.5		0.0	41.0	6.5
	(3)①	イ	2	○			49.0		0.0	50.0	1.0
	(3)②(あ)	変わらない	2		○		38.0		1.0	59.0	2.0
	(3)②(い)	大きく	2		○		47.5		9.0	42.5	1.0
	(3)③	電子	2	○			71.5		0.0	27.5	1.0
3	(1)	エ	2	○			70.0		0.0	30.0	0.0
	(2)	発熱反応	2	○			59.0		1.0	37.0	3.0
	(3)	保護めがね	2	○			81.5		2.0	15.0	1.5
	(4)	(塩化カルシウム) 60 (水) 140	2	○			69.0		0.0	23.5	7.5
	(5)①	ウ	2	○			64.5		0.0	35.0	0.5
	(5)②	1.32	3	○			56.5		0.0	34.0	9.5
4	(1)①	イ	2	○			32.5		0.0	67.5	0.0
	(1)②	津波	1	○			78.0		0.0	19.0	3.0
	(2)①	震央	2	○			83.5		0.0	14.0	2.5
	(2)②	2.0	2	○			73.5		2.0	21.5	3.0
	(2)③	P波の方がS波よりも速く 伝わる	3		○		67.0		3.5	26.5	3.0
	(3)①	波が点C'から点Cまで進 むのにかかる時間。	2		○		35.5		7.5	47.5	9.5
	(3)②	$\frac{23.7}{x_1} + \frac{16.6}{x_2} = 14.8$	2	○			69.5		0.5	20.0	10.0
5	(1)	ア エ	2	○			56.5		0.0	43.5	0.0
	(2)	8	1	○			54.5		0.0	45.5	0.0
	(3)①	※作図記述	3		○		24.0		2.5	73.0	0.5
	(3)②	D	1	○			88.0		0.0	11.5	0.5
	(3)③	イ	2	○			80.5		0.0	19.5	0.0
	(4)①	呼吸	2	○			70.0		0.0	22.0	8.0
	(4)②	からだの特徴が変化	3		○		65.0		3.0	27.5	4.5

2 (2)① 作図記述



5 (3)① 作図記述



受検 番号	志願校
(算用数字)	

解答用紙

※

1

	(1) 名称	記号
	(2) (あ)	(い)
	(3)	
	(4)	
	(5)①	
	(5)②	
	(6)①	
	(6)②	

2

(1)	
(2)①	
(2)②	(Ω)
(3)①	
(3)② (あ)	
(3)② (い)	
(3)③	

3

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	塩化カルシウム (g)
	水 (g)
(5)①	
(5)②	(g)

4

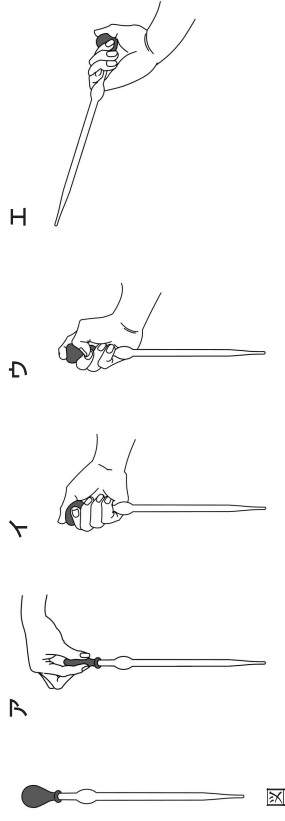
(1)①	
(1)②	
(2)①	
(2)②	(秒)
(2)③	という特徴
(3)①	
(3)②	

5

(1)	
(2)	(本)
(3)①	
(3)②	
(3)③	
(4)①	
(4)②	

1 次の(1)～(6)に答えなさい。

(1) 図の実験器具の正式な名称を答えなさい。また、この実験器具を用いて溶液をはかりと
るとき使い方として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。



(2) 炭酸水素ナトリウムを加熱すると、炭酸ナトリウム、二酸化炭素、水の3種類の物質
に分解されます。この反応について、次の(ア)、(イ)に当てはまる適当
な化学式などを入れ、化学反応式を完成させなさい。



(3) 次の文章の(ウ)、(エ)に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なのは、
ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

古代ギリシャのアルキメデスは浮力の原理を利用して、金のみでできた王冠と、
金と銀が混ぜられた王冠とを区別したといわれている。金の密度は 19.3 g/cm^3 で、
銀の密度は 10.5 g/cm^3 である。このとき、同じ質量の金と銀を比較すると、体積に
ついては(ウ)の方が大きいため、水中に入れたときにはたらく浮力については
(エ)の方が大きくなる。

ア (ウ) : 金 (エ) : 金 イ (ウ) : 銀 (エ) : 金
ウ (ウ) : 金 (エ) : 銀 エ (ウ) : 銀 (エ) : 銀

(4) 理科では、エネルギーの大きさのように、J (ジュール) という単位を用いて表す量が
いくつありますか。Jを単位とする量のうち、「エネルギー」ということばを含まない
ものを二つ答えなさい。

(5) 雲について、①、②に答えなさい。

① 次の文章の(凶)、(か)に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なのは、
ア～カのうちではどれですか。一つ答えなさい。

自然界では、空気が上昇するとまわりの気圧が地表に比べて低くなるため、
空気が(凶)する。そのため、上昇した空気の温度は下がり、やがて(か)に
達すると空気中の水蒸気の一部が小さな水滴になる。これが雲となる。

ア (凶) : 膨張 (か) : 沸点 イ (凶) : 収縮 (か) : 沸点
ウ (凶) : 膨張 (か) : 融点 エ (凶) : 収縮 (か) : 融点
オ (凶) : 膨張 (か) : 露点 カ (凶) : 収縮 (か) : 露点

② 雲から雨や雪となって地球表面に降った水の一部は、水蒸気となって大気中に移動
し、再び雲となります。このように、地球上の水は絶えず地球表面と大気の間を循環
しています。この水の循環を支えるエネルギーは、おもに何から供給されますか。

(6) 動物は、背骨をもたない無セキツイ動物と、背骨をもつセキツイ動物に分類すること
ができます。①、②に答えなさい。

① 無セキツイ動物であるエビやハチなどのからだは、外骨格という殻でおおわれて
おり、外骨格には節があります。エビやハチのような外骨格をもつ動物をまとめて
何といいますか。

② 次の表は、五つのグループに分類される一般的なセキツイ動物について、いくつか
の特徴に注目してまとめたものです。表の(き)、(く)に当てはまる特徴の組み
合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

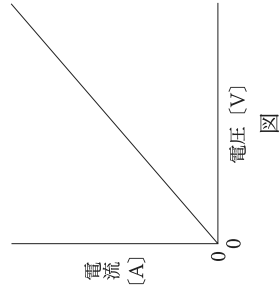
	魚類	は虫類	両生類	哺乳類	鳥類
陸上で生活	×	○	△	○	○
肺で呼吸	×	○	△	○	○
体表が(き)	○	○	×	×	×
子のうまれ方が(く)	×	×	×	○	×

○ : 特徴がみられる × : 特徴がみられない △ : 成体のみ特徴がみられる

ア (き) : うろこ (く) : 卵生 イ (き) : 羽毛 (く) : 卵生
ウ (き) : うろこ (く) : 胎生 エ (き) : 羽毛 (く) : 胎生

2 明子さんは、電圧と電流の関係について探究的な活動を進めています。(1)～(3)に答えなさい。

(1) まず、明子さんは、抵抗器にかかる電圧と流れる電流の大きさとの関係を調べる実験を行いました。図は実験結果からその関係を表したグラフです。抵抗の大きさが R [Ω] の抵抗器に V [V] の電圧をかけたときに流れる電流を I [A] としたとき、抵抗の大きさ、電圧、電流の関係を、 R 、 V 、 I を用いて式で表しなさい。



(2) 次に、明子さんは、抵抗器の代わりに豆電球を用いて、豆電球にかかる電圧と流れる電流の関係を調べる実験を行い、実験結果を表にまとめました。①、②に答えなさい。

表

電圧 [V]	0	0.05	0.10	0.15	0.20	0.25	0.30	0.35	0.40	0.45	0.50
電流 [mA]	0	88	150	191	208	217	214	229	240	231	249

① 豆電球にかかる電圧と流れる電流とを測定する回路について、次の電気用図記号を一つずつ用いて、解答欄の回路図を完成させなさい。

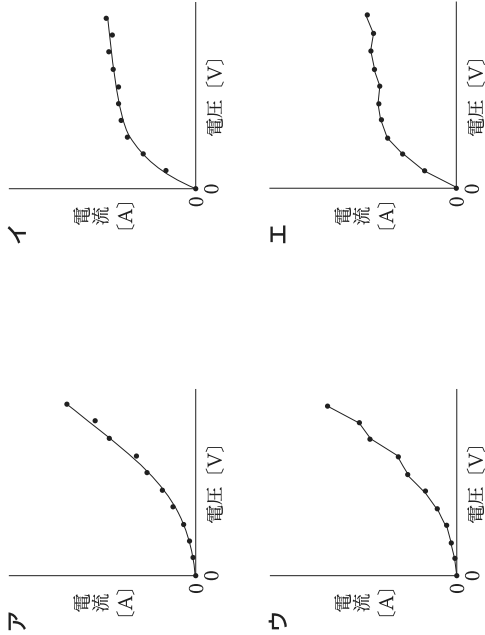


② 豆電球にかかる電圧が 0.10 V のときの抵抗の大きさを、小数第 3 位を四捨五入して小数第 2 位まで答えなさい。

(3) 次の文章は、(1)、(2)の実験結果について、明子さんが書いた考察です。①～③に答えなさい。

豆電球にかかる電圧が大きくなるほど、流れる電流は大きくなる傾向がみられるが、豆電球の実験結果は、抵抗器の実験のときとよすが異なる。抵抗の大きさに注目すると、かかる電圧が大きくなると、抵抗器の抵抗の大きさは $\textcircled{あ}$ が、豆電球の抵抗の大きさは $\textcircled{い}$ なる傾向がある。この違いの原因として、豆電球に電流を流すと、豆電球が熱くなっていることから、豆電球の抵抗の大きさには、温度が関係しているということが考えられる。

① 下線部について、抵抗器の実験と比較するため、実験結果の表をもとに、豆電球にかかる電圧と流れる電流の大きさの関係を表したグラフを作成しました。作成したグラフとして最も適当なのは、 ア ～ エ のうちではどれですか。一つ答えなさい。



② $\textcircled{あ}$ 、 $\textcircled{い}$ に当てはまる適当な内容を答えなさい。

③ 次の文は、実験結果についての考察を踏まえて、明子さんが今後の探究的な活動の方向性を示したものです。 $\textcircled{う}$ に当てはまる適当な語を答えなさい。

今後の活動では、豆電球の抵抗の大きさに温度が関係するかどうかについて、電流の正体である $\textcircled{う}$ の流れに注目して調べていきたい。

3 大悟さんは、総合的な学習の時間に地域の産業について調べ、石灰石の加工工場があることを知りました。さらに石灰石について調べたところ、主成分は炭酸カルシウムであることや、カルシウムを含む多くの物質が、身の回りのさまざまな場面で利用されていることがわかりました。そこで、カルシウムを含む4種類の物質について、表にまとめました。(1)～(5)に答えなさい。

物質名	化学式	おもな性質	利用例
酸化カルシウム	CaO	(a) 水と激しく反応する	乾燥剤
水酸化カルシウム	Ca(OH) ₂	水に溶かすとアルカリ性を示す	(b) 石灰水
(c) 塩化カルシウム	CaCl ₂	水に溶けやすい	凍結防止剤
炭酸カルシウム	CaCO ₃	水に溶けにくい	(d) チョーク

(1) 次の文章の(あ)～(え)に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

身の回りの物質には、(あ)と、(い)がある。(い)は、1種類の元素からできている(う)と、表にある物質のような2種類以上の元素からできている(え)とに分類することができる。

	(あ)	(い)	(う)	(え)
ア	純粋な物質	混合物	化合物	単体
イ	純粋な物質	混合物	単体	化合物
ウ	混合物	純粋な物質	化合物	単体
エ	混合物	純粋な物質	単体	化合物

(2) 下線部(a)について、酸化カルシウムは水と激しく反応して熱を放出します。このように、反応の際、外部に熱を放出する化学変化を何といいますか。

(3) 下線部(b)について、石灰水などの薬品をあつかうときは、薬品が目に入らないようにするため、何を着用する必要がありますか。

(4) 下線部(c)について、質量パーセント濃度が30%の塩化カルシウム水溶液200 gをつくるために必要な塩化カルシウムと水の質量を、それぞれ答えなさい。

(5) 下線部(d)について、大悟さんは、身近にあるチョークが石灰石と同じ主成分であることに興味をもち、主成分である炭酸カルシウムと塩酸を反応させて二酸化炭素を発生させる実験を、理科の先生と一緒に行いました。①、②に答えなさい。

<実験方法>

操作1 図1のように、ビーカーAには炭酸カルシウム3.0 gを、ビーカーBには一定の濃度の塩酸10 cm³を入れ、電子てんびんの上にA、Bを置く。その後、電子てんびんの値を記録する。

操作2 B内の塩酸をすべてAに移し、炭酸カルシウムと塩酸を反応させる。反応が完全に停止したのを確認してから、A、Bが置かれた電子てんびんの値を記録する。

操作3 A、Bの内容物をすべて取り除いた後、操作1でBの塩酸の量を変えて、操作1、操作2を繰り返す。

<結果>

炭酸カルシウムの質量 [g]		3.0				
加えた塩酸の量 [cm ³]	10	20	30	40	50	
操作1で記録した値 [g]	114.22	124.38	134.46	144.52	154.42	
操作2で記録した値 [g]	113.78	123.50	133.14	143.20	153.10	

<考察>

炭酸カルシウムと塩酸の化学変化は、次の化学反応式で表すことができる。



化学反応式から、操作2で記録した値が発生した二酸化炭素が空気中へ放出されたためだと考えられる。そこで、加えた塩酸の量と発生した二酸化炭素の量との関係を表に表すと、図2のとおりであった。

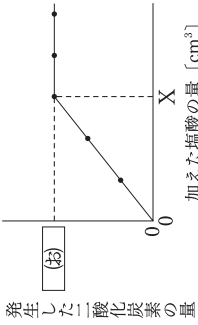


図2

① 図2のXの値よりも多くの量の塩酸を加えて操作1、2を行ったとき、操作後のビーカーA内のような説明として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア ビーカーAには、炭酸カルシウムと塩酸がいずれも残っている。

イ ビーカーAには、炭酸カルシウムが残っている。

ウ ビーカーAには、塩酸が残っている。

エ ビーカーAには、炭酸カルシウムと塩酸のいずれも残っていない。

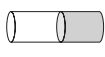
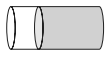
② (あ)に当てはまる適当な値を答えなさい。ただし、発生した二酸化炭素以外による質量の変化はなく、発生した二酸化炭素はすべて空気中へ放出されたものとします。

昭一さんは授業で地震について学んだことをもとに、探究的な活動を進めています。
 (1) ①～(3)に答えなさい。

(1) 次の文章は、昭一さんが学習した内容のまとめです。①、②に答えなさい。

日本列島付近で接する四つのプレートは互いに少しずつ動いており、その境界部分には、さまざまな力が加わる。これにより岩盤にひずみが生じて岩盤の一部が破壊され、ずれが生じ地震が発生する。地震の発生により、(a)さまざまな災害が生じる可能性があるため、あらかじめ災害について学び、備えておく必要がある。

① 下線部(a)について、面にはたらく力を考えるとき、単位面積あたりの力の大きさを用いることがあります。同じ水が入った大きさの異なる円筒容器について、水が底面を垂直に押す力を考えるとき、単位面積あたりの力の大きさ最大となるのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア	イ	ウ	エ
			
水の深さ：10 cm 底面積：40 cm²	水の深さ：15 cm 底面積：80 cm²	水の深さ：5 cm 底面積：120 cm²	水の深さ：10 cm 底面積：160 cm²

② 下線部(b)について、海溝型地震が発生したとき、海底の地形の急激な変化にともない、広い範囲の海水がもち上げられ、大きな水のかたまりとして周りに広がっていく現象が生じることがあります。この現象を何といいますか。

(2) 昭一さんは、地震のゆれが波として伝わるようすを観察するため、次のとおりモデル化した実験を行いました。①～③に答えなさい。

<実験1>
 直方体の容器に水を入れて床の上に置く。水面が完全に静止した後に水面上のある一点を振動させ、波が同心円状に伝わっていくようすを容器の上から動画で撮影すると、動画の中で水面上を伝わる波の速さは一定であった。この水面上を伝わる波のようすを、震源から地表に向けて伝わる地震の波のようすとみなして観察する。撮影した動画に地震の概略図である図1を重ねて、図2のように、水面のようすを次のとおり見立てる。

- ・振動させる水面上の点A……………【震源】
- ・水面上の波……………【地震の波】
- ・水面上の点B……………【(a)】
- ・水面上の点C、点D……………【観測点】
- ・水面上の点B、点C、点Dを結ぶ直線……………【地表】

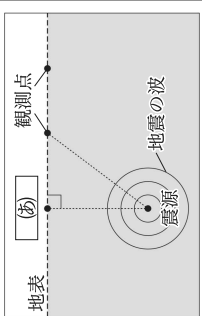


図1

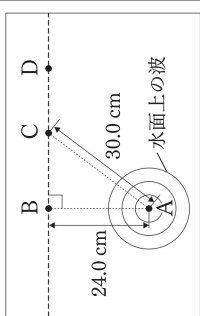


図2

① <実験1>の(a)に共通して当てはまる、震源の真上にある地表の地点を何と
 いいですか。

② 図3は、図2の点Aで波が発生してから時間の経過と波が進んだ距離の関係をグラフに表したものです。点Aで発生した波が点Bと点Cのそれぞれに到達するまでの時間の差は何秒ですか。

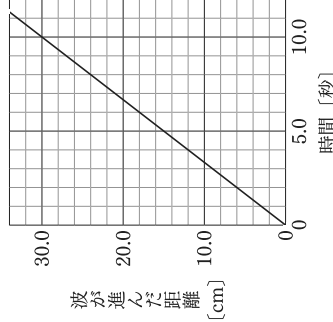


図3

(3) 実際の地震の波は、地球内部の状況によって速さが変化し、進む向きを変えて伝わっています。このようすについて観察するため、昭一さんは<実験1>を発展させて、<実験2>を行い、気づいたことをメモしました。①、②に答えなさい。

<実験2>
 <実験1>の容器を加工し、領域1と領域2で水面上を伝わる波の速さを変化させる。この状態で<実験1>と同様の実験を行ったところ、点Aで発生した波は、それぞれの領域での速さが一定で、図4のように、領域1と領域2の境界にある点C'、点D'で速さが変化し、それぞれ進む向きを変えて、点C、点Dに到達した。このとき、AC' = 16.0 cm、C'C = 14.1 cm、AD' = 23.7 cm、D'D = 16.6 cmであり、点Aで波が発生してから波が点Cと点Dへ到達するまでの時間は、それぞれ11.2秒、14.8秒であった。

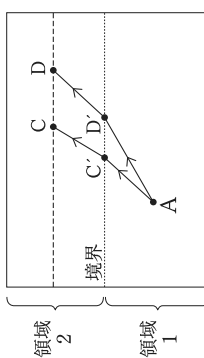


図4

(注) 図中の矢印は波の進む向きを表している。

<メモ>
 領域1と領域2を伝わる波の速さをそれぞれ x_1 [cm/s]、 x_2 [cm/s] とすると、実験結果から、次の二つの式が成り立つ。
 経路1 (A→C'→C) について $\frac{16.0}{x_1} + \frac{14.1}{x_2} = 11.2$
 経路2 (A→D'→D) について $\frac{23.7}{x_1} + \frac{16.6}{x_2} = 14.8$
 これらの式から、領域1と領域2を伝わる波の速さを求めることができる。

① 経路1の式にある $\frac{14.1}{x_2}$ が表しているものを答えなさい。
 ② (i) に当てはまる適当な式を答えなさい。

5 次は、細胞分裂をテーマとした探究的な活動に関する、良平さん、令奈さんと先生の会話です。(1)～(4)に答えなさい。

(活動前の会話)

良平：私たちは、教科書に載っていたタマネギやソラマメではなく、ニンニクを観察してみようと思います。

令奈：別の植物には、新しい発見があるかもしれないと、ワクワクしています。

先生：良いアイデアですね。どんなことを調べる予定ですか。

良平：まずは、ニンニクを発根させて、根の成長のしかたを観察します。その後、根の細胞を^(a)顕微鏡で観察する予定です。

令奈：それから、観察した細胞のスケッチをしたり、タマネギやソラマメと比べてみて、違いがないか調べていきたいです。もしかしたら、^(b)染色体の見え方も違うかもしれないし……。

先生：具体的に良い計画ですね。観察して気づいたことをノートにメモするなど、記録をしておきましょう。

- (1) 下線部(a)について、顕微鏡の操作として適当なのは、ア～エのうちではどれですか。二つ答えなさい。
- ア 観察をはじめるときの対物レンズは、最も低い倍率のものにする。
- イ 観察するときには、プレパラートと対物レンズを近づけながらピントを合わせる。
- ウ 視野の右上にある観察物を、視野の中央に移動させて観察するためには、顕微鏡のステージ上で、プレパラートを左下に移動させる。
- エ 対物レンズを高倍率にすると、視野は狭く、明るさは暗くなるため、見えやすくするためにしぼりを開けて調節する。
- (2) 下線部(b)について、ニンニクのからだをつくる細胞の染色体の数は16本です。ニンニクの生殖細胞の染色体の数は何本ですか。
- (3) 次は、活動途中の会話と、良平さんと令奈さんがまとめたレポートです。①～③に答えなさい。

(活動途中の会話)

先生：今日は、これまで調べたことについて、共有しましょう。

令奈：とても残念なのですが、^(c)ニンニクの根の成長のしかたについて、タマネギやソラマメとの大きな違いは見つけられませんでした。

良平：詳しく調べるため、ニンニクの根のさまざまな場所を顕微鏡で観察したのですが、細胞分裂しているようすを確認できない場所がありました。

先生：スケッチしたり、結果を表にまとめた तरी ですか。

令奈：もちろんです。結論はまだ書いていませんが、二人のレポートとしてまとめているところです。

(二人のレポート)

<ニンニクの根の成長のしかた>

【成長前】



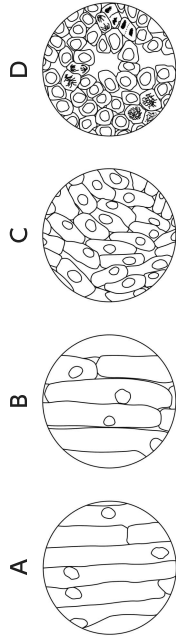
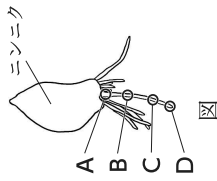
【成長後】

2mm 間隔で五つの印をつける。

根の長さは約2倍の大きさになったが、成長のしかたは、タマネギやソラマメと同様であった。

<成長した根の細胞のスケッチ>

成長した根のうち、図のA～D、それぞれの場所について、同じ倍率で観察し、細胞のようすをスケッチした。



<細胞の大きさと核の直径>

細胞の大きさと核の直径について、A～D、それぞれの場所の細胞を10個ずつ測定し、平均値を表にまとめた。

	細胞の大きさ		核の直径 [mm]
	縦の長さ [mm]	横の長さ [mm]	
A	0.209	0.023	0.013
B	0.180	0.023	0.015
C	0.068	0.020	0.015
D	0.025	0.018	0.013

<考察>

<成長した根の細胞のスケッチ>から、細胞分裂していることを確認できたのは、^(a) であった。

<細胞の大きさと核の直径>から、^(b) と ^(c) については、根の場所によって大きく変化しないが、それらと比較して ^(d) は、根の先端から根元にいくにしたがって、小さくなることがわかった。

① 下線部(c)について、成長前後の違いが分かるように、ニンニクの根につけた印のうち、基準点以外の四つの印を、解答欄の成長後の図に示しなさい。なお、解答欄の図は、ニンニクの根を模式的に表しています。

② (あ) に当てはまるものとして最も適当なのは、**A～D**のうちではどれですか。一つ答えなさい。

③ (い) ～ (え) に当てはまることばの組み合わせとして最も適当なのは、**ア～ウ**のうちではどれですか。一つ答えなさい。

	(い)	(う)	(え)
ア	核の直径	細胞の縦の長さ	細胞の横の長さ
イ	細胞の横の長さ	核の直径	細胞の縦の長さ
ウ	細胞の縦の長さ	細胞の横の長さ	核の直径

(4) 次は、良平さんと令奈さんがまとめたレポートを、先生が確認した後の会話です。下線部(d)を踏まえて、①、②に答えなさい。

(レポート確認後の会話)

先生：いいレポートですね。タマネギやソラマメとの違いを見つけられなかったということですが、「違いがないこと」も大事な結果ですよ。^(d) 多様な生物の中に共通する部分を見つけたともいえますね。
良平：なるほど、確かにそうですね。共通性としては、植物も動物も生物のからだは細胞できている、それぞれの細胞は、養分からエネルギーをとり出すはたらきである (か) をしていることが、教科書に書いてありましたね。
令奈：また、生物は長い年月の中で世代を重ねるうちに (か) し、進化していくことで多様性が生じたと授業で学びましたよね。
先生：そうですね。探究的な活動を行うときには、共通性と多様性のように、一見、相反する視点をもつことも大切ですね。これまでに学んだことを振り返りながら、今後もさらに探究的な活動を進めていきましょう。

① (お) に当てはまる適当なことばを答えなさい。

② (か) には、「進化」に関係する内容が入ります。当てはまる適当な内容を5字以上10字以内で答えなさい。

5 英 語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き等の理解の程度や、英語で簡単な情報や考え等を理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力をみるとともに、思考力、判断力、表現力等をみる問題を含めて幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- ① 話される英語の内容を正確に聞き取る力、適切に応答する力、必要な情報を正確に書き取る力をみる。また、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を的確に聞き取る力や聞き取った内容を踏まえて英語で表現する力をみる。
- ② 英語による会話と会話の内容に関係する資料から、英語の内容を正確に読み取る力や会話の目的に応じて情報を整理する力をみる。
- ③ 英語による会話の場面において、登場人物が考えている内容を適切に英語で表現する力をみる。
- ④ 英語による会話の場면을素材として、英語の内容を正確に理解したうえで、会話の概要や要点を捉える力をみる。
- ⑤ まとまりのある英語の文章から、内容を正確に読み取る力、段落の概要を捉える力及び文章の要点を把握する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

話される英語の内容を正確に聞き取る力や適切に応答する力をみる設問では正答率は高かった。また、英語による会話の場면을素材として会話の概要や要点を捉える力をみる設問も正答率は、概ね高かったが、課題がみられるものもあった。

まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を的確に聞き取る力や聞き取った内容を踏まえて英語で表現する力をみる設問や、まとまりのある英語の文章から、内容を正確に読み取る力をみる設問では正答率が低かった。また、登場人物が考えている内容を適切に表現する力をみる設問においても正答率が低いものがあった。

イ 授業改善の視点等

複数の情報を整理し、必要な情報を正確に読み取ることができる力を育成する指導の充実

〔大問2〕(4) 正答：ウ 正答率：56.0%〕

ウェブサイトの画面

Trial Classes

Event 2	Soccer	9:00 a.m.～10:00 a.m.
	Basketball	1:00 p.m.～ 2:00 p.m.
	Baseball	4:00 p.m.～ 5:00 p.m.

(省略)

Ben : OK. What will we do between the “Special Talk” and the soccer game?

Kenta : After the “Special Talk,” I want to eat local food for lunch. Then, let’s play (え) at Event 2.

(省略)

(4) (え) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア volleyball

イ soccer

ウ basketball

エ baseball

〈分析〉大問2(4)は、ウェブサイトの画面とウェブサイトに関する会話から得られる複数の情報を整理し、必要な情報を正確に読み取る力をみることをねらいとしている。エという誤答が見られたが、会話の流れから午後に行われるイベントであると判断できていても、午後の予定に関する情報が整理できていないことが要因として考えられる。

〈視点〉読むことの言語活動においては、複数の情報が含まれるまとまりのある内容からすべてを読み取ろうとするのではなく、必要な情報を判断して読み取ることが求められる。例えば、広告や説明書などの情報を伝える媒体を題材として、情報を整理しながら読む活動を行うことが考えられる。必要な情報は読み手の目的等に応じて異なることから、活動を行う際には目的・場面・状況を具体的に設定することが重要である。

文章や会話の要点を捉える力を育成する指導の充実

〔大問4〕(5) 正答：ア 正答率：68.5%〕

Ms. Glen : (省略) I like your plan, but does David like Japanese gardens? I think you should choose the things he likes. If you have the same interests as David, you can become friends with him. (省略)

Taku の日記

From Ms. Glen, I learned this: (お) is a good way to become friends. This idea gave us a plan to make *okonomiyaki* with David. I hope he will enjoy cooking with us.

(5) (お) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア having the same interests

イ going to famous places

ウ learning Japanese

エ making pancakes in Canada

〈分析〉大問4(5)は、会話の内容をまとめた Taku の日記を用いて、会話の要点を捉える力をみることをねらいとしている。登場人物それぞれの発言内容を理解したうえで、留学生と親しくなる方法を考えるきっかけとなった Ms. Glen の発言を要点として捉えることが求められている。正答率は比較的高かったが、誤答の多くが会話内にある表現を含んだイまたはエであり、会話の展開から要点を捉えることへの課題がみられた。

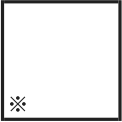
〈視点〉要点を捉えるためには、段落やまとまりごとに内容を捉え、最も伝えたいことは何かを判断することが重要である。その際、話の展開を示すディスコースマーカーなど文章の構成や要点を捉えるための手がかりとなる語句や表現に注目させることが有効である。また、話し合いの内容についてまとめたり、自分の考えを表現したりするなど複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を取り入れることで、話の展開や要点をより意識させることが可能である。

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)							
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの		部分点を 与えたもの		誤答としたもの		無 答	
1	A(1)	イ	2	○			93.0		0.0		7.0		0.0	
	A(2)	ア	2	○			85.5		0.0		14.5		0.0	
	B(1)	エ	2	○			88.5		0.0		11.5		0.0	
	B(2)	ウ	2	○			68.5		0.0		31.5		0.0	
	C(あ)	February	2		○		59.0		0.0		39.0		2.0	
	C(い)	museum	2		○		47.0		0.0		51.0		2.0	
	C(う)	history	2		○		79.0		0.0		16.5		4.5	
	D(1)	ア	3	○			76.0		0.0		24.0		0.0	
	D(2)	main entrance	3			○	17.0		1.0		69.0		13.0	
2	(1)	life	3		○		47.0		0.5		50.0		2.5	
	(2)	heard	2		○		59.5		0.5		39.0		1.0	
	(3)	How long	3			○	80.5		0.0		17.0		2.5	
	(4)	ウ	2	○			56.0		0.0		44.0		0.0	
	(5)	イ	3	○			70.0		0.0		30.0		0.0	
3	(1)	looking for my bag	3			○	66.0		7.0		22.0		5.0	
	(2)	put some dictionaries	3			○	12.0		17.5		56.5		14.0	
4	(1)	エ	2	○			65.5		0.0		34.0		0.5	
	(2)	イ	3	○			79.0		0.0		21.0		0.0	
	(3)	why don't we	3			○	47.0		0.5		44.5		8.0	
	(4)	ウ	3	○			72.0		0.0		28.0		0.0	
	(5)	ア	3	○			68.5		0.0		31.5		0.0	
5	(1)	エ	2	○			67.5		0.0		32.5		0.0	
	(2)	know how to communicate with	3			○	73.5		1.0		25.5		0.0	
	(3)	ウ	2	○			79.0		0.0		20.5		0.5	
	(4)①	気持ちを理解した	2			○	59.0		12.0		20.0		9.0	
	(4)②	必要な情報を与えた	2			○	50.5		14.0		28.0		7.5	
	(5)	find an opportunity to improve yourself	3			○	62.5		0.0		26.0		11.5	
	(6)	ア エ オ	3	○			36.0		0.0		62.5		1.5	

受 検 番 号	志 願 校
(算用数字)	

解 答 用 紙



注意 1 英語で書くところは、活字体、筆記体のどちらで書いてもかまいません。
2 語数が指定されている設問では、「,」や「.」、「?」などの符号は語数に含めません。
また、「l'm」などの短縮形は、1 語とします。

1		A(1)	
		A(2)	
		B(1)	
		B(2)	
		C(あ)	
		C(い)	
		C(う)	
		D(1)	
		D(2)	

3		(1)	
		(2)	

4		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	
		(5)	

2		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	
		(5)	

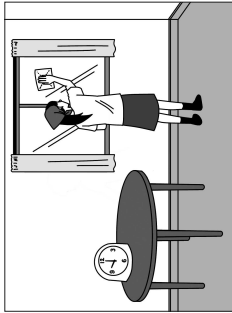
5		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)①	
		(4)②	
		(5)	
		(6)	

1

この問題は聞き取り検査です。問題A～問題Dに答えなさい。途中でメモをとってもかまいません。

問題A (1)、(2)のそれぞれの英文で説明されている内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。英語は1回読めます。

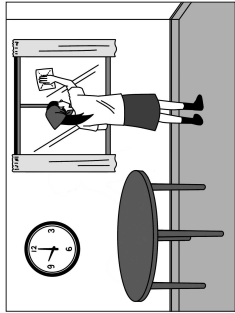
(1)



ウ



エ



(2)

ア

昨日買ったもの		
オレンジ	100円	
レモン	170円	

イ

昨日買ったもの		
オレンジ	100円	
レモン	117円	

ウ

昨日買ったもの		
オレンジ	170円	
レモン	100円	

エ

昨日買ったもの		
オレンジ	117円	
レモン	100円	

問題B (1)、(2)のそれぞれの会話の最後の文に対する応答部分でチャイムが鳴ります。そのチャイムの部分に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。英語は2回読めます。

ア She arrived in Japan last week.

イ She lives near our school.

ウ She is from Australia.

エ She loves Japanese anime.

(1)

ア It was a comedy movie.

イ My mother got up early.

ウ We went there by train.

エ I liked watching movies at the theater.

(2)

問題C 留学中のShihoは、学校行事についての説明をBrown先生から聞いています。Shihoがまとめたメモの(あ)～(う)にそれぞれ適当な英語1語を入れなさい。英語は2回読めます。

Shihoのメモ

When	・ on (あ) third
Where	・ the city (い)
What	・ learn about the (う) of our city

問題D MasatoとNickが、ショッピングモールで館内放送を聞いた後に話をしています。館内放送とNickの発言を聞いて、(1)、(2)に答えなさい。英語は2回読めます。

(1) 館内放送の内容と合っているのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア レストランは午後11時まで開いている。

イ イベントは毎日開催される。

ウ 夏服を購入できるイベントがある。

エ 二つのイベントは、どちらも同じ時刻に始まる。

(2) 館内放送の後にNickが発言したことに対して、どのように答えますか。あなたがMasatoになったつもりで、書き出しに続けて、()に2語以上の英語を書き、英文を完成させなさい。

Sounds good. We can join it at the () of the shopping mall. Let's go to the place after lunch.

Kenta と留学生の Ben が、サクラスポーツフェスティバル (Sakura Sports Festival) のウェブサイトを見ながら会話をしています。次は、そのウェブサイトの画面と会話です。(1)～(5)に答えなさい。

ウェブサイトの画面

Sakura Sports Festival			
～ Sports make your life better ! ～			
Date : Sunday, November 12			
Place : Sakura City Sports Park			
Games	Volleyball	1:00 p.m. ～	Sakura Tigers vs. Red Lions
Event 1	Soccer	3:00 p.m. ～	Sakura Winds vs. Blue Foxes
• You can enjoy watching sports. • You need tickets to watch the games. Buy your tickets on our website.			
Trial Classes			
Event 2	Soccer	9:00 a.m. ～ 10:00 a.m.	
	Basketball	1:00 p.m. ～ 2:00 p.m.	
	Baseball	4:00 p.m. ～ 5:00 p.m.	
• You can play sports with local team players. They are going to teach you.			
Special Event			
Event 3	Special Talk	10:00 a.m. ～ 11:00 a.m.	
• Oki Takashi is going to talk about his (あ) as a professional baseball player.			
Food			
Event 4	Local Foods	9:00 a.m. ～ 2:00 p.m.	
• You can enjoy delicious local food.			
Volunteers			
• We need volunteers to clean the park after the sports festival. We will give each volunteer a T-shirt.			

Kenta : I'm going to join the Sakura Sports Festival next month. We can enjoy sports at this festival. This is the website. Do you want to come with me ?

Ben : Yes. It seems fun. I'll be free on that day.

Kenta : That's nice.

Ben : What do you want to do ?

Kenta : I'm interested in Mr. Oki's "Special Talk" at Event 3.

Ben : Mr. Oki ? I have never (き) hear his name before.

Kenta : He is a professional baseball player. I like him. I want to know how he lives as a professional baseball player. According to the website, he will tell us about it in his talk. Let's listen to him together.

Ben : That's good. You practice baseball after school. His talk will be useful for you. I'll listen to his talk with you.

Kenta : After the "Special Talk," which event will we join ?

Ben : I'm interested in soccer. I'm a member of the soccer team in my country. Soccer is a part of my daily (あ). I watch soccer videos every day. Also, I sometimes practice soccer with my classmates in Japan.

Kenta : (う) have you played soccer ?

Ben : For eight years.

Kenta : That's great. I like soccer, too. We can watch the soccer game at Event 1.

Ben : To watch the soccer game, we need to buy tickets. Is that OK ?

Kenta : No problem. Let's watch the soccer game. It will start at 3 p.m.

Ben : OK. What will we do between the "Special Talk" and the soccer game ?

Kenta : After the "Special Talk," I want to eat local food for lunch. Then, let's play (え) at Event 2.

Ben : Sounds good.

[注] ～vs. … ～対… trial class 体験教室 talk 話 professional プロの、本職の

(1) (あ) に共通して入れるのに最も適当な英語 1 語を、ウェブサイトの画面から抜き出して書きなさい。

(2) 下線部 (い) の単語を、最も適当な形に変えて 1 語で書きなさい。

(3) (う) に入れるのに適当な 2 語以上の英語を書きなさい。

(4) (え) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア volleyball イ soccer ウ basketball エ baseball

(5) ウェブサイトの画面や会話から読み取れる内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア To watch the volleyball game at the Sakura Sports Festival, people do not have to buy tickets.

イ The volunteers can get something to wear.

ウ Kenta and Ben are talking in December.

エ Kenta wants to enjoy local food for breakfast.

3

留学中の Saki が、ホストファミリーの Leo と会話をしています。次の ①～⑤ は
 そのときの二人の会話です。Saki が考えている内容に合うように、書き出しに続けて、
 (1) (2) に 4 語以上、(2) に 3 語以上の英語を書き、会話を
 完成させなさい。なお、会話は ①～⑤ の順に行われています。

会話

① What are you doing ?  [Leo] 自分のかばんを探しているの。  [Saki] ② I'm (1).
昨日、そのかばんの中に何冊かの辞書を入れたの。 宿題をするのにそれらが必要なの。  [Saki] ③ I (2) in it yesterday. I need them to do my homework.
④ I saw it in the living room.  [Leo] ⑤ Thank you.  [Saki]

問題は、次のページに続きます。

Taku と Glen 先生と Miki が、カナダから交換留学生 (exchange student) としてやって来る David について会話をしています。次の英文は、その会話と、会話をした日に Taku が書いた日記です。(1)～(5)に答えなさい。

Taku : Hi, Ms. Glen. An exchange student from Canada is going to stay at my house for a month. His name is David. Miki and I want to do something with David on the weekend.

Ms. Glen : Do you have any plans ?

Miki : I want to take him to the Japanese garden in our town. It's one of the most beautiful gardens in Japan. Many foreign (a) visit it during their trip.

Ms. Glen : I like your plan, but does David like Japanese gardens ? I think you should choose the things he likes. If you have the same interests as David, you can become friends with him.

Taku : That's a good idea. When I met Miki for the first time, we talked about music. We found that we liked the same singers. We talked a lot about them. In this way, we became friends.

Miki : What does David like ? Taku, do you (b) ?

Taku : I got an e-mail from him yesterday. He is interested in Japanese food and wants to cook it.

Miki : Sounds nice. We like cooking, so (c) cook a Japanese dish together ?

Taku : That's a good idea. Can we become friends with David through cooking, Ms. Glen ?

Ms. Glen : I hope so. What will you cook with him ?

Miki : I have an idea. How about *okonomiyaki* ?

Ms. Glen : What is it ?

Miki : It's a popular dish in Japan. People sometimes call it a Japanese pancake. It's easy to make.

Ms. Glen : How do you make *okonomiyaki* ?

Miki : There are many ways to make *okonomiyaki*, but I'll (d). First, mix all the ingredients together, such as flour, vegetables, and eggs. Second, cook it in a frying pan. I think foreign people can enjoy making *okonomiyaki*.

Ms. Glen : I see.

Miki : In addition, the word "*okonomi*" means "your favorite." You can choose your favorite ingredients and make your own *okonomiyaki*. For example, I often add cheese. While we are making and eating *okonomiyaki* with David, we can talk about our favorite foods with him.

Taku : Let's make *okonomiyaki* with David. Miki, why don't we write a recipe in English for him ?

Miki : That's nice. Ms. Glen, could you help us ?

Ms. Glen : Sure. When he goes back to Canada, he can make *okonomiyaki* by reading the recipe. If he makes it for his family or friends in his country, they may be interested in Japanese food.

Taku : I'm excited to hear that.

Taku の日記

From Ms. Glen, I learned this: (a) is a good way to become friends. This idea gave us a plan to make *okonomiyaki* with David. I hope he will enjoy cooking with us.

[注] the same ~ asと同じ～
become friends with ~ ~と親しくなる interest 興味、関心
okonomiyaki お好み焼き mix ~ ~を混ぜる for the first time はじめて
flour 小麦粉 frying pan フライパン ingredient 材料

(1) (a) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア countries イ languages ウ cultures エ tourists

(2) (b)、(c) に入れる英語の組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア (b) know anything about him (c) ask David the way to make pancakes
イ (b) know anything about him (c) tell you my own way
ウ (b) like Japanese gardens (c) ask David the way to make pancakes
エ (b) like Japanese gardens (c) tell you my own way

(3) (d) に入れるのに最も適当な英語 3 語を、会話の中の Taku の発言から抜き出して書きなさい。

(4) 会話の内容と合っているのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア Taku wants to go to the Japanese garden because it is a beautiful place.

イ Miki became friends with Taku by cooking together.

ウ Miki thinks that she can talk with David when they make *okonomiyaki*.

エ Taku wants to write a recipe for *okonomiyaki* in Japanese.

(5) (a) に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア having the same interests イ going to famous places

ウ learning Japanese エ making pancakes in Canada

次の英文は、高校生の Satoru が英語の授業で Mr. Kato (加藤さん) について発表したスピーチです。(1)～(6)に答えなさい。

Today, I am going to tell you about a nurse, ^(a)Mr. Kato. I respect him. When I was an elementary school student, he lived next to me. He was working as a nurse in Japan and often told me about his job. He was proud of it. However, he suddenly left Japan when he was twenty-six years old. He lived in Australia for five years. After that, he came back to Japan and started working at a hospital again.

This winter I visited Mr. Kato. I asked, "Why did you go to Australia?" He answered, "I wanted to become a better nurse. A foreign patient helped me improve myself. When I was twenty-four years old, I met her at a hospital in Japan. She only spoke English. I wasn't good at English, so I didn't (^(b)with / how / communicate / know / to) her. When another nurse talked to her in English, the foreign patient seemed relieved. Then I wanted to help people from different countries. To do this, I needed to learn English."

Mr. Kato thought studying abroad was the best way to learn English for his nursing job. On the internet, he found that Australia had many study-abroad programs for nurses. Mr. Kato entered university in Australia to learn English and more nursing skills. He had a lot of things to do there, but he didn't give up. As a result, he became a nurse at a hospital in Australia.

Mr. Kato felt glad to work at ^(c)the hospital in Australia. However, it was not easy for him to work in a foreign country. In an emergency, the nurses spoke very fast. He sometimes didn't understand them, and he had to ask questions. He was disappointed and said to one of the nurses, "You always help me, but I can't do anything to help you." The nurse said, "You've learned a lot of skills through your experiences in Japan and Australia. Your skills help us and our patients. We need you. Also, your English is getting better." After that day, he stopped worrying and enjoyed working in Australia.

Two years ago, Mr. Kato started working at a hospital in my city. One day, a foreign patient who only spoke English came to his hospital. After a conversation with the foreign patient, Mr. Kato understood her feelings. Then, he gave her the necessary information in English. Through ^(d)this experience, he thought that he was able to improve himself.

Mr. Kato said to me, "An opportunity to improve yourself is everywhere. The foreign patient gave me one when I was twenty-four years old. By studying abroad, I became a nurse who could help people from different countries. I hope that you will find an opportunity to improve yourself, Satoru." When I listened to Mr. Kato, I found one in his story. I'm doing my best to be a person who tries to do hard things. How about you? You can ^(e)around you.

[注] patient 患者
study-abroad program 留学プログラム
give up あきらめる
conversation 会話

relieved 安心した
enter ～ ～に入学する
in an emergency 緊急時に

(1) 下線部 (a) について、同じ段落で紹介されている内容として、当てはまらないものは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア Satoru が尊敬する人物である。 イ 仕事を誇りに思っていた。

ウ オーストラリアで暮らしたことがある。 エ 26歳のときに日本へ帰ってきた。

(2) 下線部 (b) の語をすべて用いて、意味が通るように並べ替えなさい。

(3) 下線部 (c) での出来事について、同じ段落中で説明されている内容として最も適当なものは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア For Mr. Kato, working in Australia was not difficult.

イ Mr. Kato could not ask any questions because he was not good at English.

ウ One of the nurses said that Mr. Kato's skills helped the nurses and their patients.

エ While Mr. Kato was in Australia, he was always happy.

(4) 下線部 (d) の具体的内容を説明する次の文の ①、② にそれぞれ適当な日本語を入れなさい。

外国人患者との会話の後、加藤さんがその患者の ① ことや、英語でその患者に ② こと。

(5) ③ に入れるのに最も適当な英語6語を、同じ段落中から抜き出して書きなさい。

(6) 本文の内容と合っているのは、ア～オのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

ア Mr. Kato was Satoru's neighbor when Satoru was an elementary school student.

イ When Mr. Kato was twenty-four years old, he spoke English well.

ウ Mr. Kato thought that studying English on the internet was the best way.

エ Mr. Kato went to university in Australia to learn English and more nursing skills.

オ Satoru is doing his best because he wants to be a person who tries to do difficult things.

1 聞き取り検査

問題 A 次の英文が1回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

(1)

There is a clock on the table. A girl is cleaning the window.

(2)

I bought an orange and a lemon at the supermarket yesterday. The orange was one hundred yen, and the lemon was one hundred and seventy yen.

問題 C 次の英文が2回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

I'm going to tell you about our field trip. On February third, we are going to visit the city museum. It's very famous and popular. You will learn about the history of our city there. You should bring your notebook and pencils.

問題 B 次の会話が2回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

(1)

A : Have you met our new English teacher from a foreign country ?

B : No, I haven't. How about you ?

A : I met her yesterday, and we talked about her favorite things.

B : What does she like ?

A : (チャイム)

(2)

A : I watched a movie with my family last Sunday.

B : Where did you watch it ?

A : At the movie theater.

B : How did you get there ?

A : (チャイム)

問題 D 次の英文が2回読まれるのを聞いて、問題用紙の指示に従って答える。

A : Welcome to our shopping mall. We have many shops and restaurants. The shops are open from 9 a.m. to 10 p.m., and the restaurants are open from 10 a.m. to 11 p.m. We have events only on weekends. Now, I will tell you about two events for today. First, you can watch a fashion show at the east entrance. At the show, you can see clothes for spring. You can buy them after the show. The fashion show is going to start at 10 a.m. Second, you can watch a dance performance at the main entrance. Local high school students are going to dance. You can join their performance. It is going to start at 2 p.m. We hope you will enjoy shopping, eating food, and the events at our shopping mall.

B : Masato, I want to join the dance performance. Let's join it together.

令和8年度学力検査 引用文献等リスト

	入試 分類	教科	大問 番号	ページ	内 容	引 用 元	備 考
1	特別	国語	2	3	設問文書	『無常という力 「方丈記」に学ぶ心の在り方』玄侑宗久(2011 新潮社)p15～17	
2	特別	国語	2	3	設問文書	「市古貞次・小田切進編 日本の文学 古典編 26 方丈記 宇治拾遺物語」(1987 ほるぶ出版)p27、28	
3	特別	国語	2	4	資料	「市古貞次・小田切進編 日本の文学 古典編 26 方丈記 宇治拾遺物語」(1987 ほるぶ出版)p122	
4	特別	国語	3	5～7	設問文書	『「あなたの居場所」はここにある 精神科医が本気で書いた心をいやす物語』藤野智哉(2025 徳間書店)p246～252	
5	特別	国語	4	9～10	設問文書	「自分のあたりまえを切り崩す文化人類学入門」箕曲在弘(2024 大和書房)p21～25	
6	一般	国語	1	1～3	設問文書	「雫」寺地はるな(2024 NHK出版)p181～186	
7	一般	国語	2	5	設問文書	「漢文世界のいきものたち」高芝麻子(2025 大修館書店)p91～95	
8	一般	国語	3	7～8	設問文書	「建築家のアタマのなか」小堀哲夫(2023 幻冬舎)p26～31	
9	一般	国語	3	7	図	「週刊 ニッポンの国宝100 通巻39号」(2018 小学館)p34	
10	一般	社会	1	2	資料	「マクシミリアーン・ル・メールの日記」(1641 東京大学史料編纂所)p53～54	
11	一般	社会	2	4	資料	「わたしたちの地理総合 改訂版」(2025 山川出版社)p65	